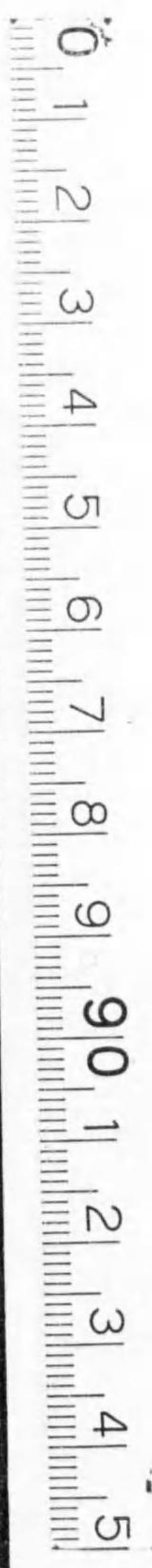
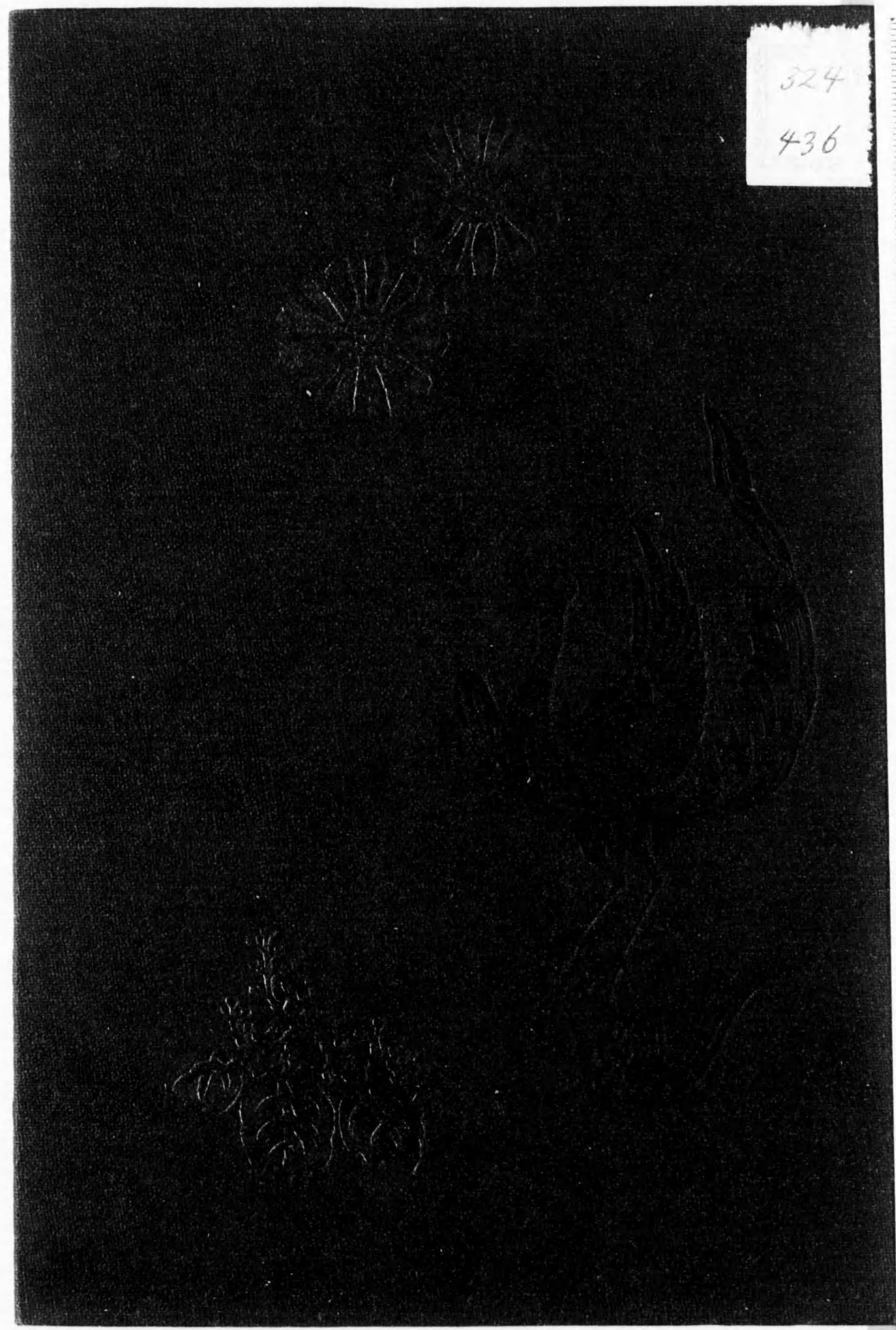


324
436



始



特205
985



奉御
大典
祝典

名古屋博覽會總覽



發行所寄贈本

博覽會總覽目次

第一編 博覽會

第一章 總論	一
第一節 名古屋市の商工業	一
第二節 博覽會開催の趣意	六
第二章 開設	八
第一節 役員	八
第二節 諸規程	五
第三節 徵章	六
第三章 土地及建物	六
第一節 位置	六
第二節 敷地	六
一、會場本部	六
二、會場東部	六
三、其他	六
第三節 各館の配置	六
第四節 普通建築物	六

一、奉祝門	九〇
二、正門	九〇
三、奉祝塔	九一
四、本門	九一
五、本館	九一
六、機械館	九一
七、電氣館	九一
八、農林館	九一
九、大禮館	九一
一〇、國防館	九二
一一、演舞場	九二
一二、教育館	九二
一三、衛生館	九二
一四、家畜館	九三
一五、日光館	九三
一六、野外劇場	九三
一七、小鳥館	九三
一八、歷史館	九三
一九、自働撮影館	九三

二〇、聞天閣	九四
二一、迎賓館	九四
二二、倉庫	九四
二三、警官詰所	九四
二四、消防詰所	九四
二五、賣店	九五
第五節 其他の施設	
一、ラヂオ館	九七
二、鶴々亭	九七
三、鶴舞公園驛	九八
四、博覽會郵便局	九八
五、赤十字社救護所	九九
六、簡易保險局健康相談所	一〇〇
七、構内飲食店	一〇一
八、新愛知飛行機陳列所	一〇一
九、休憩所	一〇三
一〇、案内所	一〇四
一一、湯呑所	一〇四
一二、街燈	一〇五

三、水	道	一〇五	
二、下	水	一〇六	
第六節	電燈及電話	一〇七	
一、電氣に關する施設方針		一〇七	
二、購入電力		一〇七	
三、電氣設備		一〇八	
四、照	明	一一一	
五、電	話	一一三	
第四章	出	品	
第一節	勸	誘	一一五
第二節	鐵道及汽船の割引		一一三
第三節	陳列の獎勵		一一三
第四節	陳	列	一一七
一、區	域		一一七
二、方	法		一一七
第五節	出品物の搬出搬入		一二六
第六節	種	類	一二六
一、本	館		一二六
二、農	林	館	一二三

三、機	械	館	一二三				
四、電	氣	館	一二五				
五、衛	生	館	一二六				
六、家	畜	館	一二四				
七、小	鳥	館	一二四				
第七節	賣約及即賣		一二四				
一、御	買	上	品	一二四			
二、販	賣	所		一二四			
三、看	守	人		一二四			
第八節	館外	出	品	一二四			
第九節	特	設	館	一二四			
一、朝	鮮	館		一二四			
二、臺	灣	館		一二八			
三、北	海	道	館	一二九			
四、滿	蒙	參	考	館	一三〇		
五、印	刷	館		一五一			
第五章	審	查	及	褒	賞		
第一節	審	查			一五一		
第二節	審	查	概	評	摘	要	一五二

一、農蠶林鑛業品.....一五

二、染織作工業品.....一六

三、機械工業品.....一七

四、化學工業品.....一七

五、製作工藝品.....一八

六、水產食料品.....一八

七、意匠圖案及特許品.....一九

第三節 褒 賞.....一九

一、農蠶林鑛業品.....一九

二、染織工業品.....二〇

三、機械工業品.....二〇

四、化學工業品.....二〇

五、製作工業品.....二一

六、水產食料品.....二一

七、意匠圖案及特許品.....二二

第四節 審查補助員.....二二

第六章 式 典.....二二

第一節 總裁宮奉戴式.....二五

第二節 地 鎮 祭.....二六

第三節 開 會 式.....二六

第四節 褒賞授與式.....二六

第五節 奉 祝.....二七

第六節 閉 會 式.....二七

第七章 宣 傳.....二七

第一節 要 領.....二七

第二節 範 圍.....二七

一、縣 內.....二七

二、縣 外.....二七

第三節 方 法.....二七

一、無料入場券.....二七

二、ポスター及鳥瞰圖.....二七

三、繪 ハ ガ キ.....二八

四、俚 謠.....二八

五、ピ ラ.....二八

六、新聞記事.....二九

七、新聞廣告.....二九

八、飛 行 機.....二九

九、委託宣傳.....三〇

一、名古屋鐵道局.....三五〇

二、愛電.....三五〇

三、名古屋電.....三五〇

四、瀬戸電.....三五〇

五、市電氣局.....三五〇

一〇、案内圖.....三五〇

二、博覽會日報.....三五〇

三、揭示板.....三五〇

三、行 列.....三五〇

第八章 觀覽及入場

第一節 觀 覽.....三五二

一、要 領.....三五二

二、諸 規 程.....三五二

第二節 特別 觀 覽.....三五二

一、美 術 館.....三五二

二、子供汽車.....三五二

三、サークリング.....三五二

四、飛 行 塔.....三五二

五、マラソントラック.....三五二

六、自働撮影館.....三五四

七、演 舞 場.....三五五

八、動 物 園.....三五五

第三節 夜 間 觀 覽.....三五五

第四節 出 品 及 入 場 券.....三五五

第五節 門 鑑.....三五七

第六節 觀 覽 人.....三五七

第九章 警備及衛生

第一節 警備の組織.....三五九

一、守衛及看守.....三五九

二、方 法.....三五九

三、警 察 官.....三六〇

四、其 他.....三六〇

第二節 衛 生.....三六〇

一、清 掃.....三六〇

二、便 所.....三六一

三、撒 水.....三六一

四、飲 食 店.....三六一

五、救 護 所.....三六一

第三節 消防

- 一、禁煙.....三六二
- 二、消火液.....三六二
- 三、消火栓及用水桶.....三六一
- 四、自動車ポンプ.....三六一
- 五、火災報知器.....三六一
- 六、夜警.....三六一

第四節 特別警戒.....三六一

- 一、陛下御駐輦當日.....三六三
- 二、御即位式當日.....三六三

第十章 接待

- 第一節 聞天閣.....三六三
- 第二節 迎賓館.....三六三
- 第三節 開期中の重なる來賓.....三六五

第十一章 特別陳列品及餘興

- 第一節 日光館.....三七〇
- 第二節 國防館.....三七四
- 第三節 教育館.....三八〇
- 第四節 大禮館.....三八三

第五節 歷史館.....三八五

第六節 菊花競技會.....三九一

第十二章 廣告

- 第一節 廣告塔及看板.....三九二
- 第二節 博覽會日報廣告.....三九四

第二編 協賛會

第一章 設立

- 第一節 趣意と博覽會との關係.....三九五
- 第二節 役員及會員.....三九七
- 第三節 諸規程.....四〇一

第二章 事業

- 第一節 無料入場券.....四〇四
- 第二節 演舞場.....四〇四
- 第三節 餘興館.....四〇二
- 第四節 野外劇場.....四一五
- 第五節 屋外餘興.....四一九
- 第六節 福引.....四二〇

一、會議所デー……………四二

二、特別福引……………四二

三、特別景品……………四三

第七節 煙 火……………四三

第八節 子供の汽車……………四三

一、子供の汽車……………四四

二、飛行塔……………四四

三、サイクリング……………四五

四、マラソントラック……………四五

五、其他の施設……………四五

第九節 街路裝飾……………四六

第三章 美術館……………四六

第一節 出品及勸誘……………四六

第二節 出品規程……………四九

第三節 陳列……………四九

第四節 搬入及管理……………四九

第五節 鑑査及審査……………四九

第六節 審査概評摘要……………四九

第七節 褒賞……………四八

第八節 觀覽者……………四五〇

第四章 聯合發展會

第一節 街路裝飾……………四五〇

第二節 其他……………四五〇

- 一、祝賀提灯行列……………四五〇
- 二、協賛賣出し……………四五〇
- 三、文字探しと福の神の出現……………四五〇
- 四、觀覽……………四五〇

第三編 經費及殘務

第一章 經費

第一節 豫算……………四五二

第二節 決算……………四五三

第二章 殘務

第一節 殘務整理……………四五五

第二節 記念品……………四五五

第三節 御下賜品……………四五五

第四節 記念狀……………四五六

第五節 感 謝 狀…………… 四七

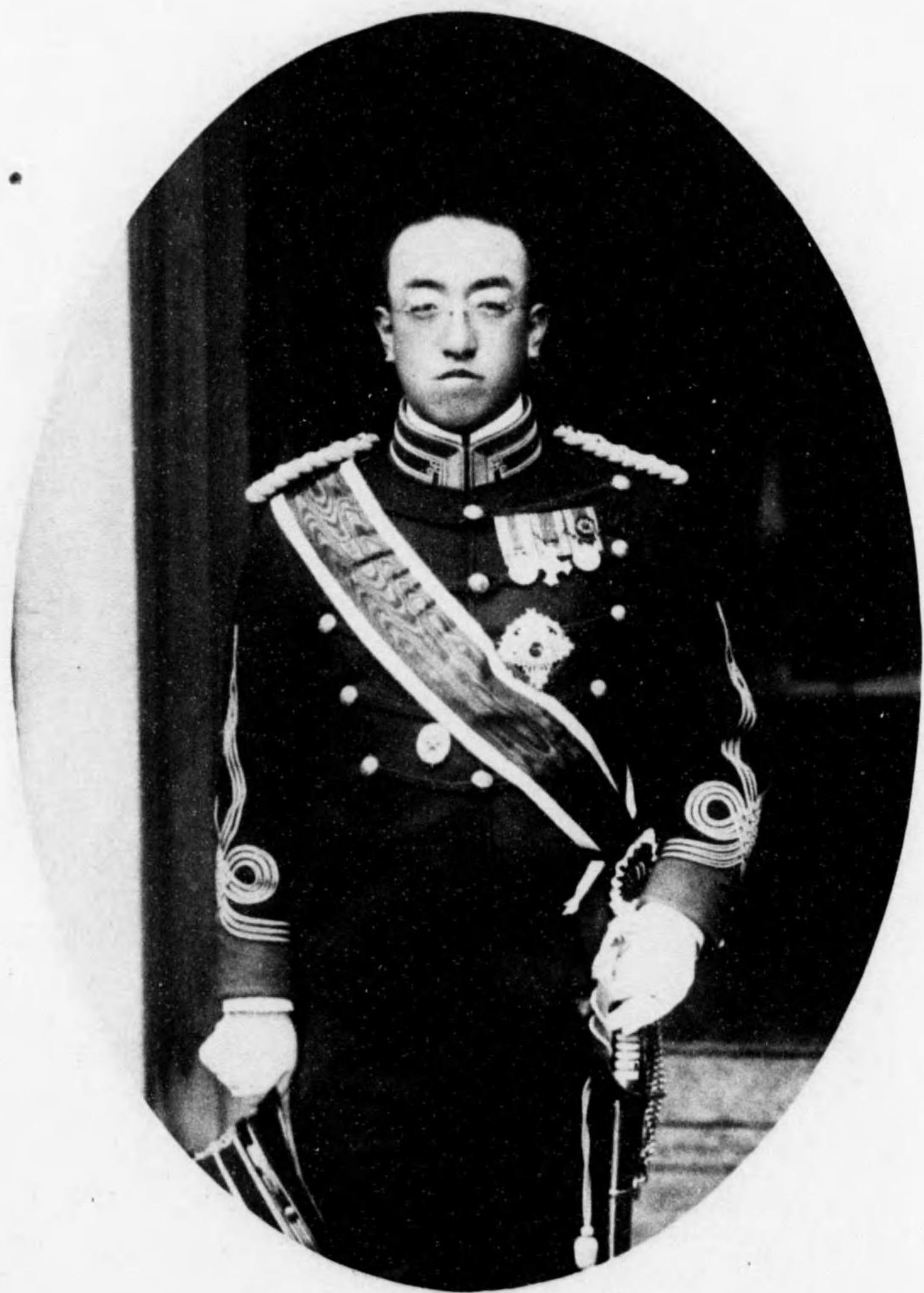
第六節 總 覽 編 集…………… 四八

第四編 結 論

第一章 名古屋市に及ぼしたる影響…………… 四九

第二章 全國に及ぼしたる影響…………… 五〇

裁 總



賀陽宮恒憲殿下

裁 總 副



頭 會 所 議 會 工 商 屋 古 名
門 衛 左 郎 次 藤 伊



事 知 縣 知 愛
治 豐 幡 小

會長



大岩勇夫
名古屋勸業協會長
名古屋市長

副 會 長



名古屋工商會議所副會長
瀧 定 助



名古屋工商會議所副會長
岡 谷 惣 助



名古屋勸業協會副會長
鈴 木 政 吉



兼名古屋總務部長
青木 嗣 夫
名古屋市長助役



兼名古屋總務部長
三 澤 寬 一
名古屋市長助役

協 贊 會



會長
頭會所議會工商屋古名
門衛左郎次藤伊



長部業事
頭會副所議會工商屋古名
助惣谷岡



長部金資
頭會副所議會工商屋古名
助定瀧



長部副業事
長部業商所議會工商屋古名
一定松高



長部副金資
長部業工所議會工商屋古名
耶太鎌木青



長 總 查 審
敏 正 內 河 大 爵 子 士 博 學 工



長 查 審 術 美
長 校 學 術 美 京 東
彦 直 木 正



長 查 審
長 校 學 業 工 等 高 屋 古 名
三 彦 森 士 博 學 工



長部興餘
郎治巳井中



長部待接
七甚野淺



長部傳宣
七幸頭鬼



長部品出
郎十喜島大



長部生衛備警
衛兵茂上井



長部理經
郎太梅藤加故



問願術美
郎三鈴部宮



長部查審
郎四平崎宮



長部營工
郎次錄木青



長部副傳宣
准 富 工



長部副理經
薰 下 木



長部副品出
郎 太 勝 藤 加



事 理 務 專
雄 昌 山 宮 小



長部副待接
郎 三 篤 田 池



長部副興餘
郎 次 庄 原 金



長部副査審
信 泰 金 黒



長部副品出
通 博 藤 近



長部副傳宣
一 榮 住 久

員 查 審



長部三第
郎太萬藤伊



長部二第
郎一才田柴



長部一第
操野上



長部五第
一純屋土



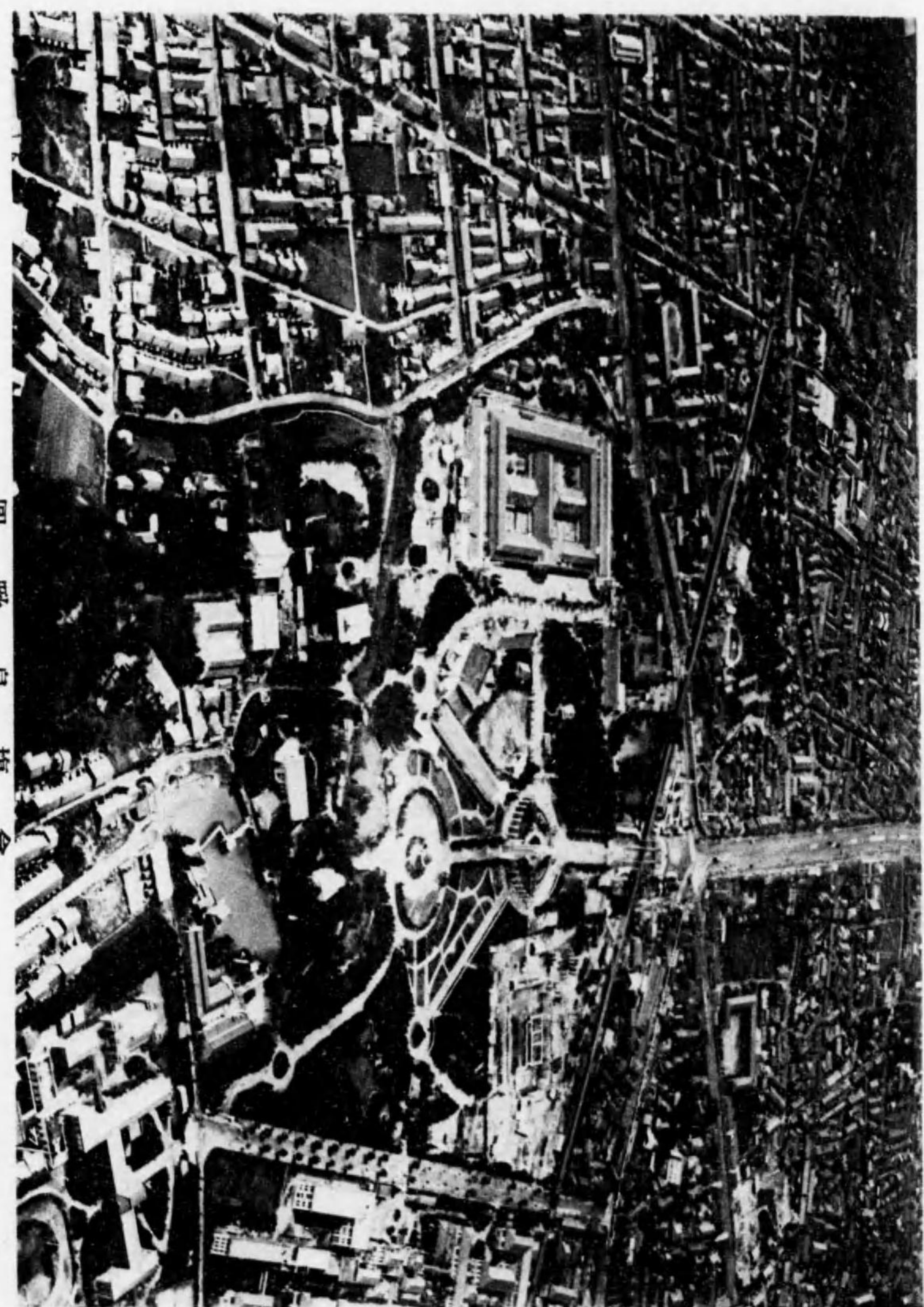
長部四第
十晃奈比朝



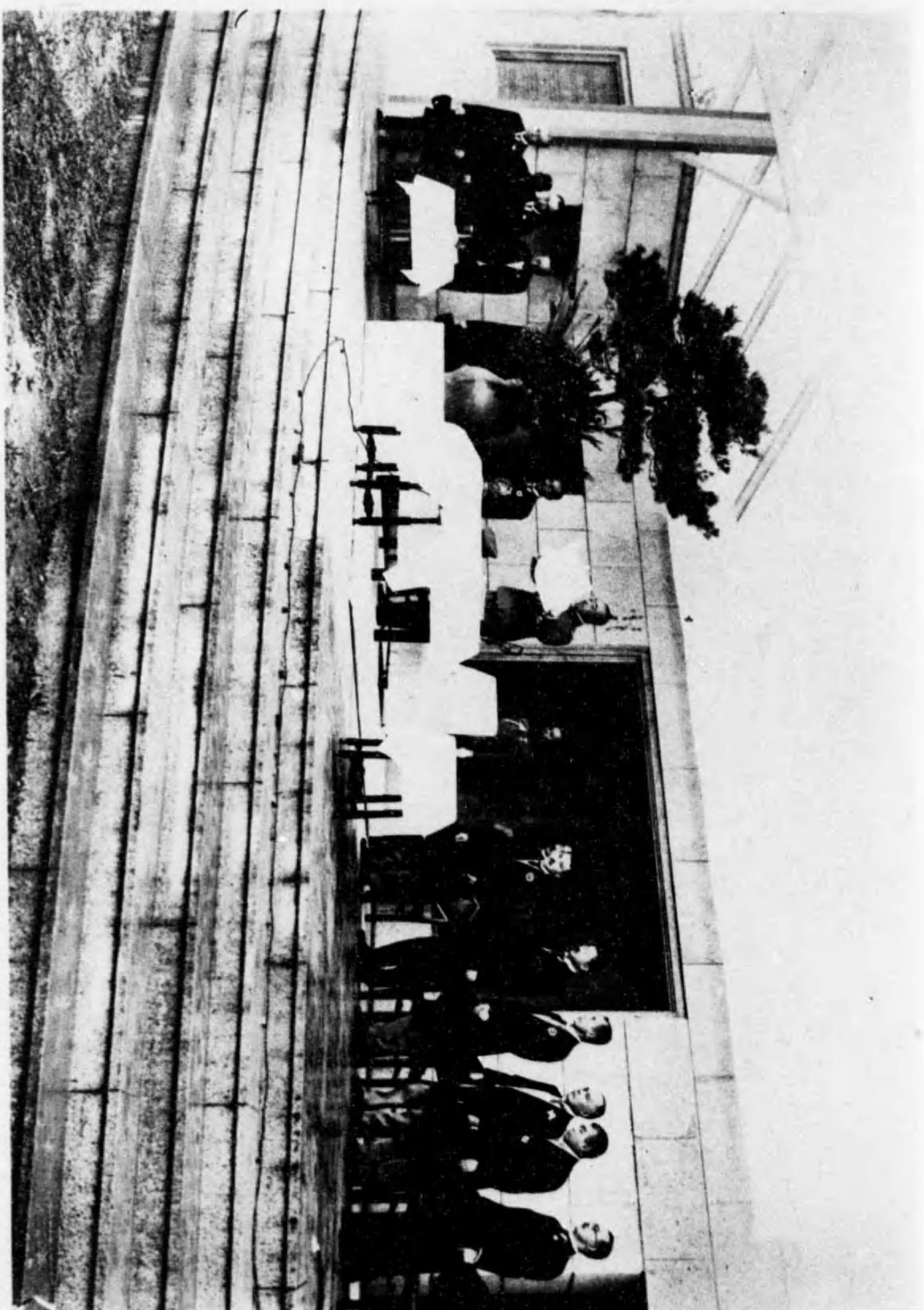
長部七第
郎治文原



長部六第
吉春井金



會場鳥瞰圖



開會式に於て總裁殿下御旨賜ふ



授親御賞褒下殿宮裁總て於に式與授賞褒

御巡覧の賀陽宮殿下一族



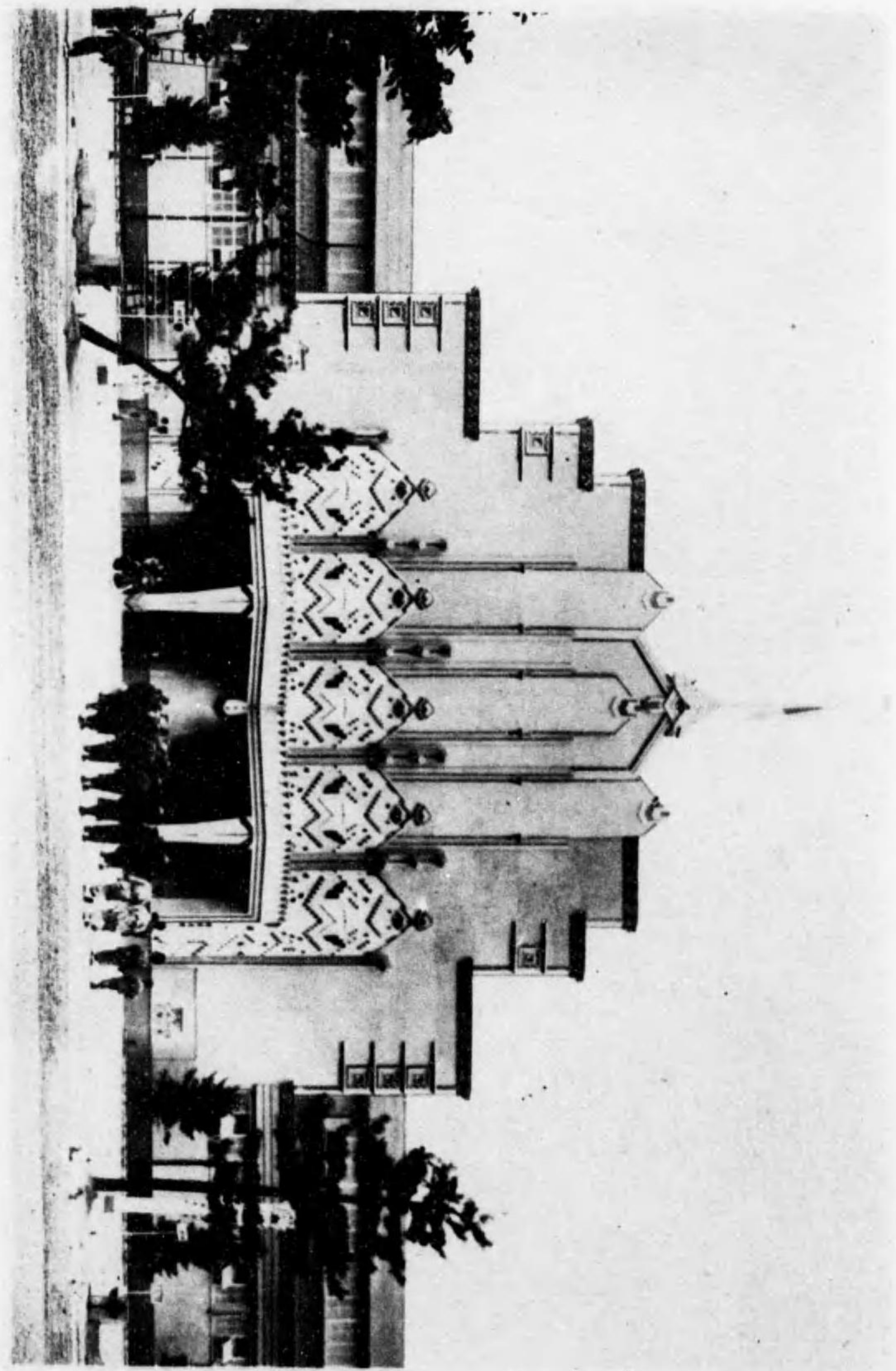
御巡覧の閑院宮殿下

奉 祝 塔



名古屋驛前奉祝門(建架中)

館 本



門 正

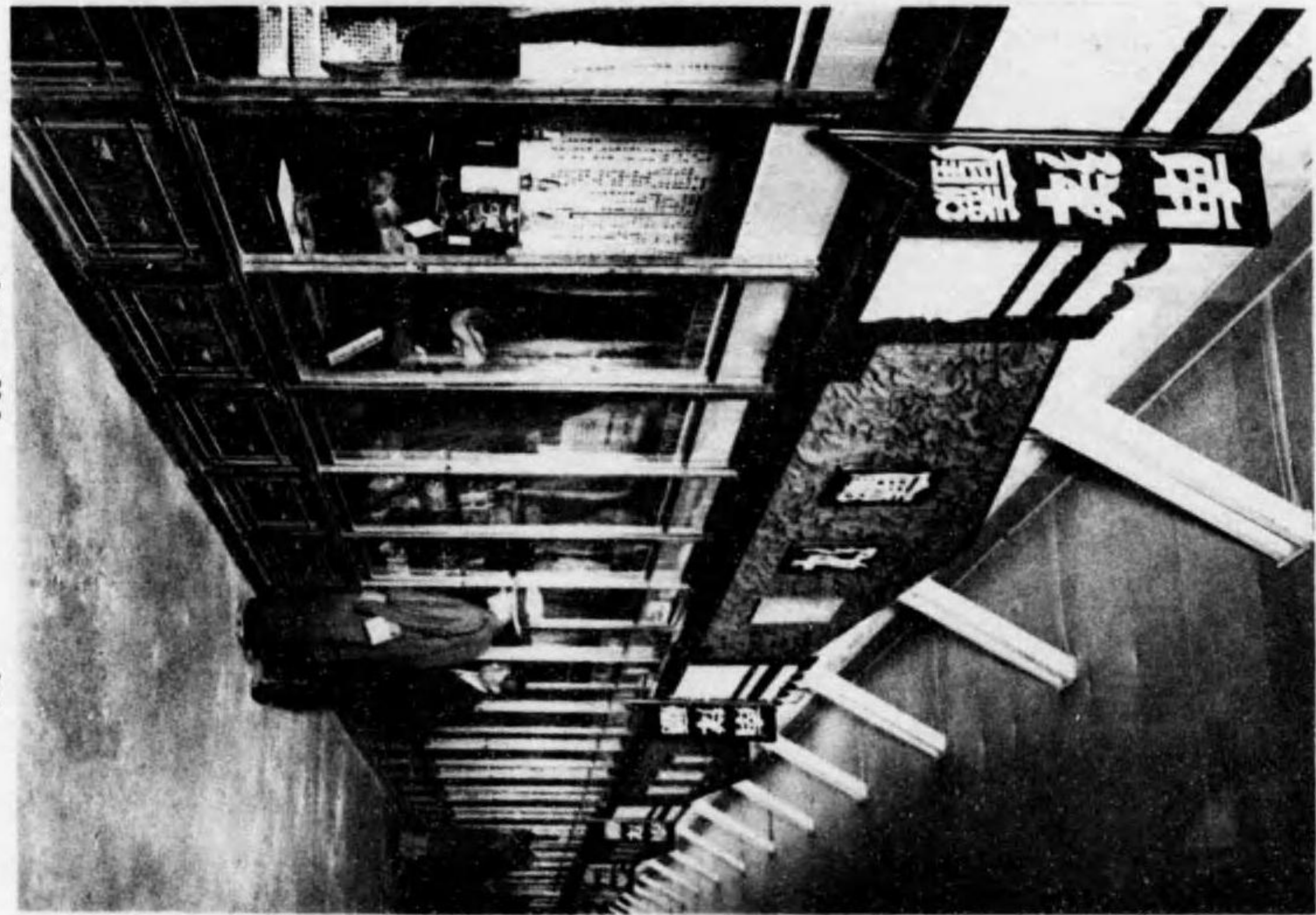


場 賣 券 覽 觀

(一 其) 部 内 館 本



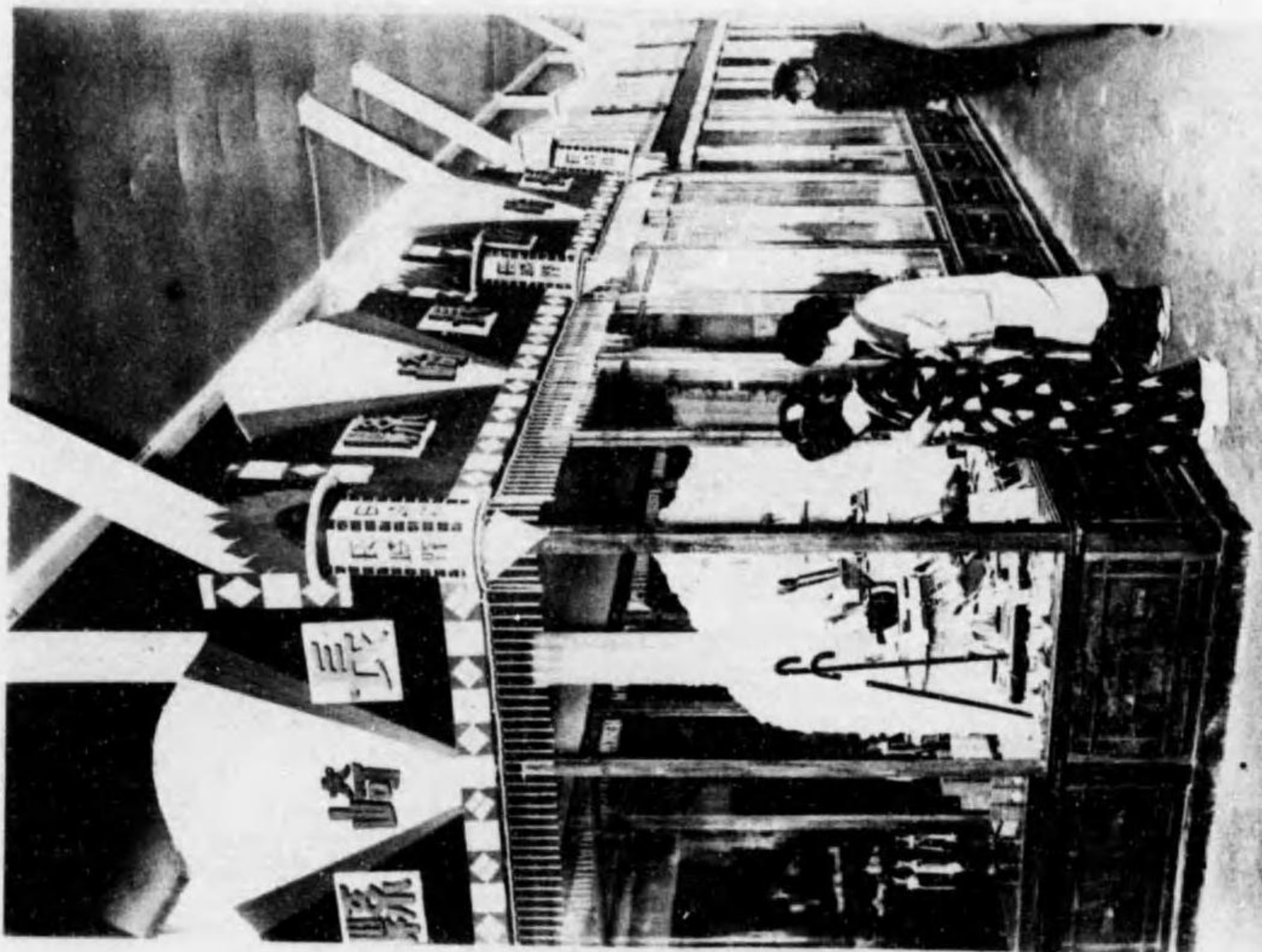
(二 其) 同



(四 其) 同



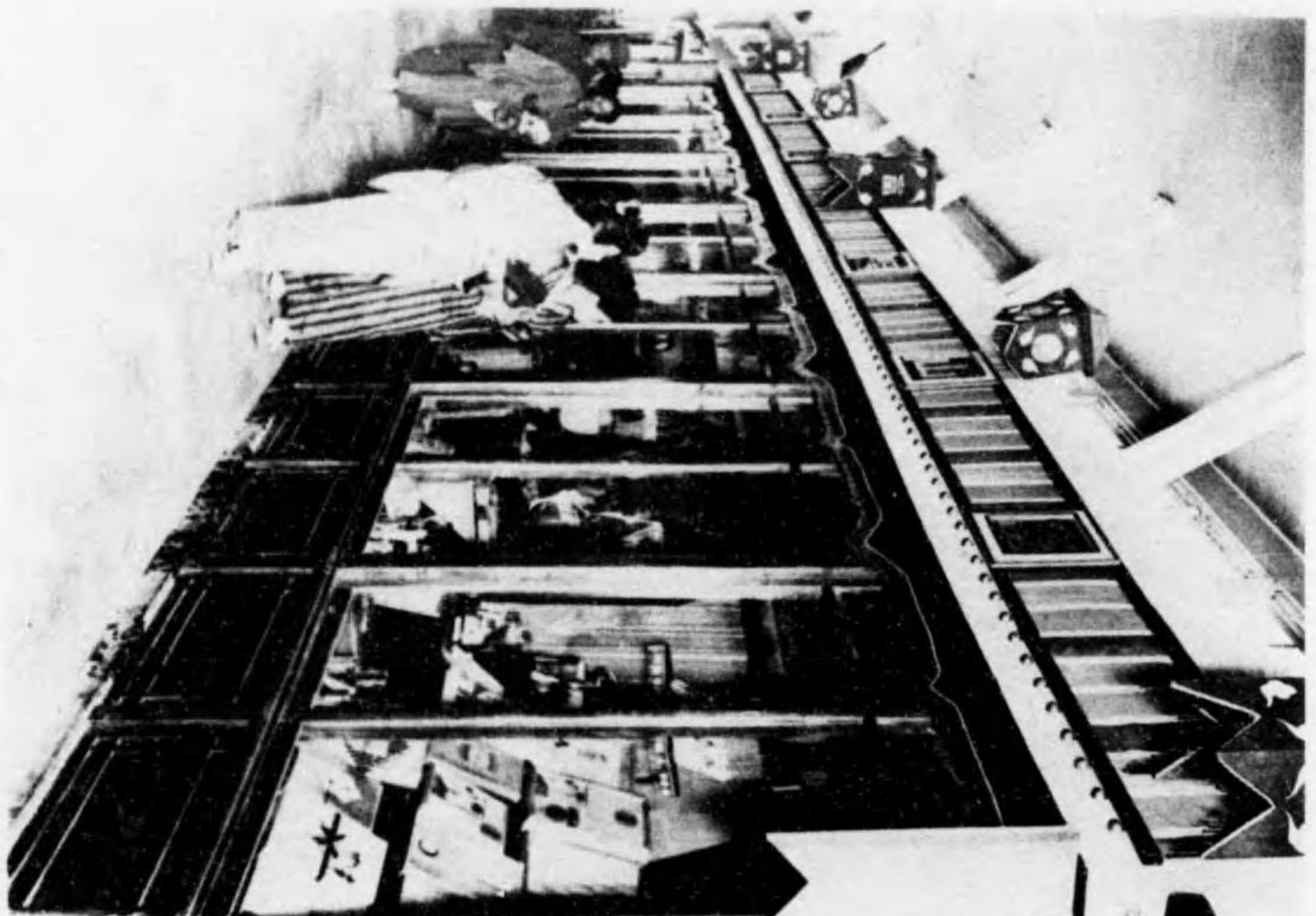
(三 其) 同



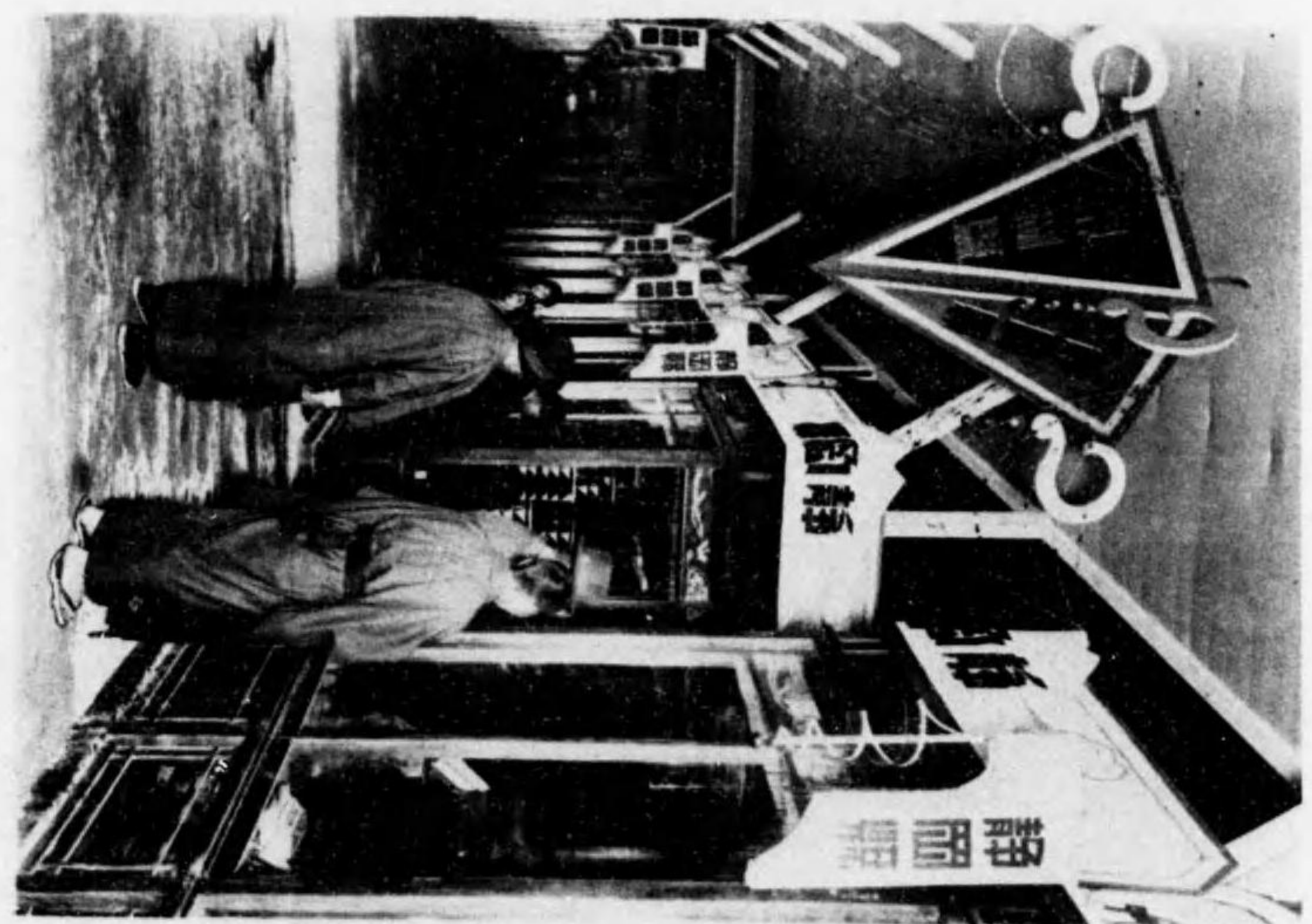
同 (五其)



同 (六其)



同 (八其)



同 (七其)

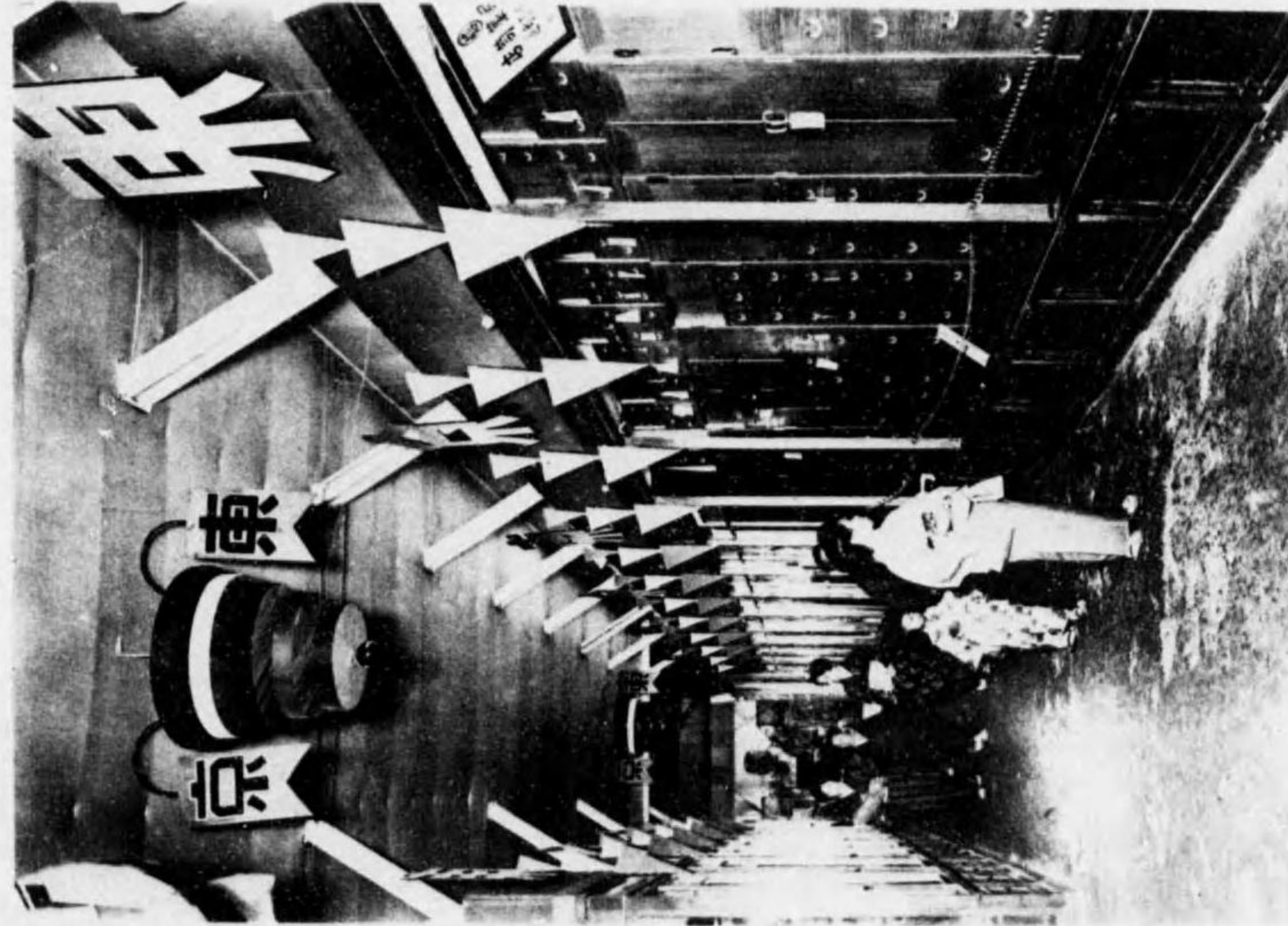
同 (其十一)



同 (其十二)

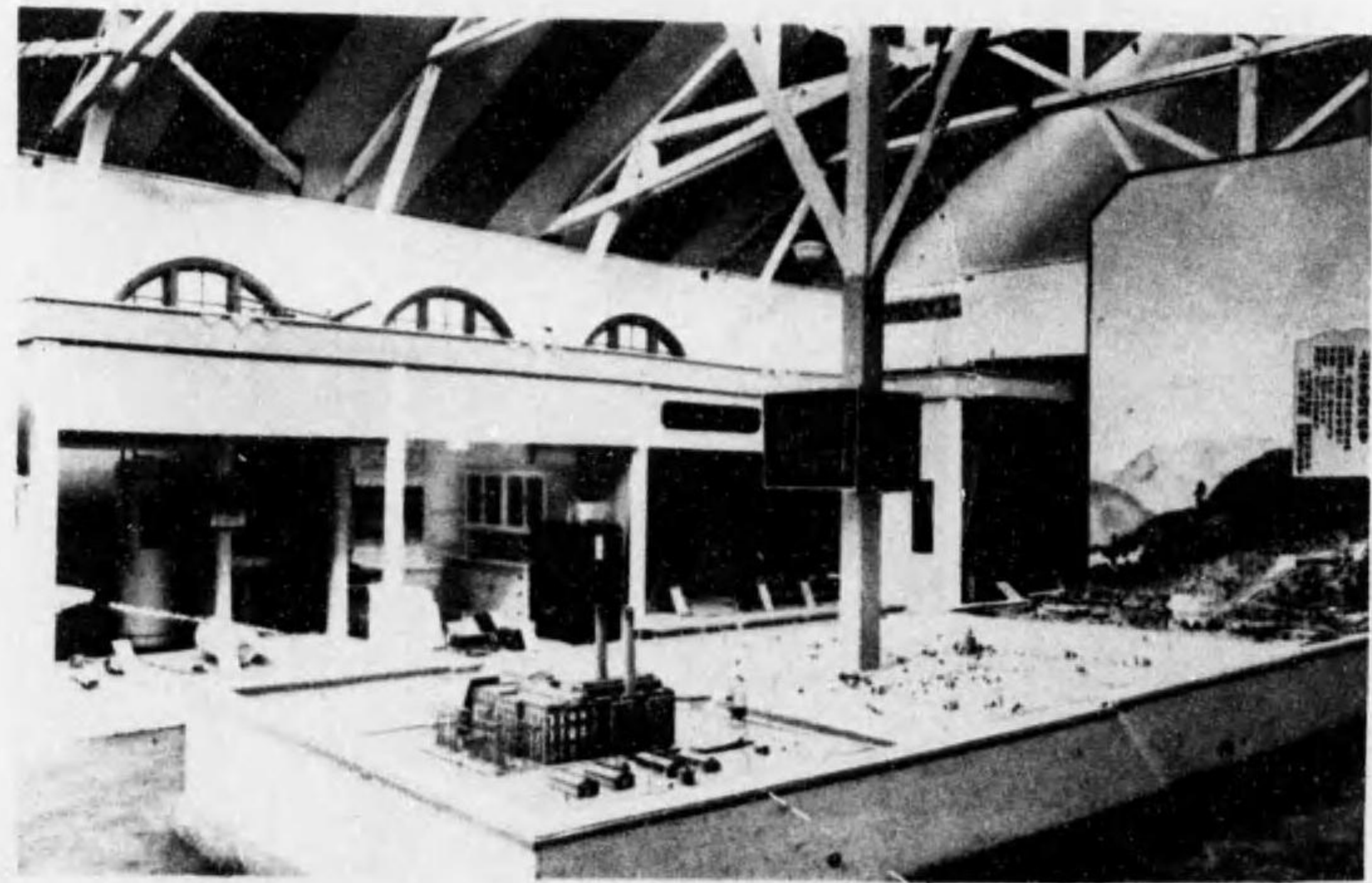
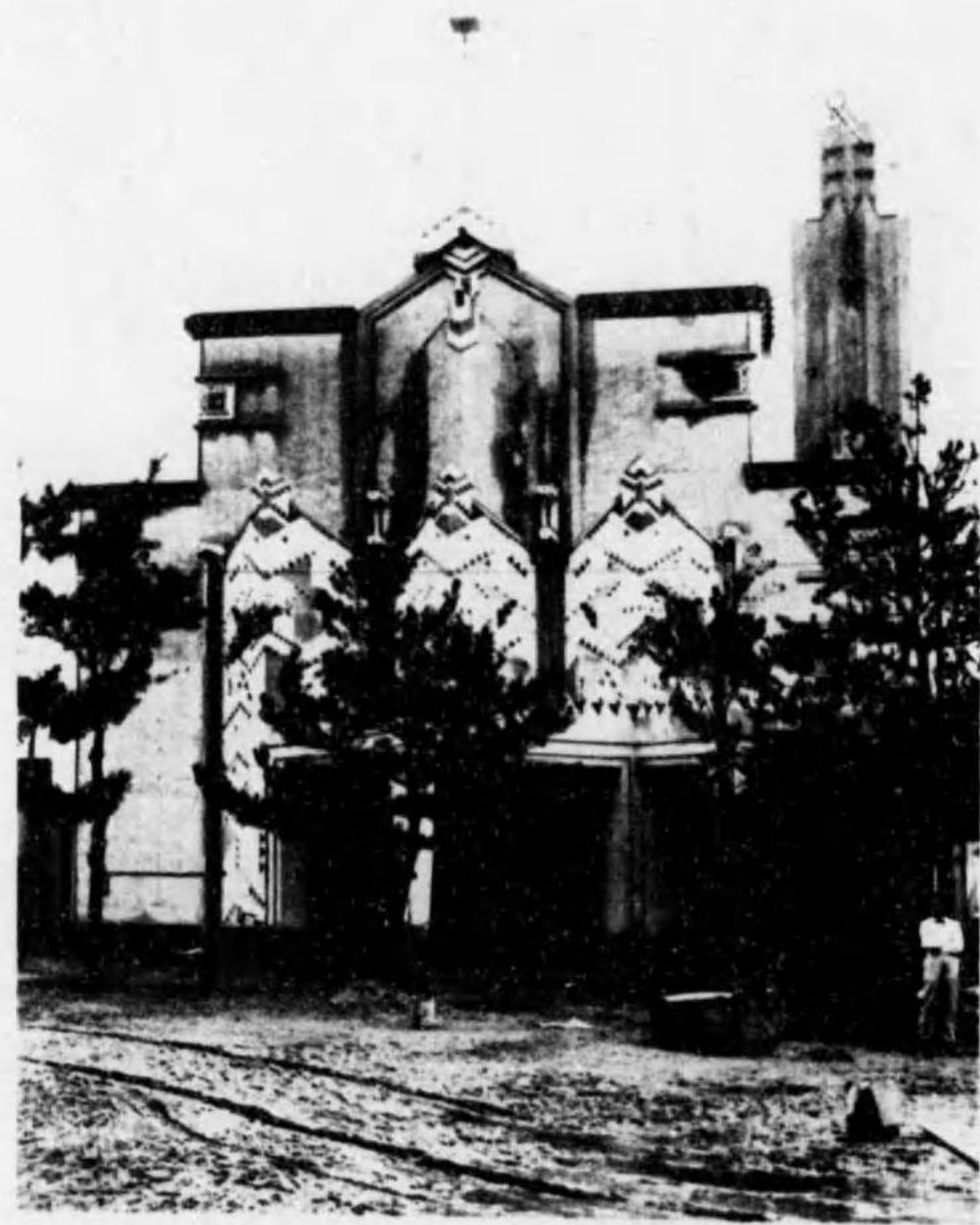


同 (其九)



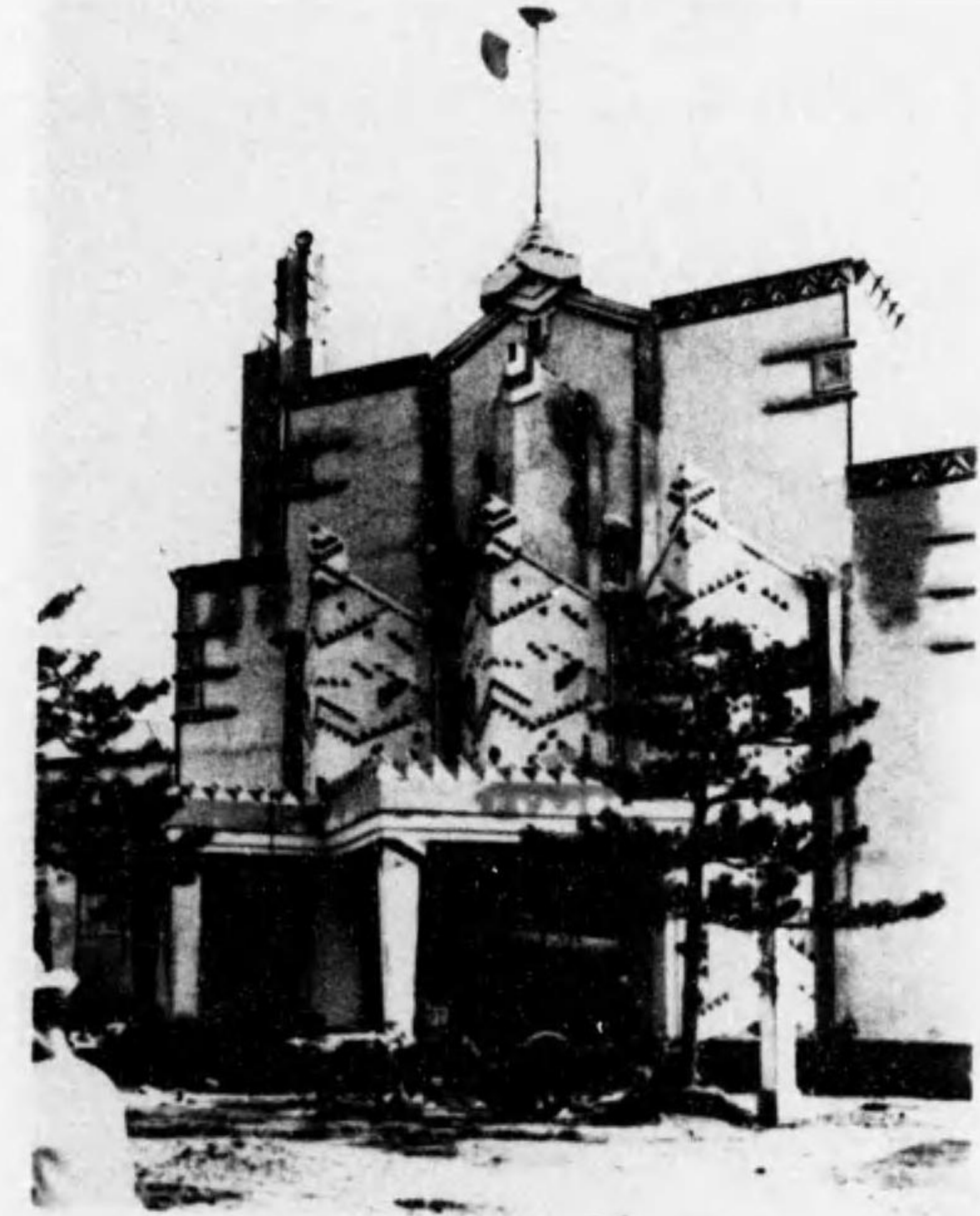
同 (其十)

電 氣 館



其 一 部

機 械 館



其 一 部

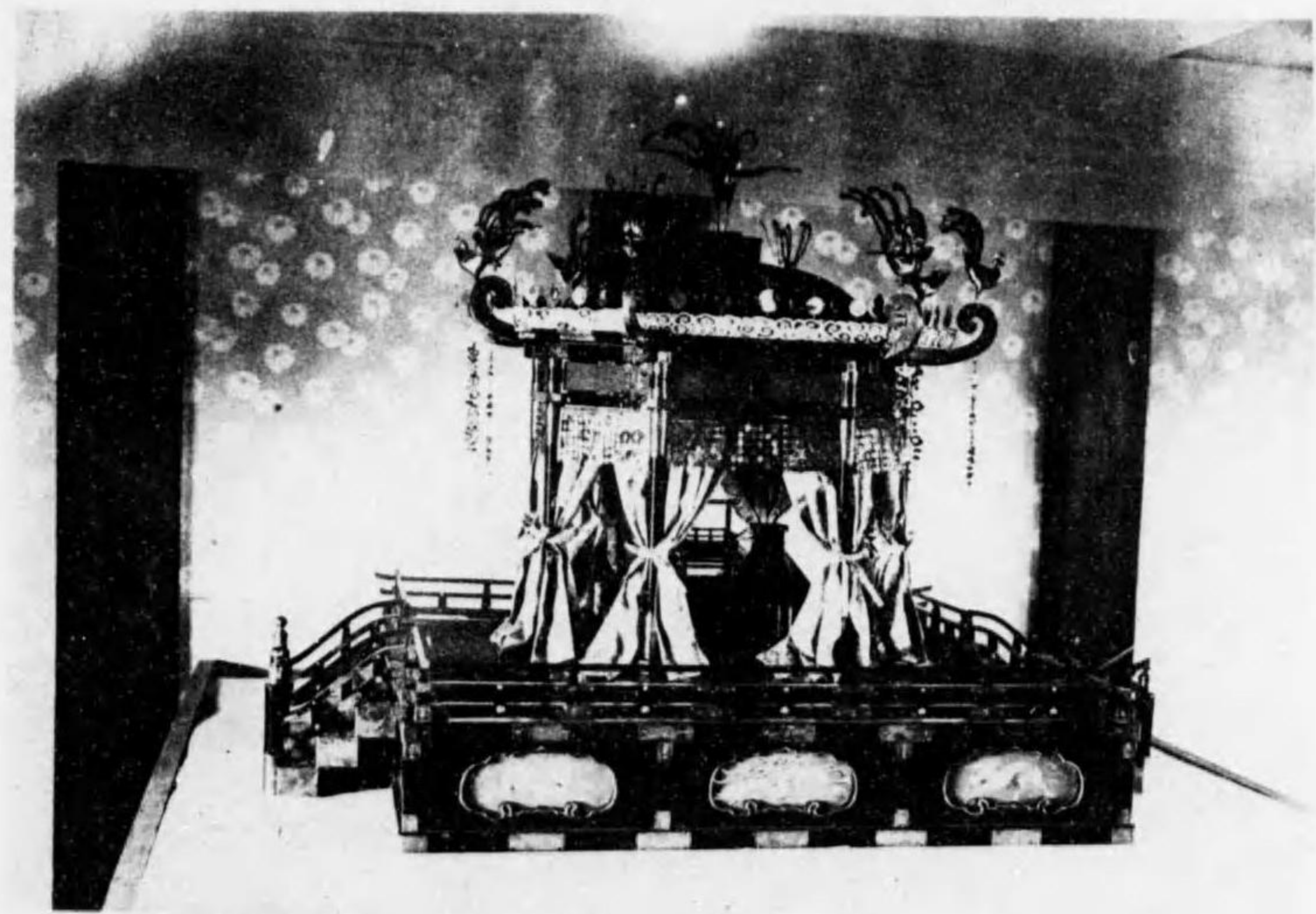
館 防 國



館 禮 大

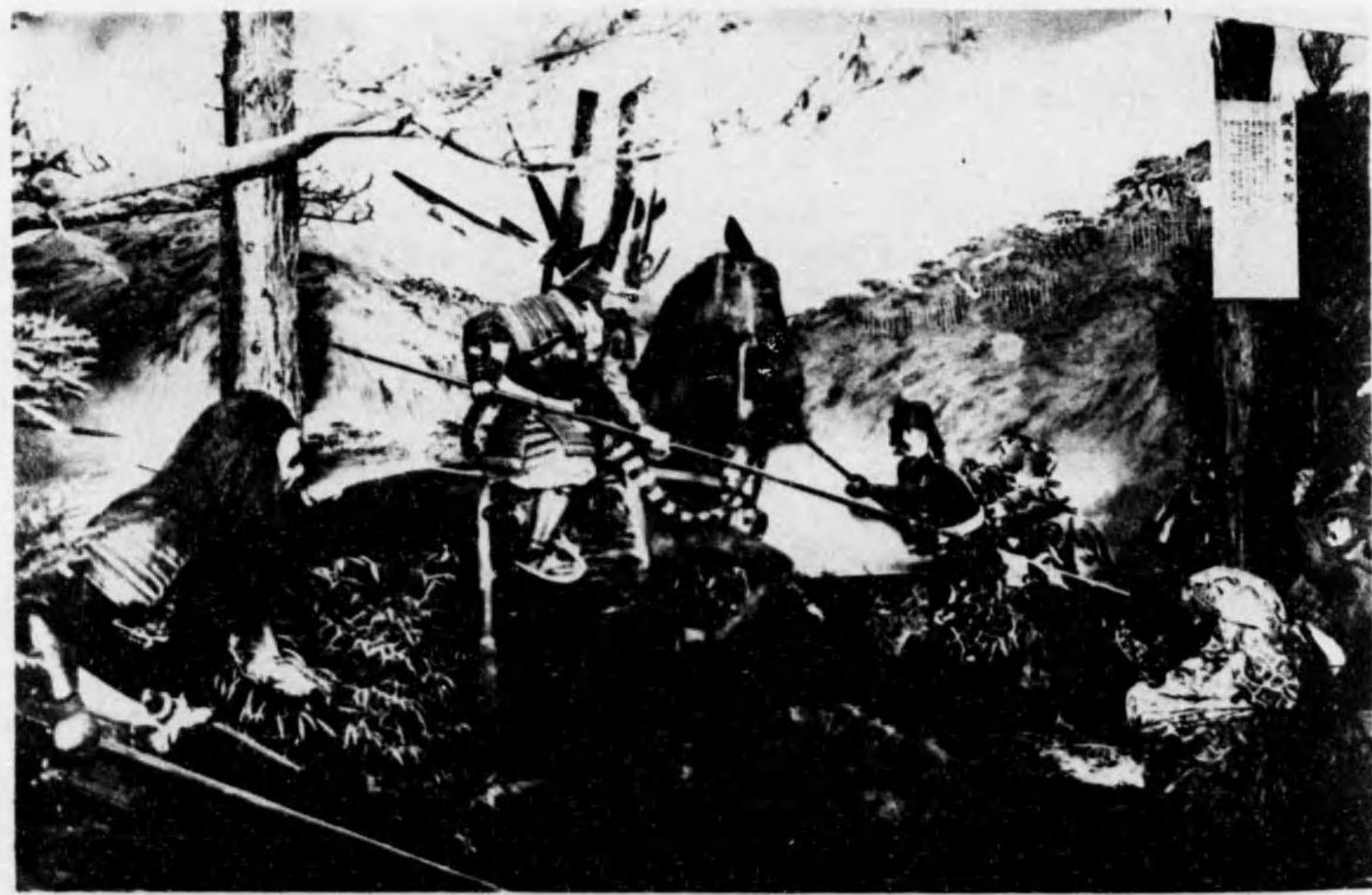
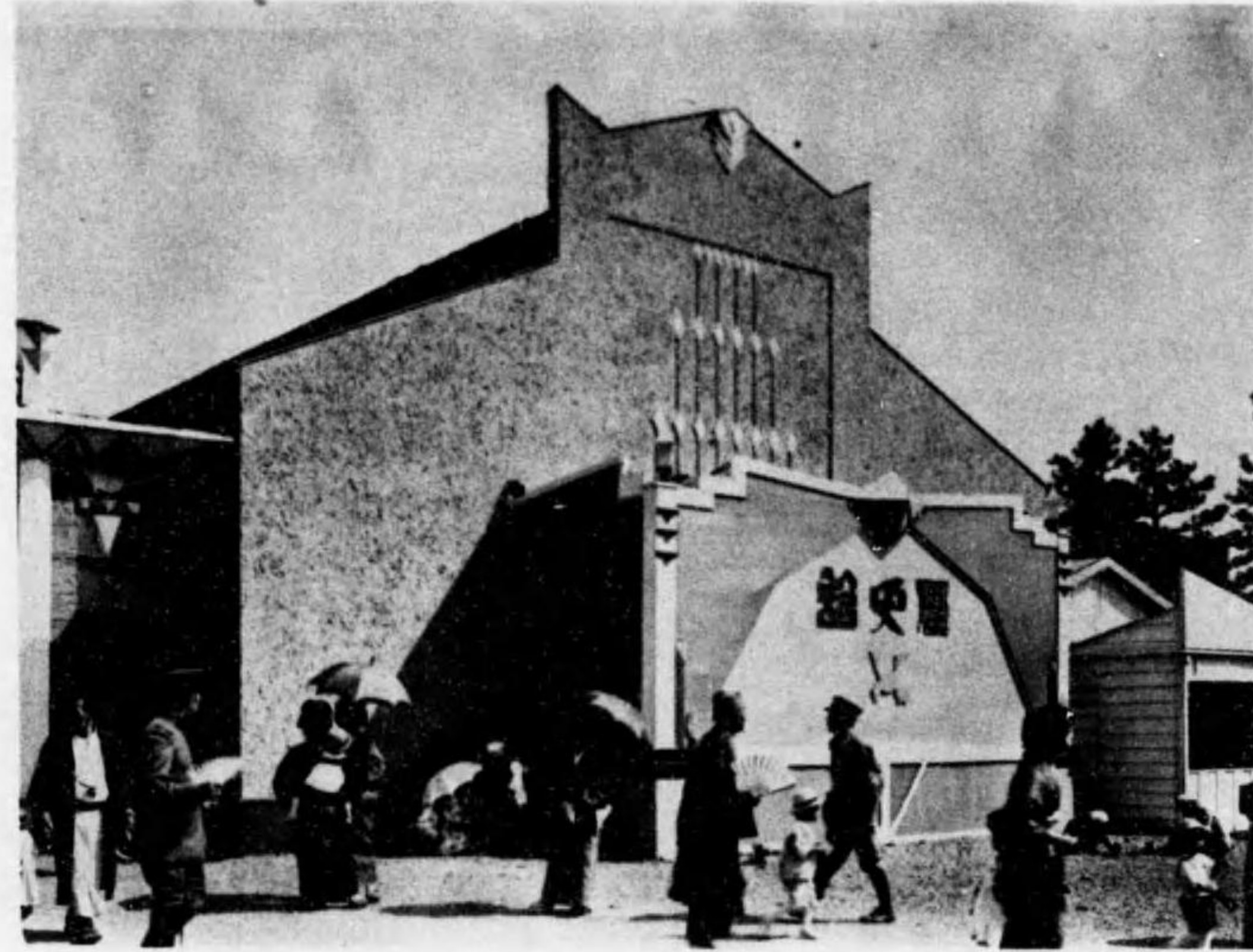


館 生 衛



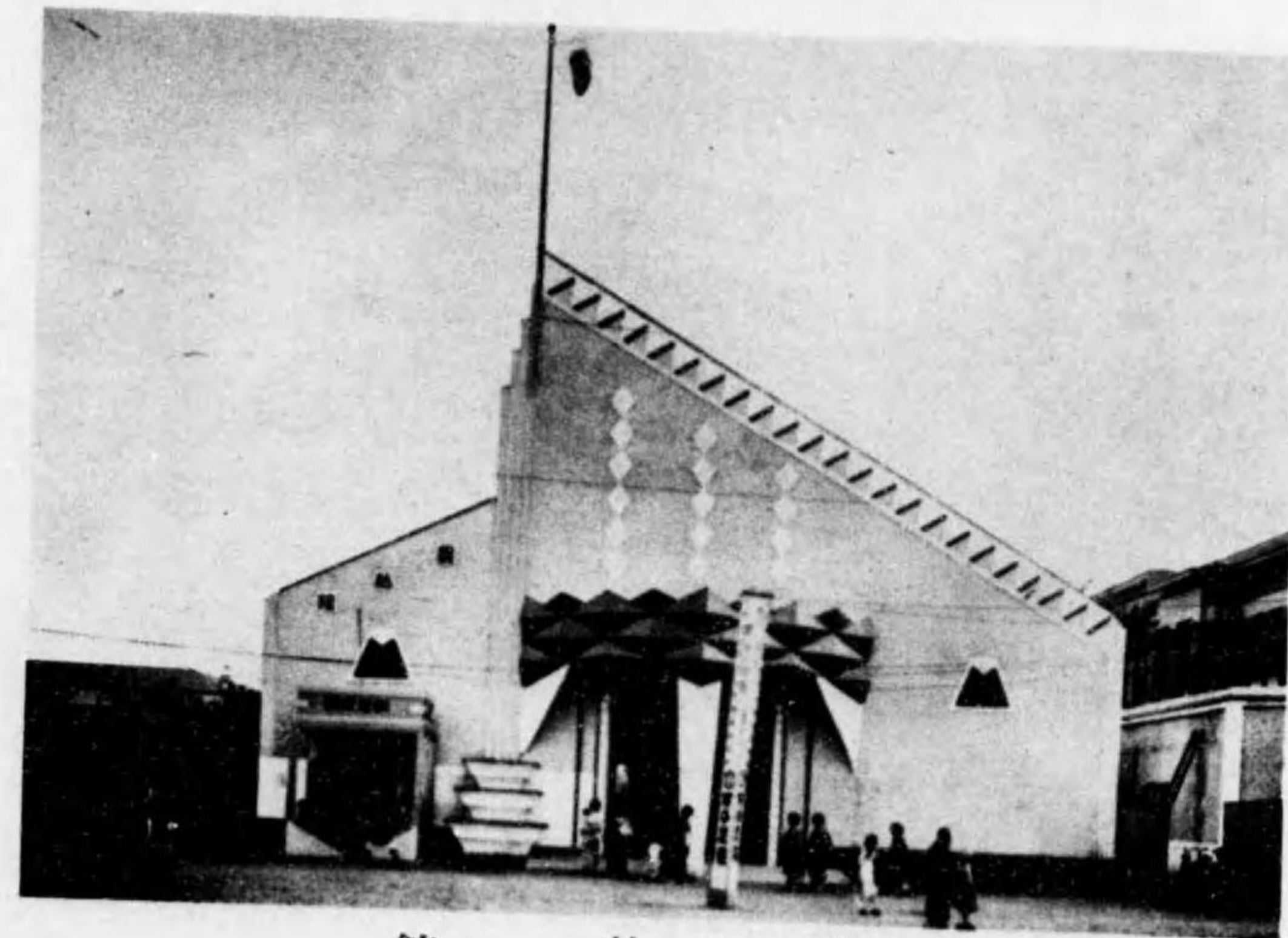
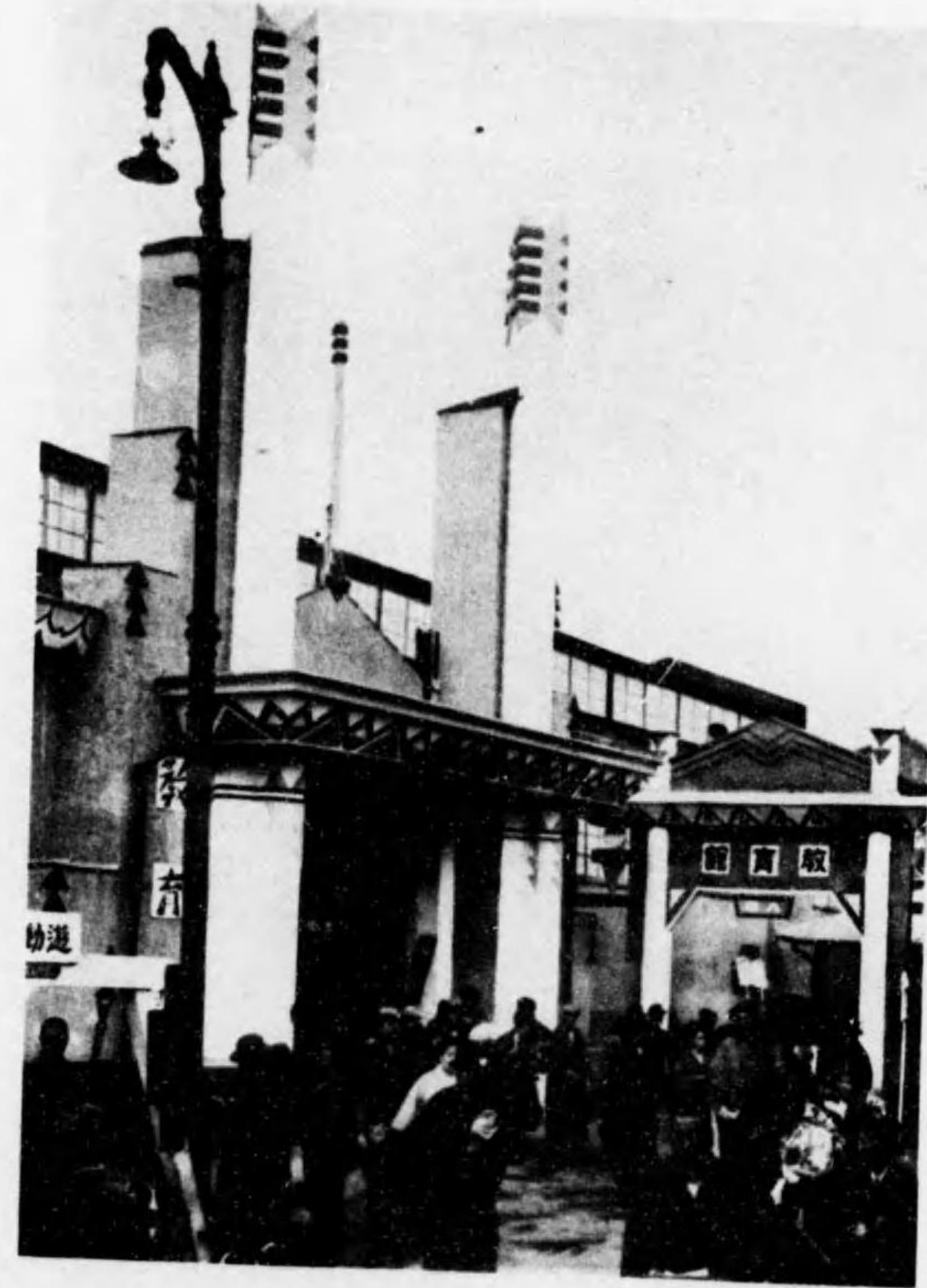
部 一 其

館 史 歴



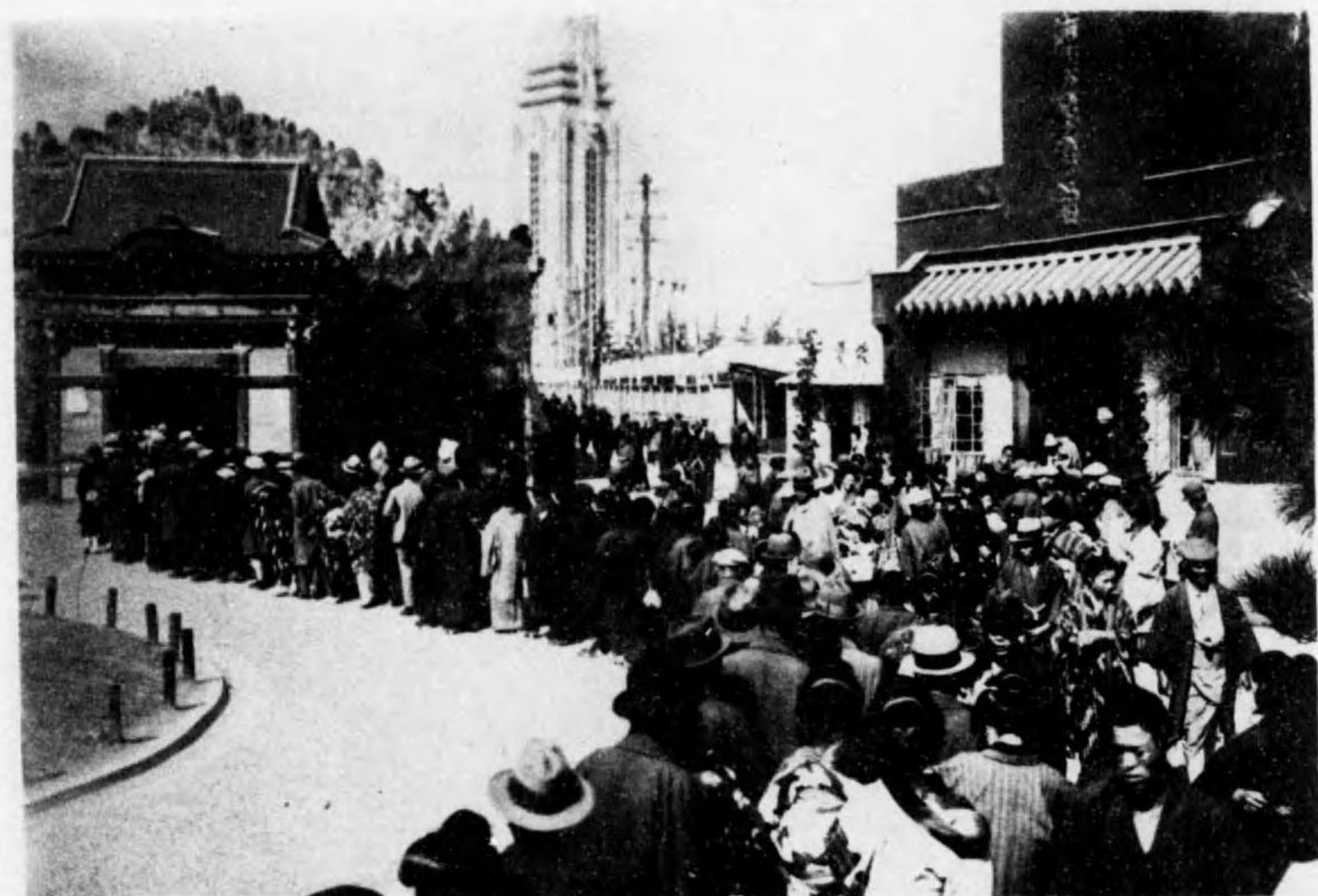
部 一 其

館 育 教



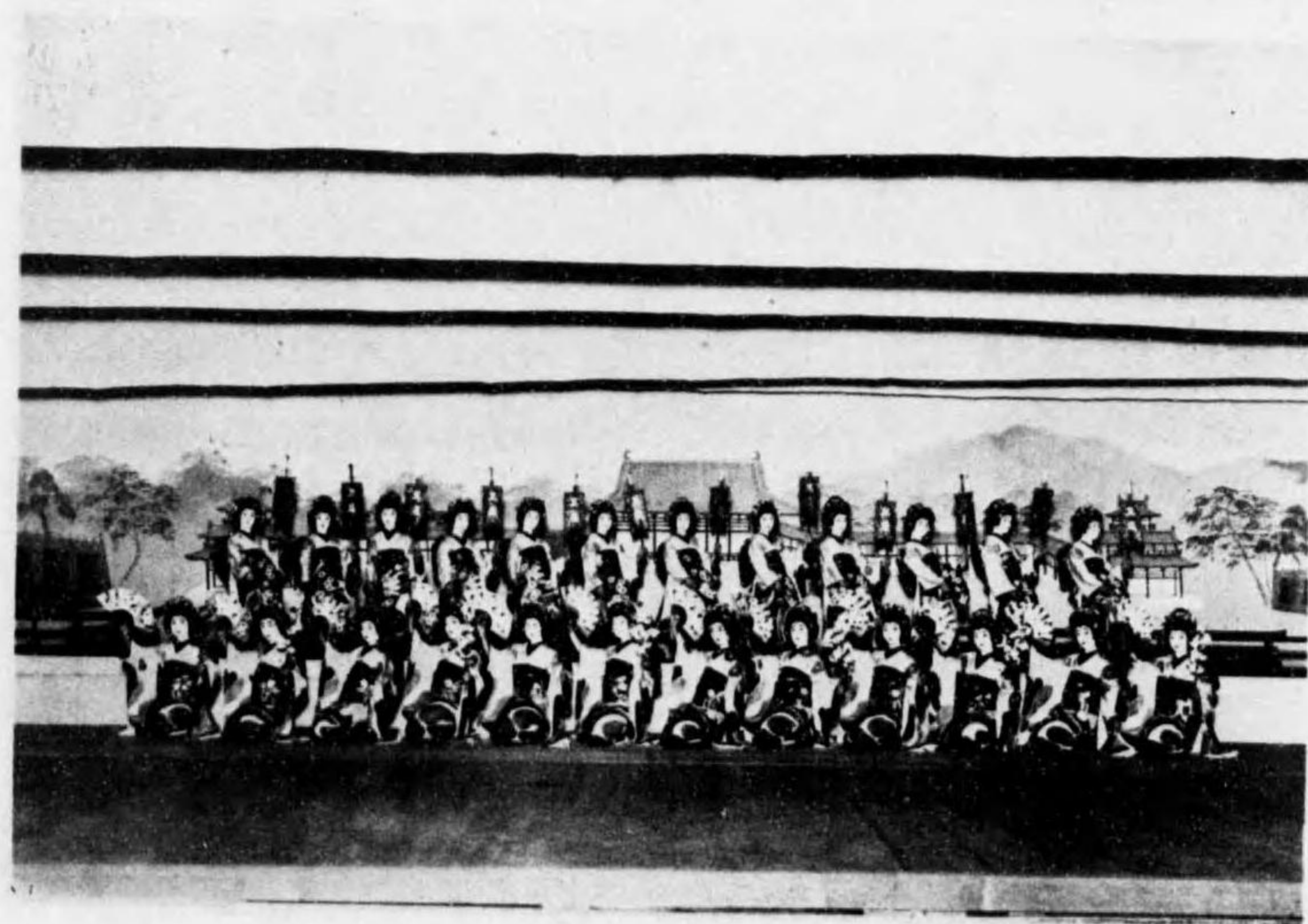
館 林 農

日 光 館



其 一 部

演 舞 場



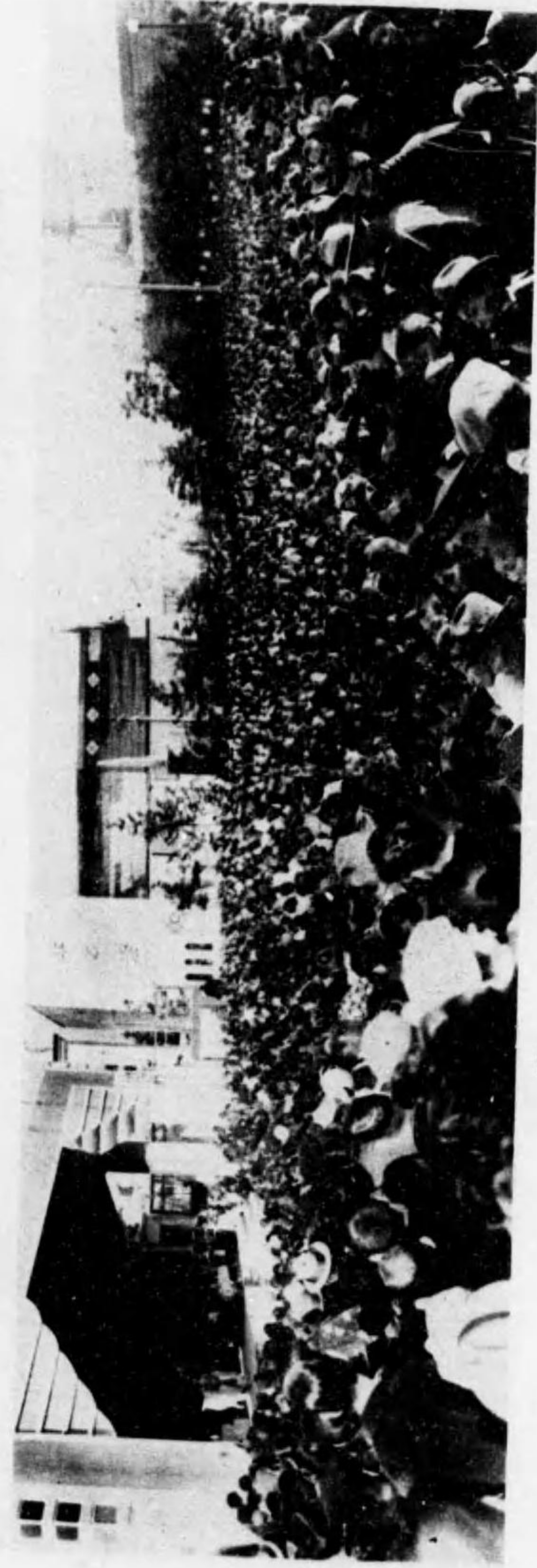
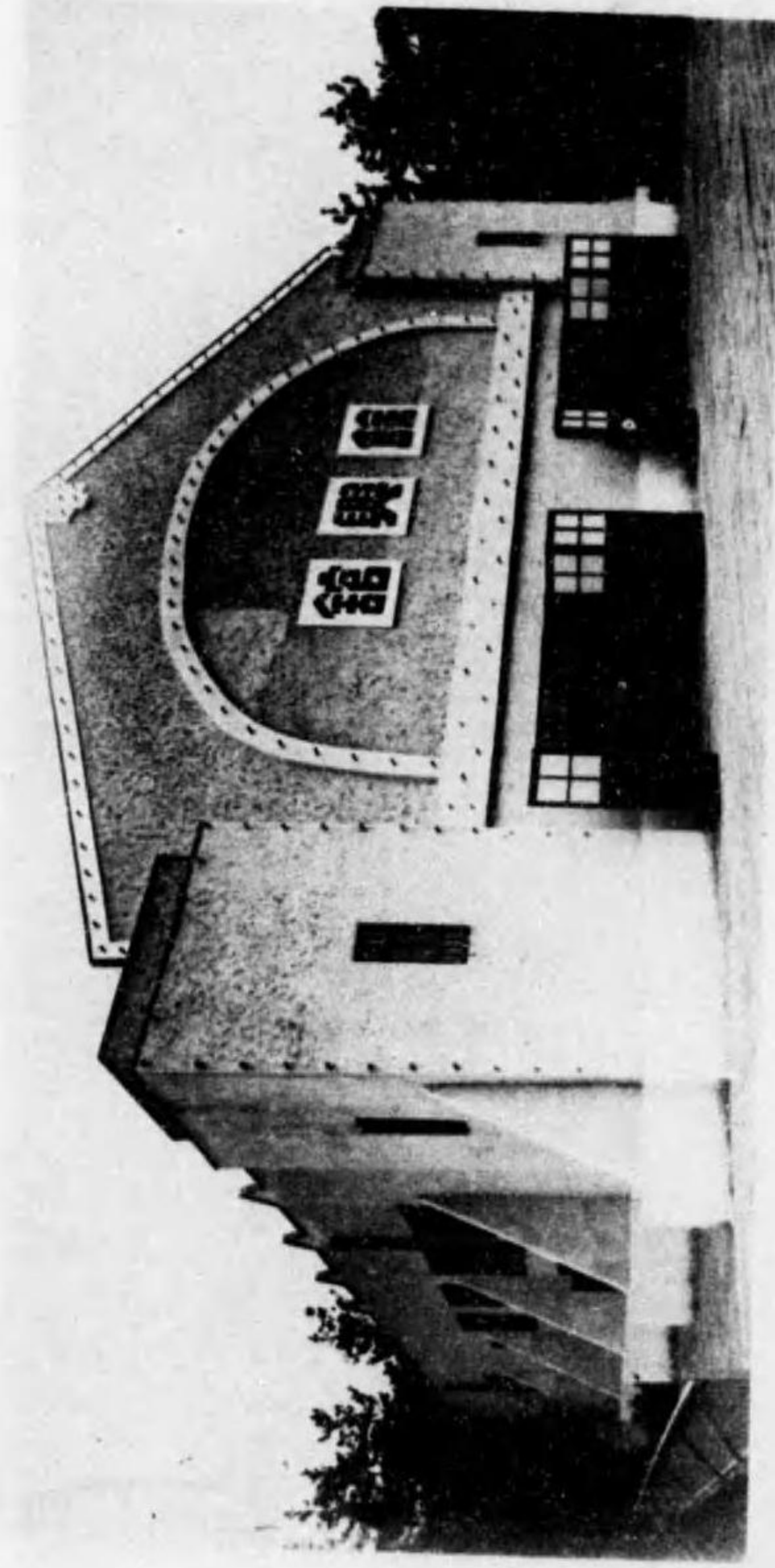
舞 踊 御 大 典 奉 祝 音 頭

美 術 館



其 一 部

餘 興 館



野 外 劇 場

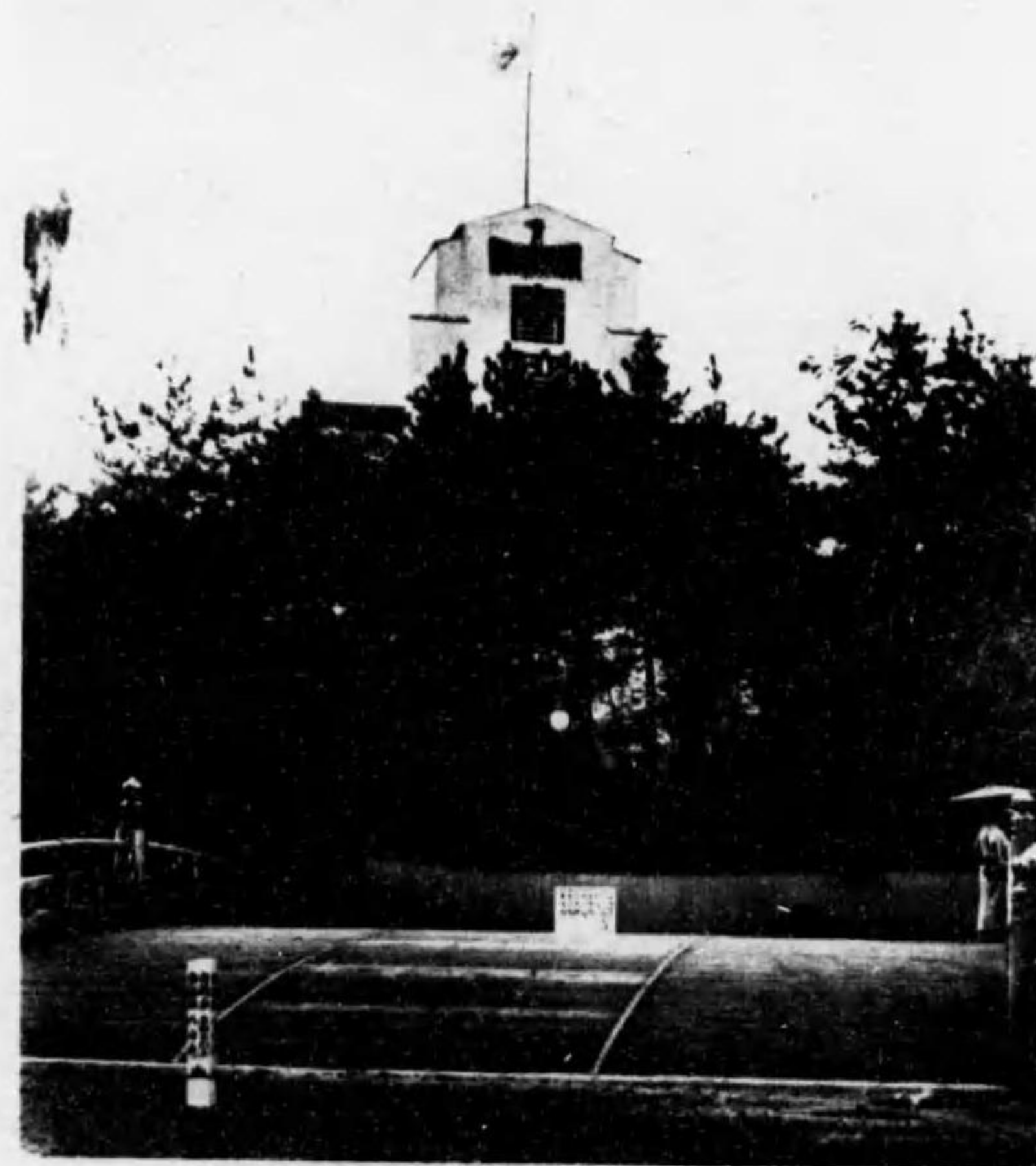
滿蒙參考館



朝鮮館

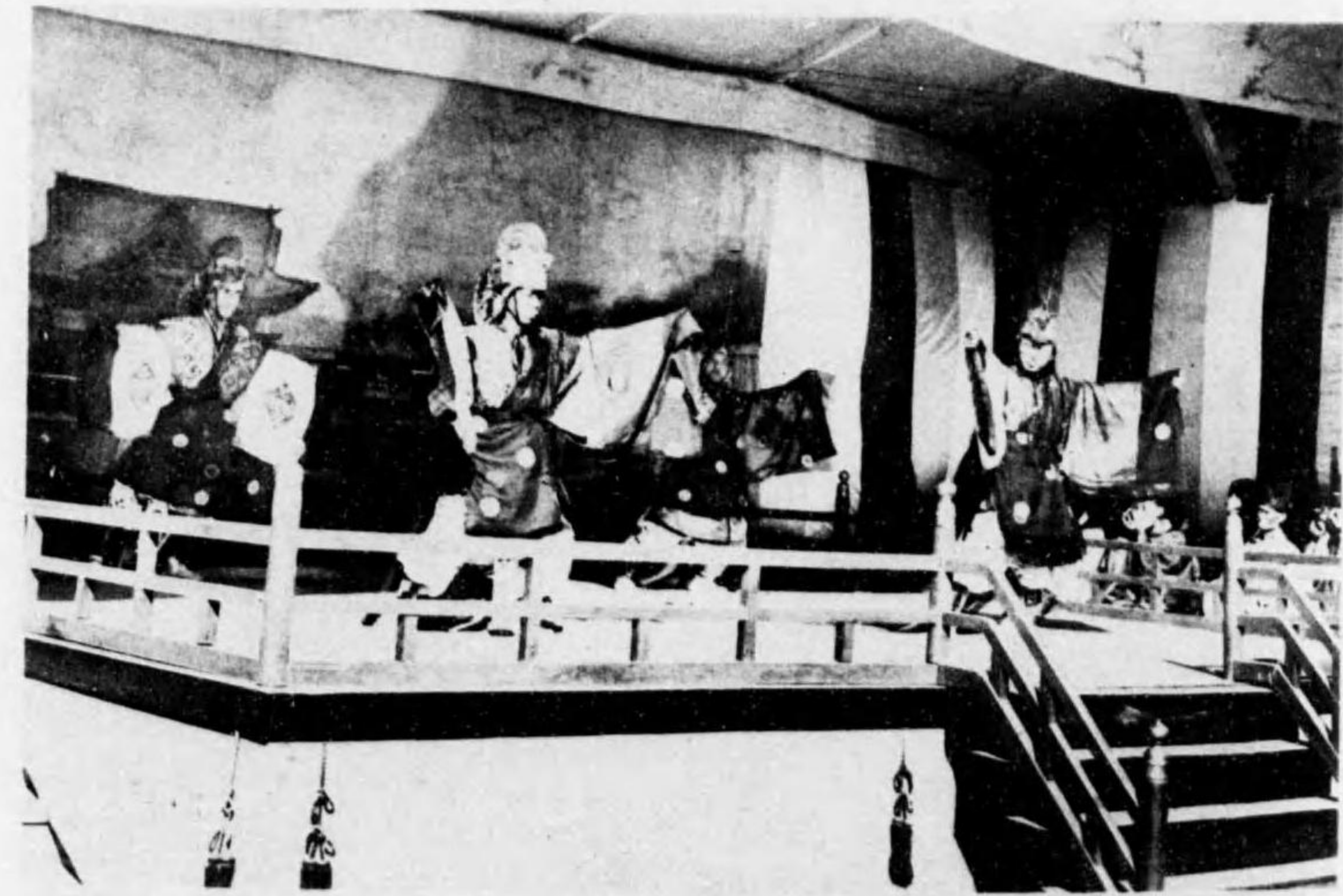
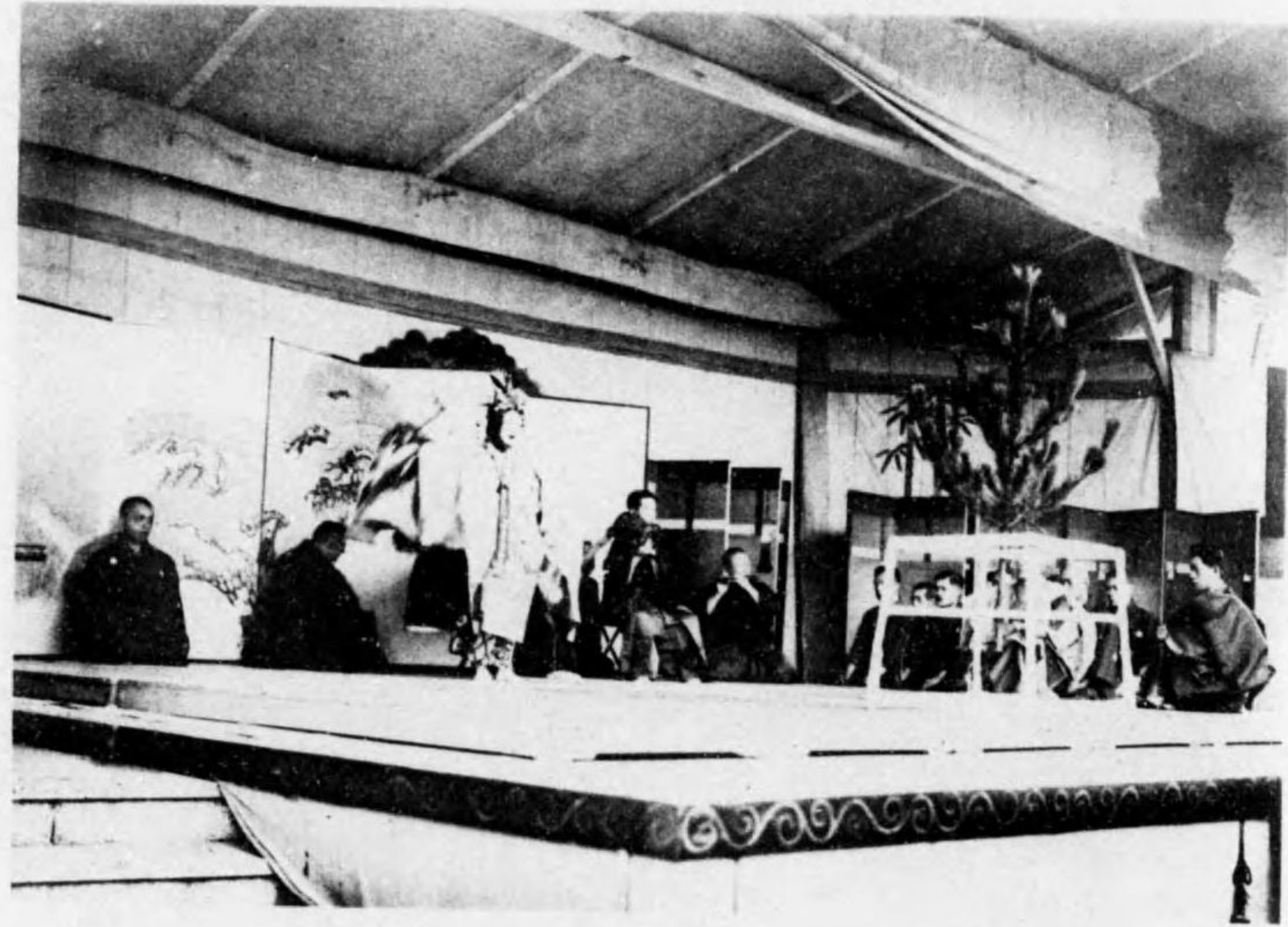


北海道館



臺灣館

(之喜世觀) 衣 羽 能



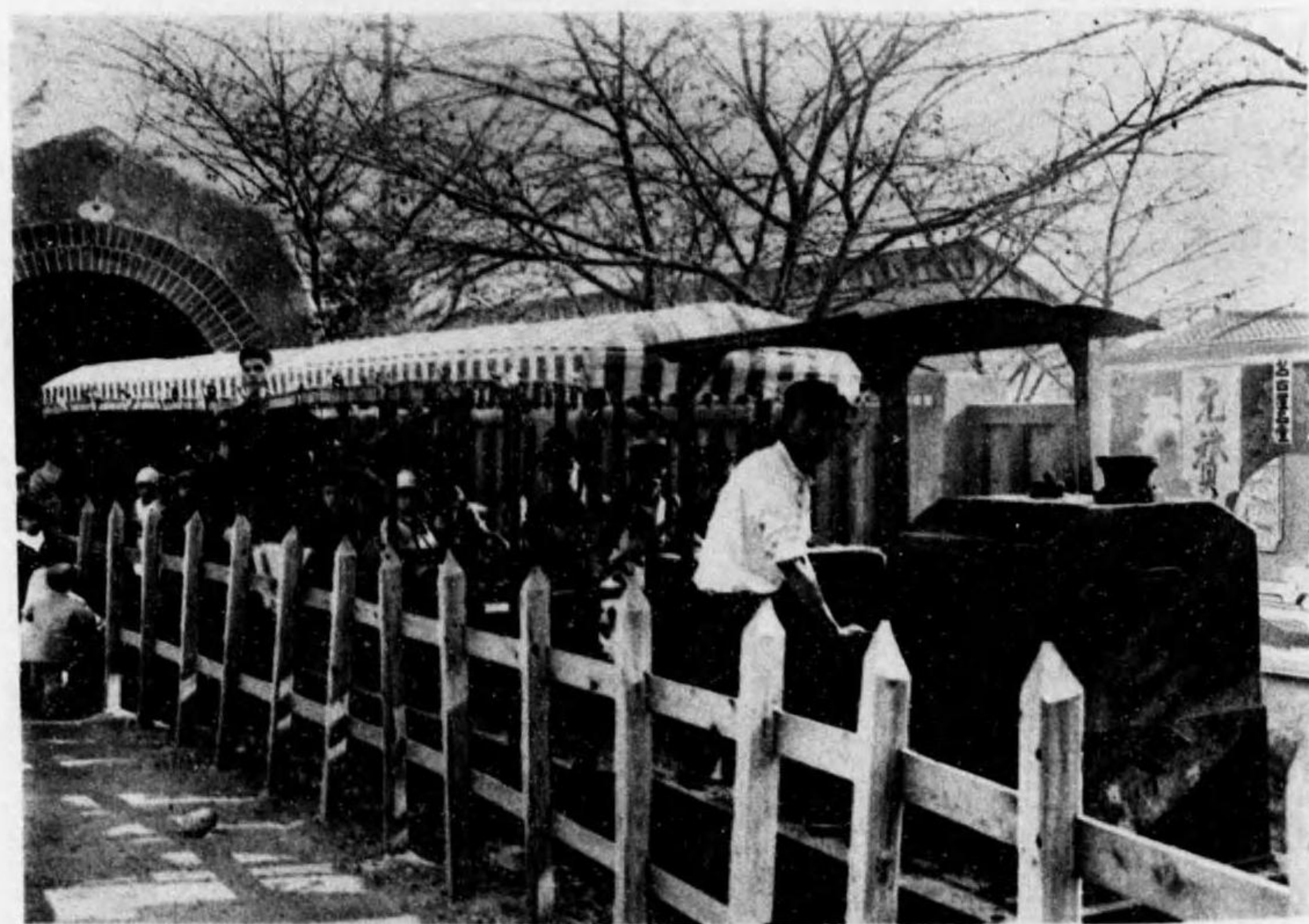
樂 歲 萬 樂 舞

語 物 勢 伊 踊 舞



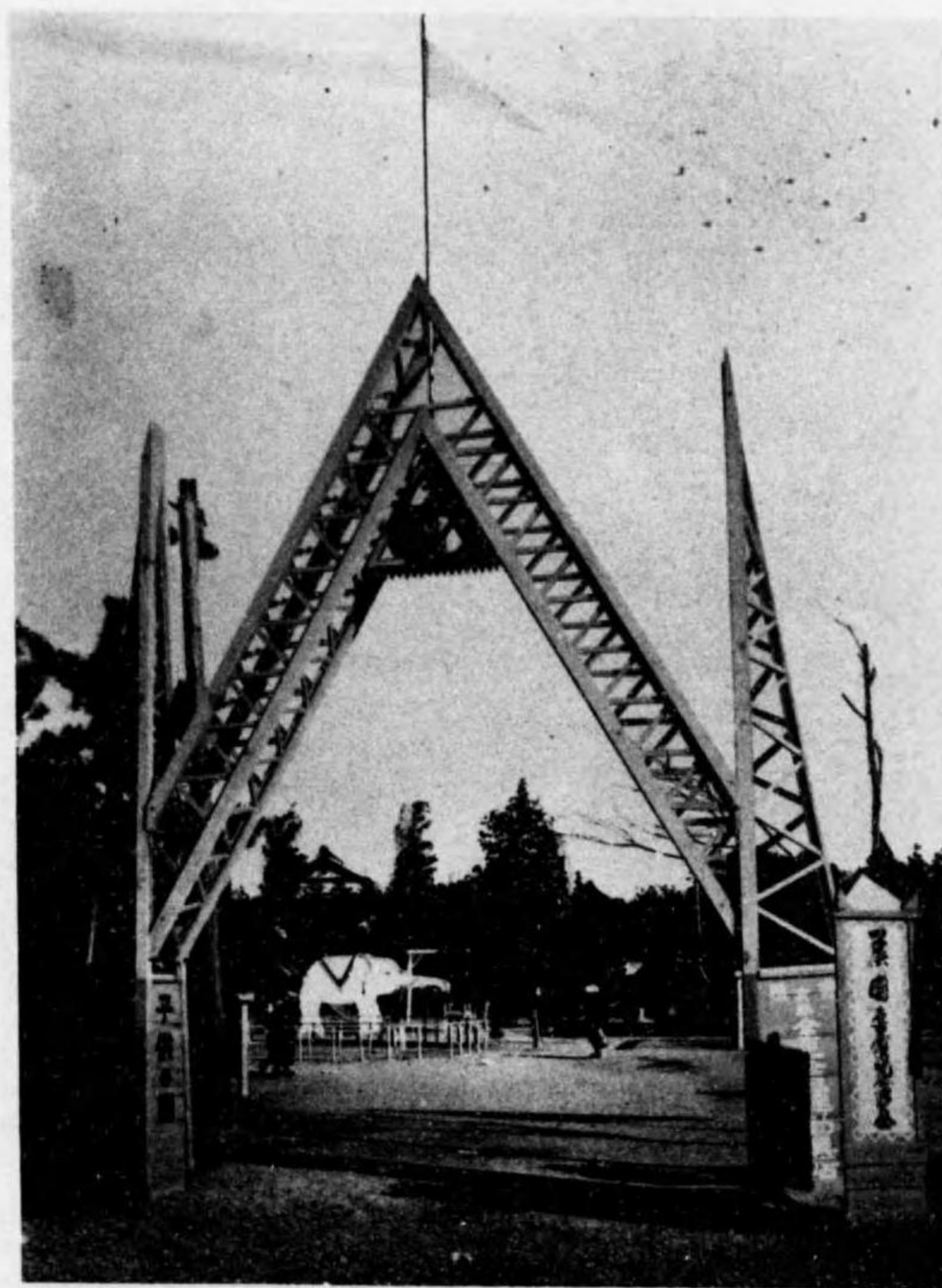
鏡 對 合 睦 同

同サークレン



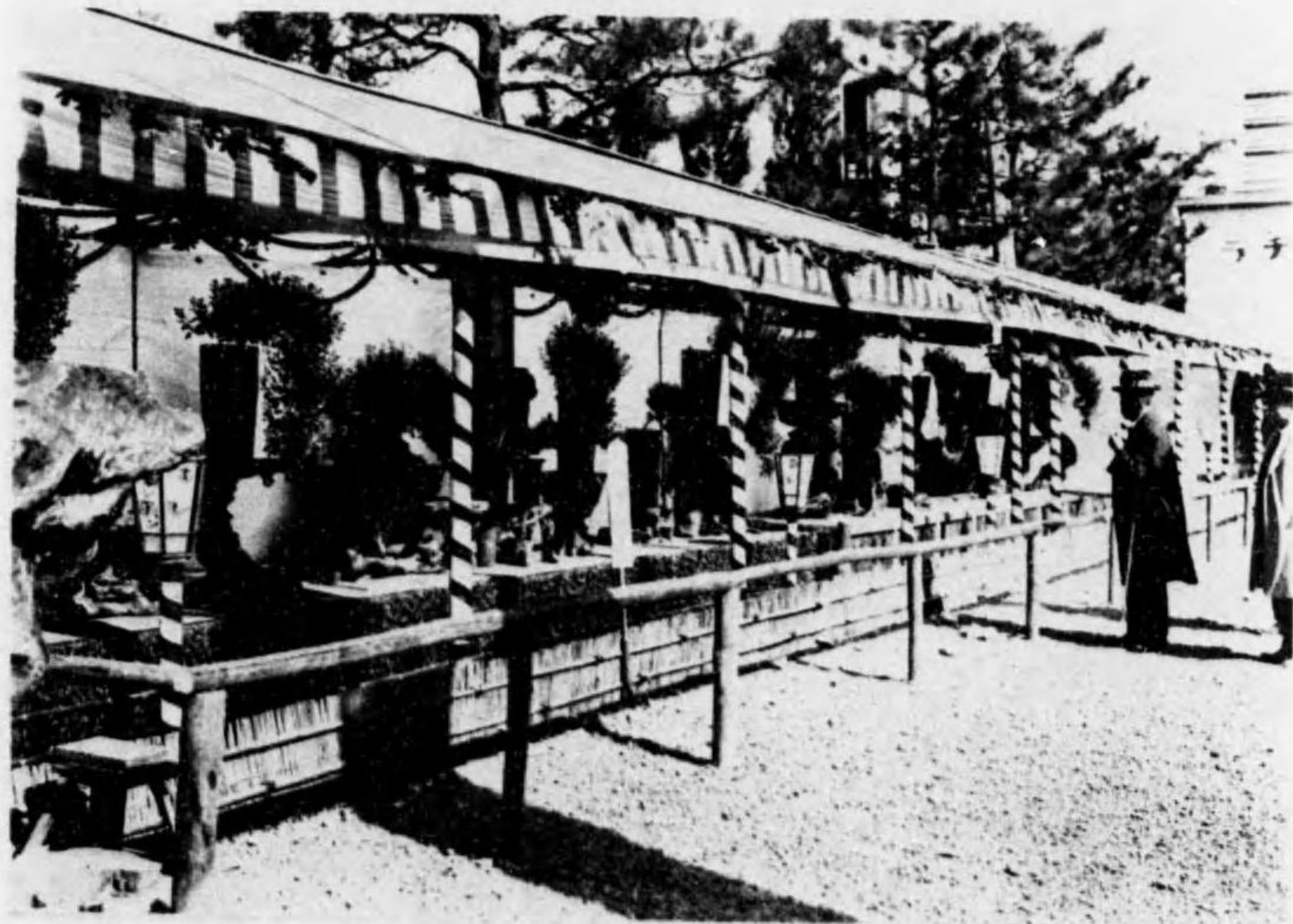
同子供汽車

子供國の入口



同廻轉臺と飛行塔

協賛會福引

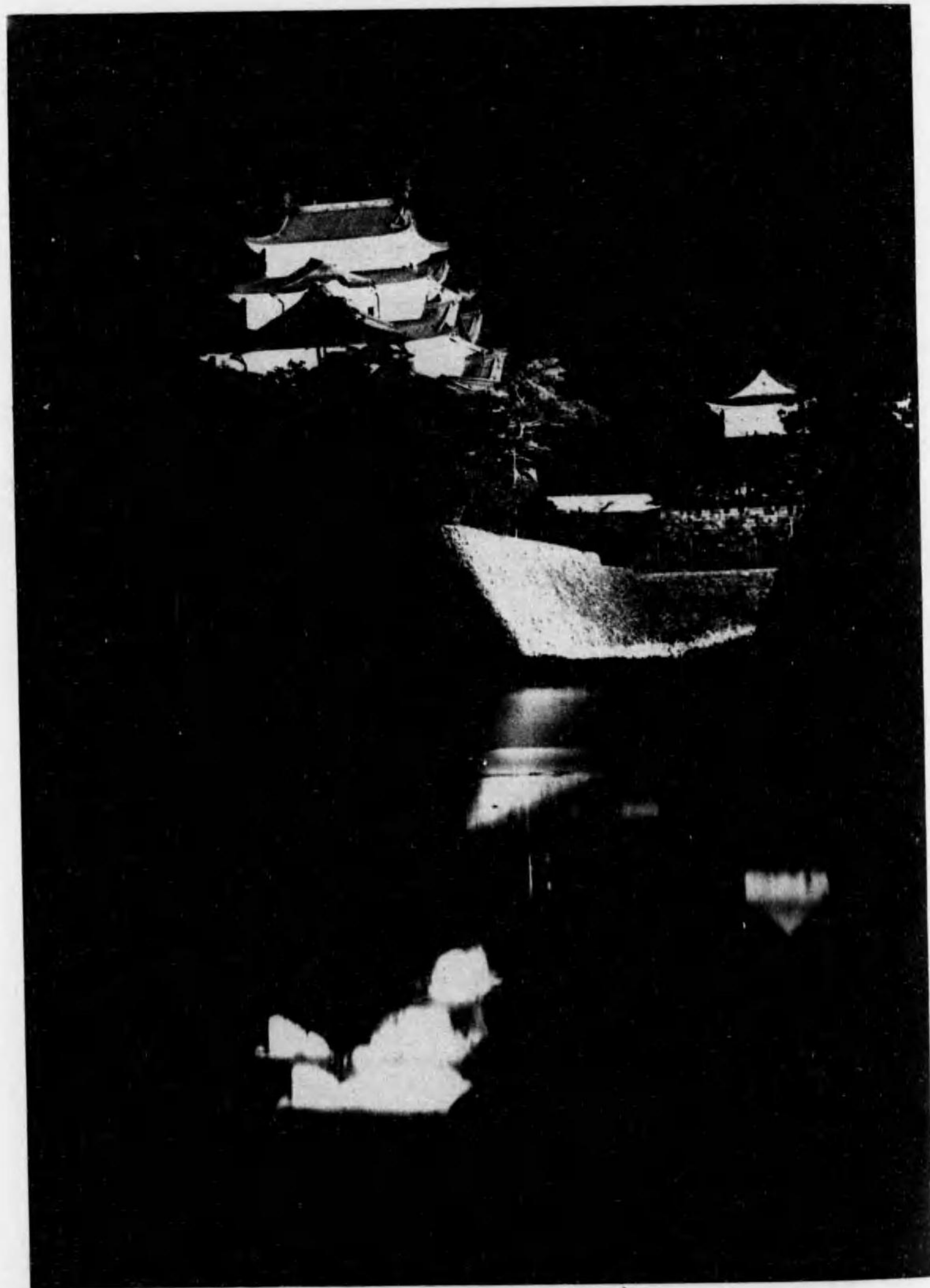


名古屋園藝會菊花競技會

四日市工商會議所大名行列



名古屋尚武會武者行列



明照の城屋古名

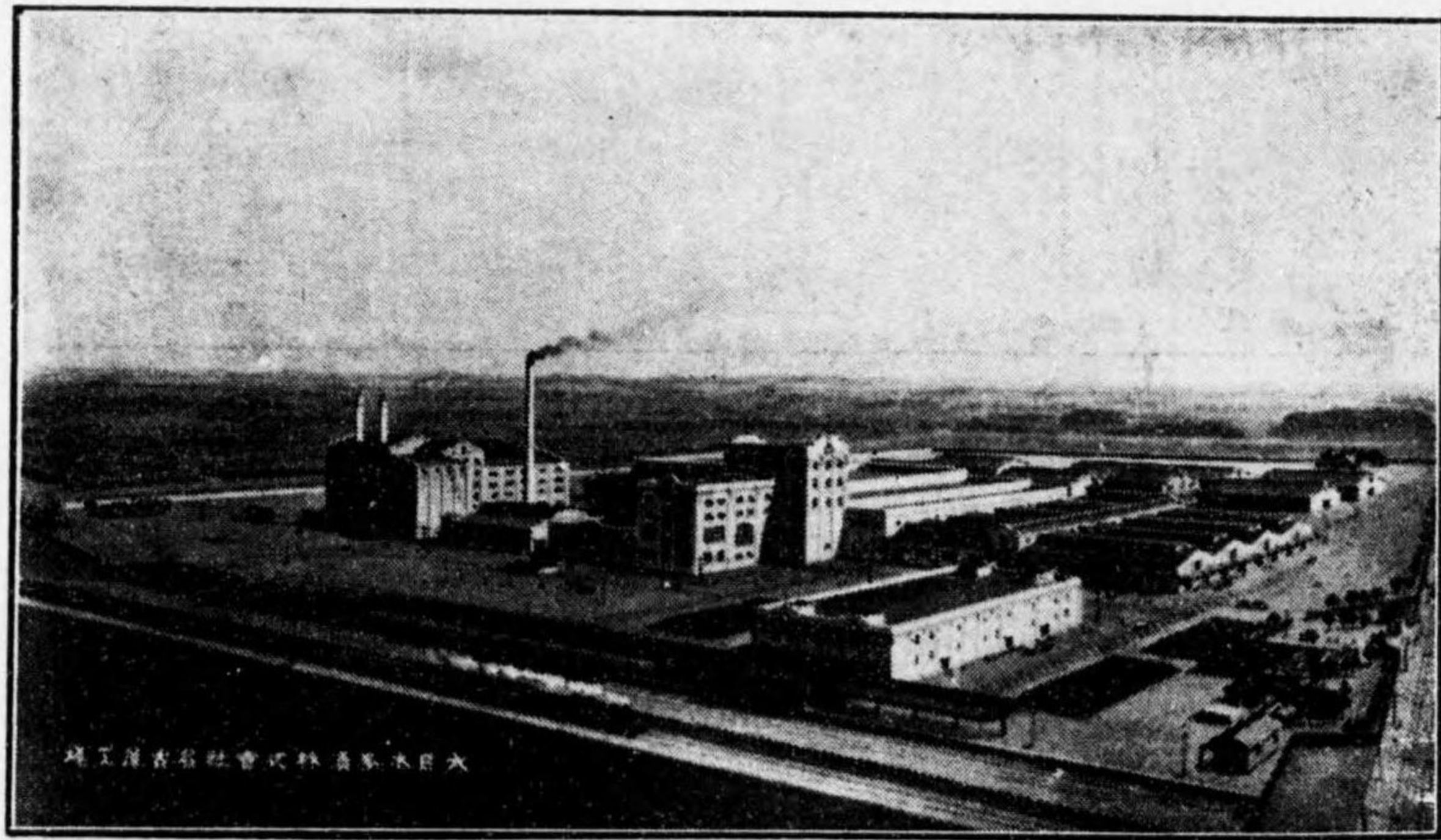
國公舞鶴驛假



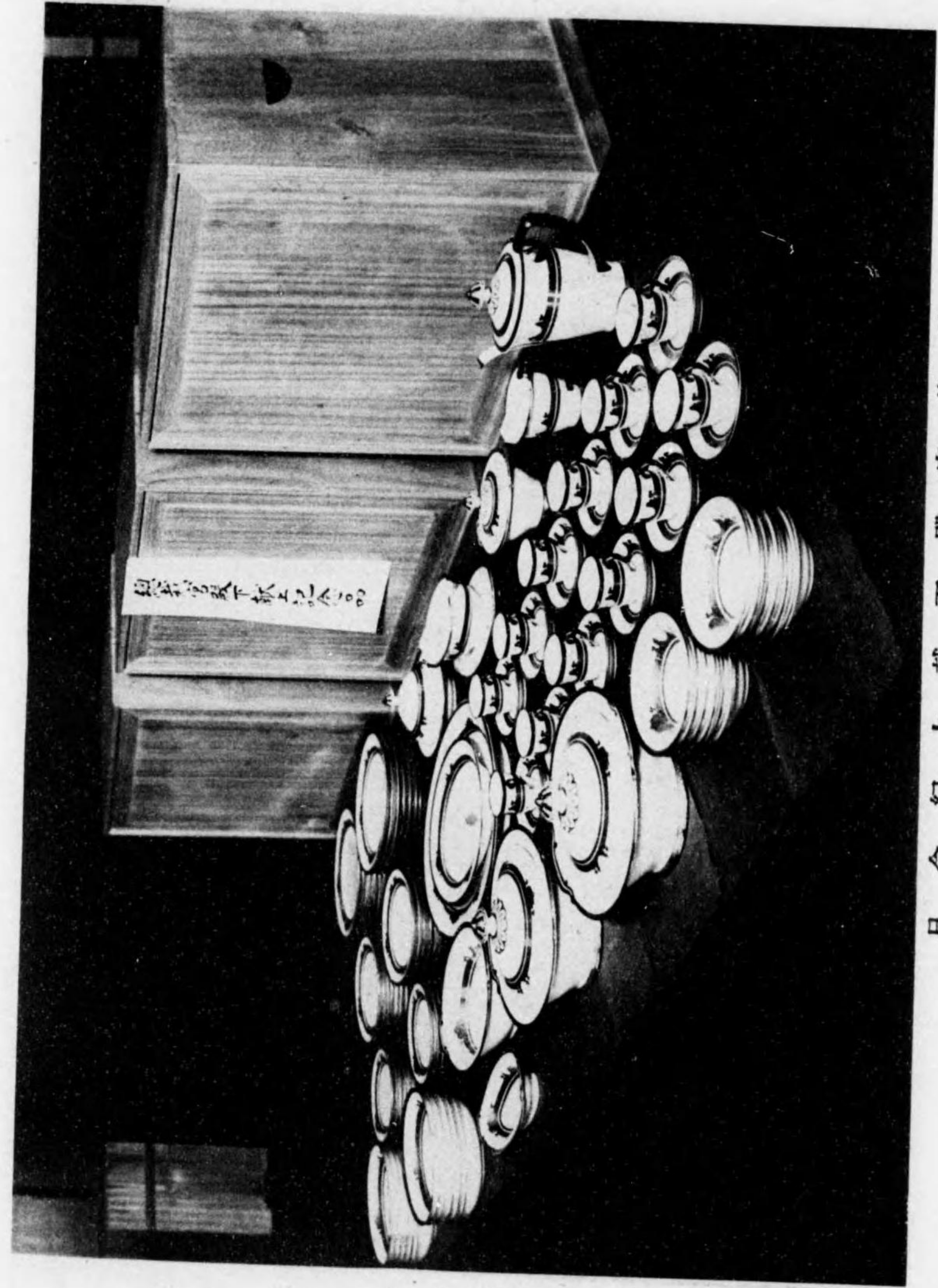
着到車列り上同



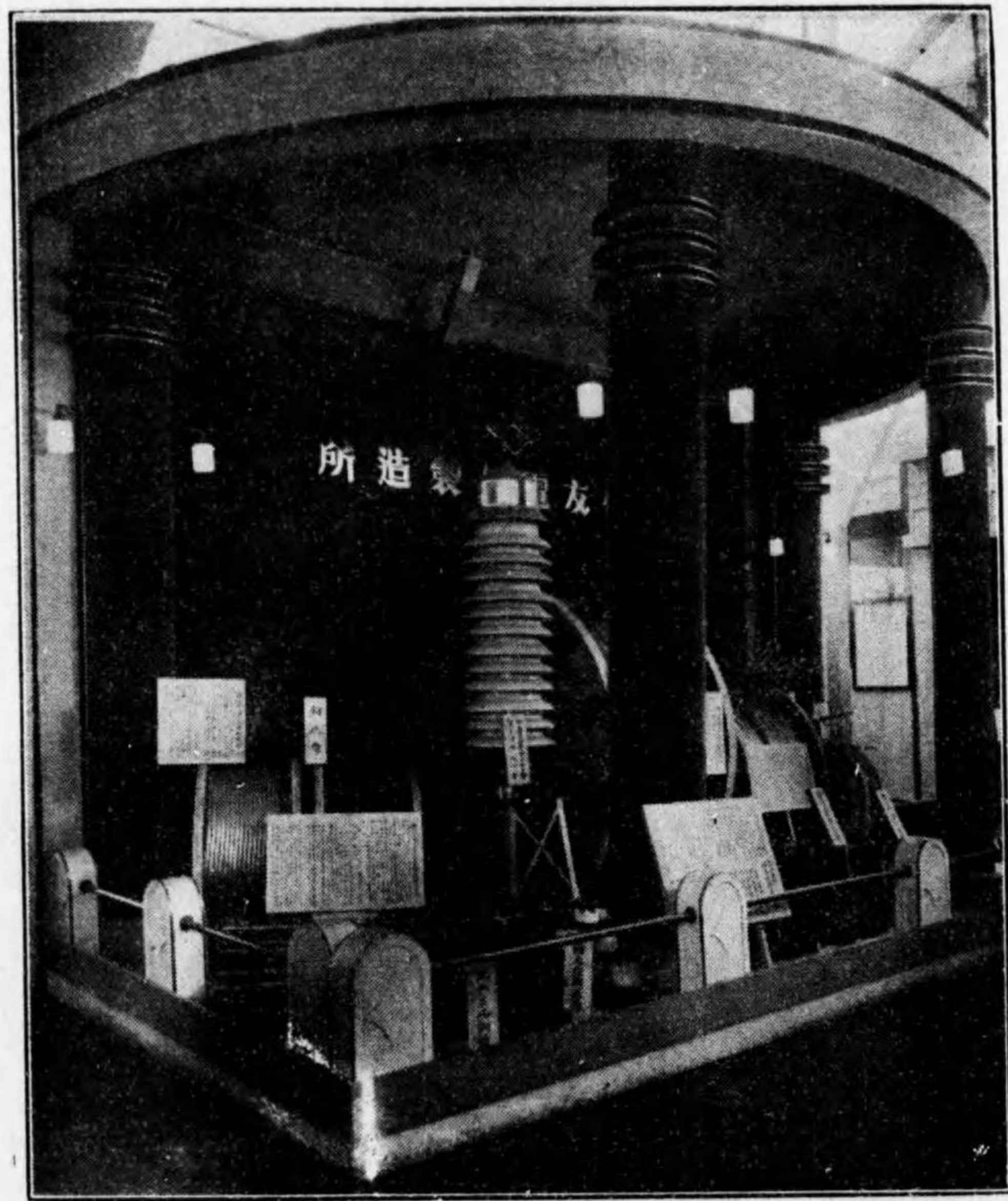
博覽會出品



大日本ルビ株式會社



總裁宮殿下獻上紀念品



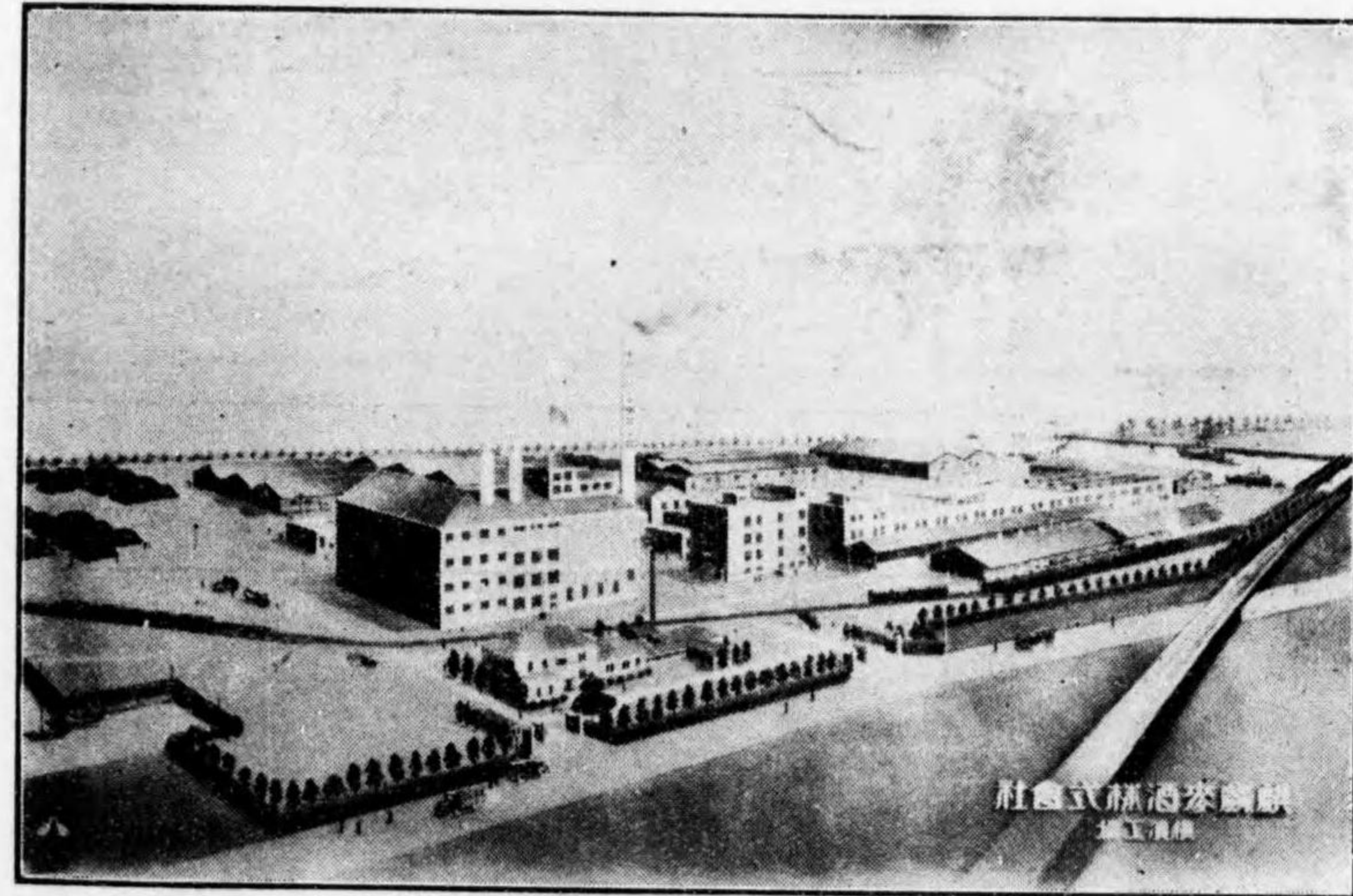
會覽博屋古名祝奉典大御於
賞受牌賞大譽名

品屬附其及類纜電 線電= 目要業營

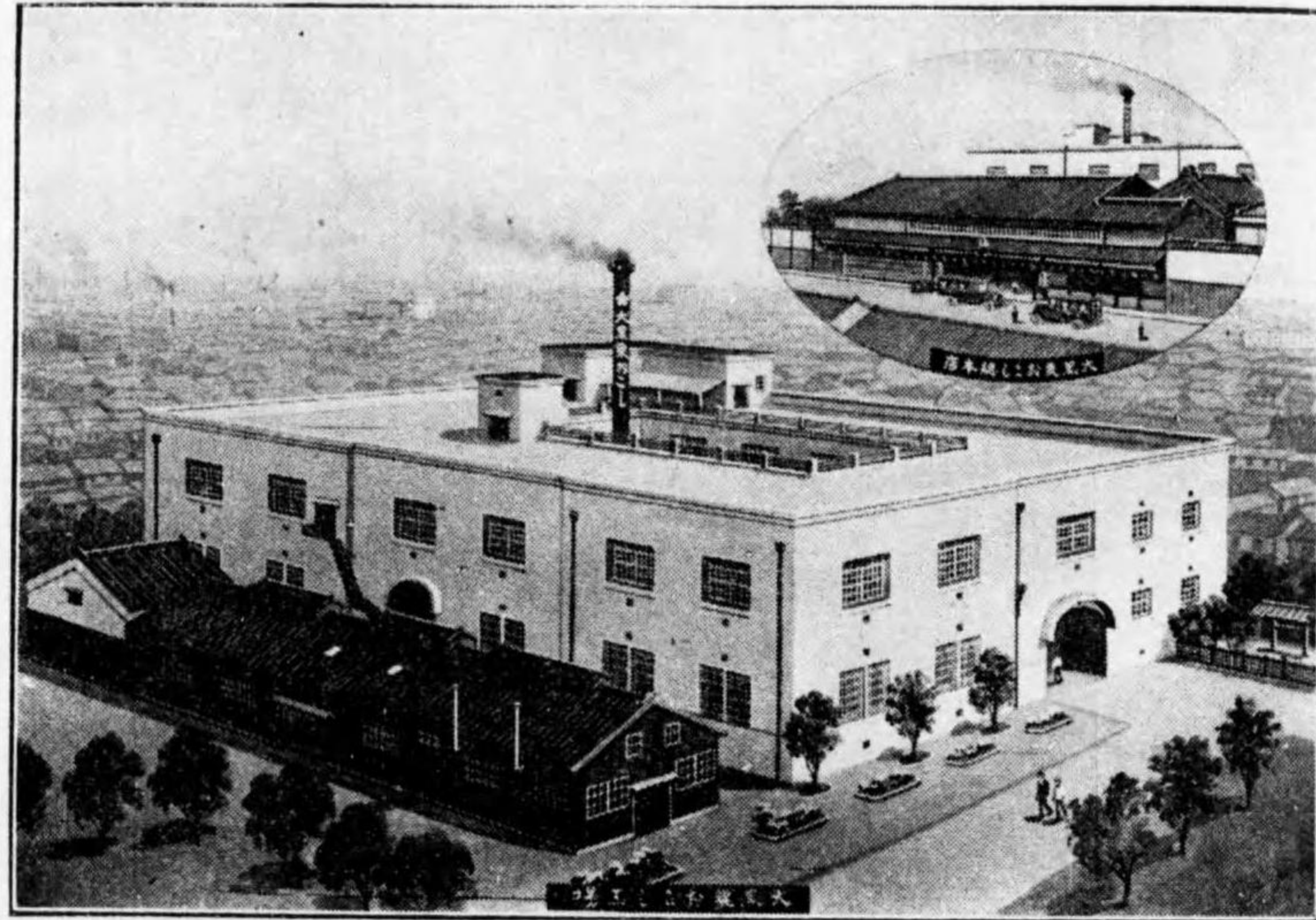
所造製線電友住 會 株 式

地番拾六町之南島貴思區花此市阪大

ルービンリキ



社會式株酒麥麟麒



大黒薬工場

電話新町特長
 振替大阪
 一八〇五
 二一〇六
 三三〇九
 四三六五

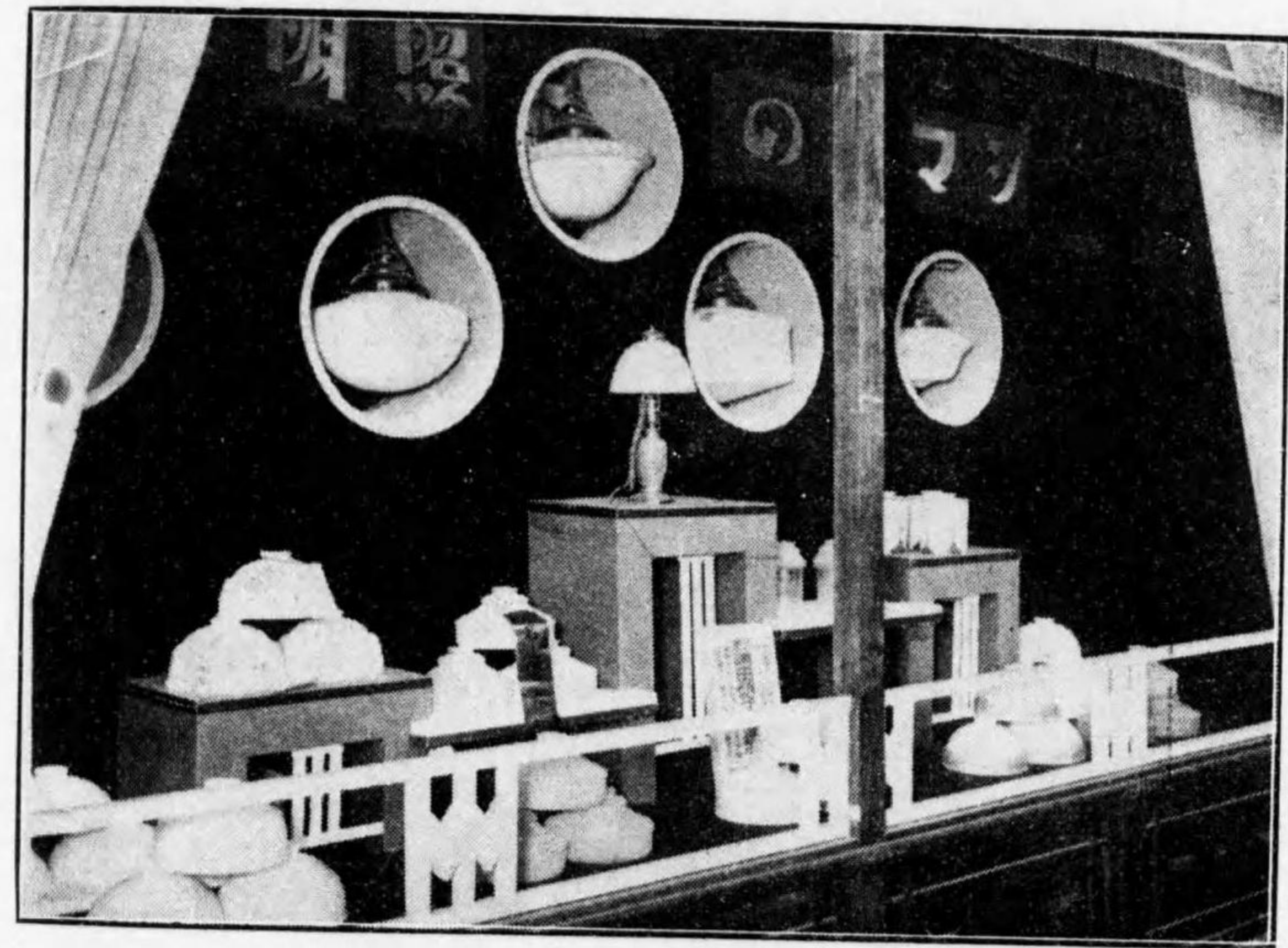
店主 小林林之助

大阪河みだ池
 總本店

大黒

大阪代表名物
福栗おこし

生産品目
 電燈照明用硝子
 食卓用硝子器
 建築用明取硝子
 高壓ゲージ硝子
 其他硝子一式



株式會社島田硝子製造所

本店及工場

大阪西淀川區老江下三丁目電話土堀五五・五五番

市内販賣店

大阪東區南本町二丁目電話船場二九八番

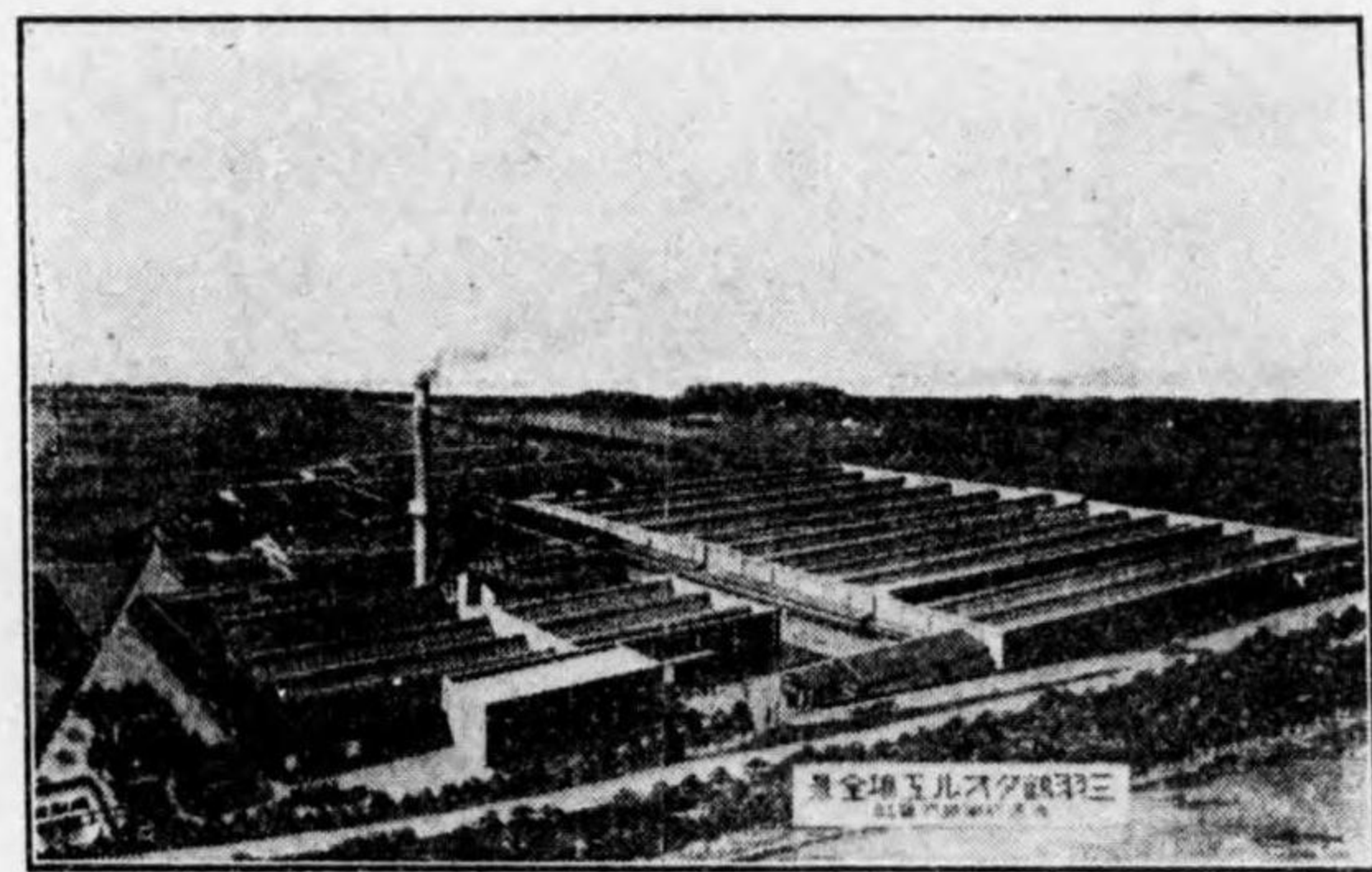
東京支店

東京市橋區銀座二丁目四十電話橋三・七三番

名古屋販賣所

名古屋東區朝日町二丁目三十電話東四七九番

昭和參年十一月 御大典奉祝名古屋博覽會ニ於テ 名譽大賞牌受賞
 其他内外各博覽會ニ於テ受賞四拾餘回



三羽鶴タオル工場全景

創業以來二十年間の苦心と經驗に依り殊に最も優良なる原糸を用ひて製出する本品は數あるタオルの中で優良無比のものとして名聲高く今や確實にタオル界の標準品として壓倒的の歡迎を受け一ヶ年の産額百萬打を越ゆるの盛況を呈して居ります



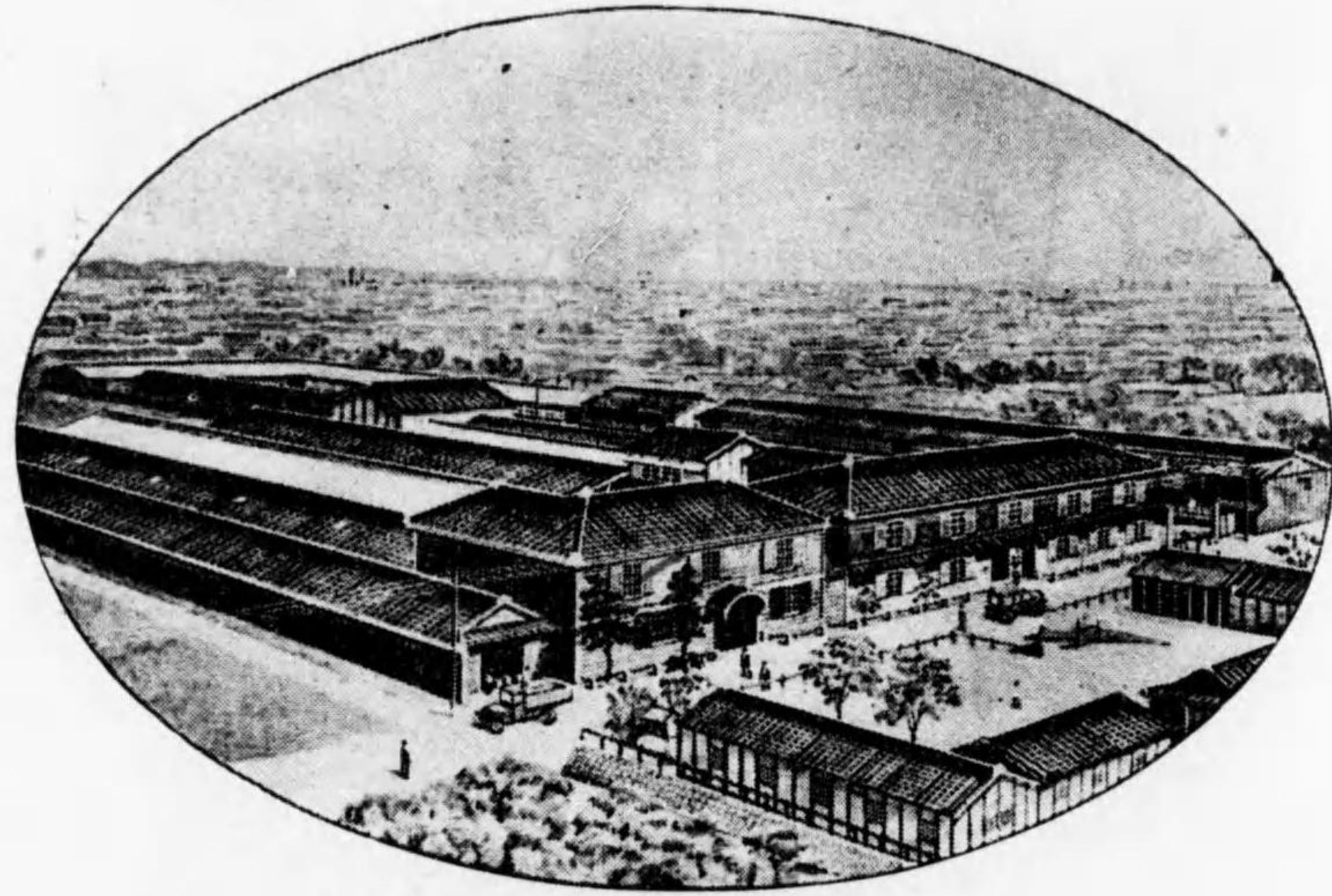
群馬馬桐生市大宇安樂土

桐生輸出織物

朝鮮移出、臺灣移出、支那向織物、
 印度向織物、スバンクープ、廣巾縮緬
 紋ジョーゼット、ドレスポーター類

桐生内地織物

お召、銘仙、帶地各種
 縮緬類、紹織、肩裏地
 其他内地向織物一式



陶磁器雜貨貿易商

株式會社

田代商店

本店

名古屋市中區七曲町三丁目

電話東④ 特三五五〇番

振替口座東京一九六〇八番

工場

名古屋市東區千種町

電話東局④ 二一一番

支店

神戸市加納町四丁目

電話 肆合二五七〇番

横濱

横濱市辨天通二丁目

電話 本局三八〇番



製品種目

越乃糸 (極細素麵)

糸櫻 (細素麵)

日の出錦 (改良素麵)

日東蕎麥

外製麵各種

星印味甚粉

日東黃粉

外製粉各種

標商錄登

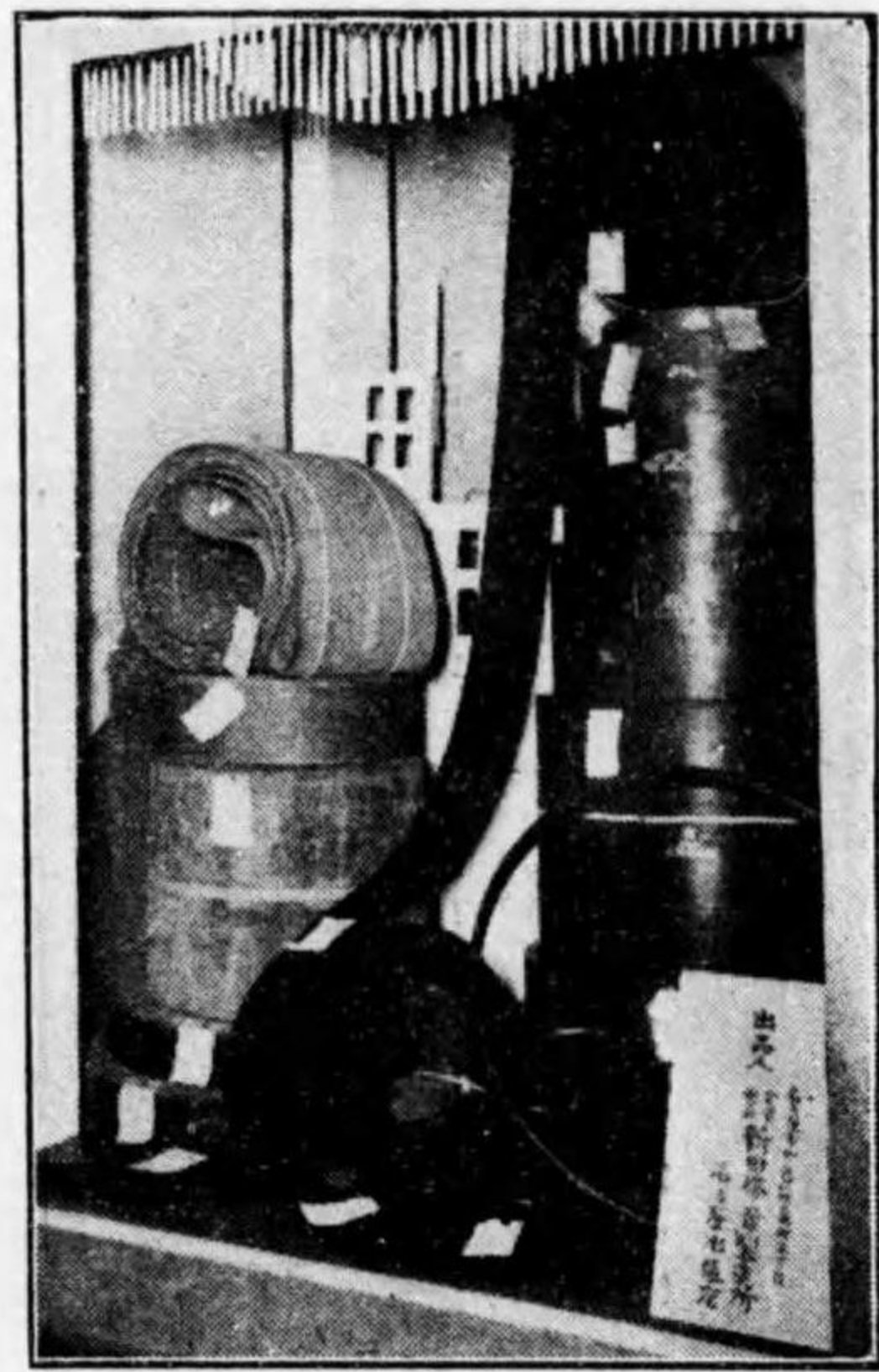
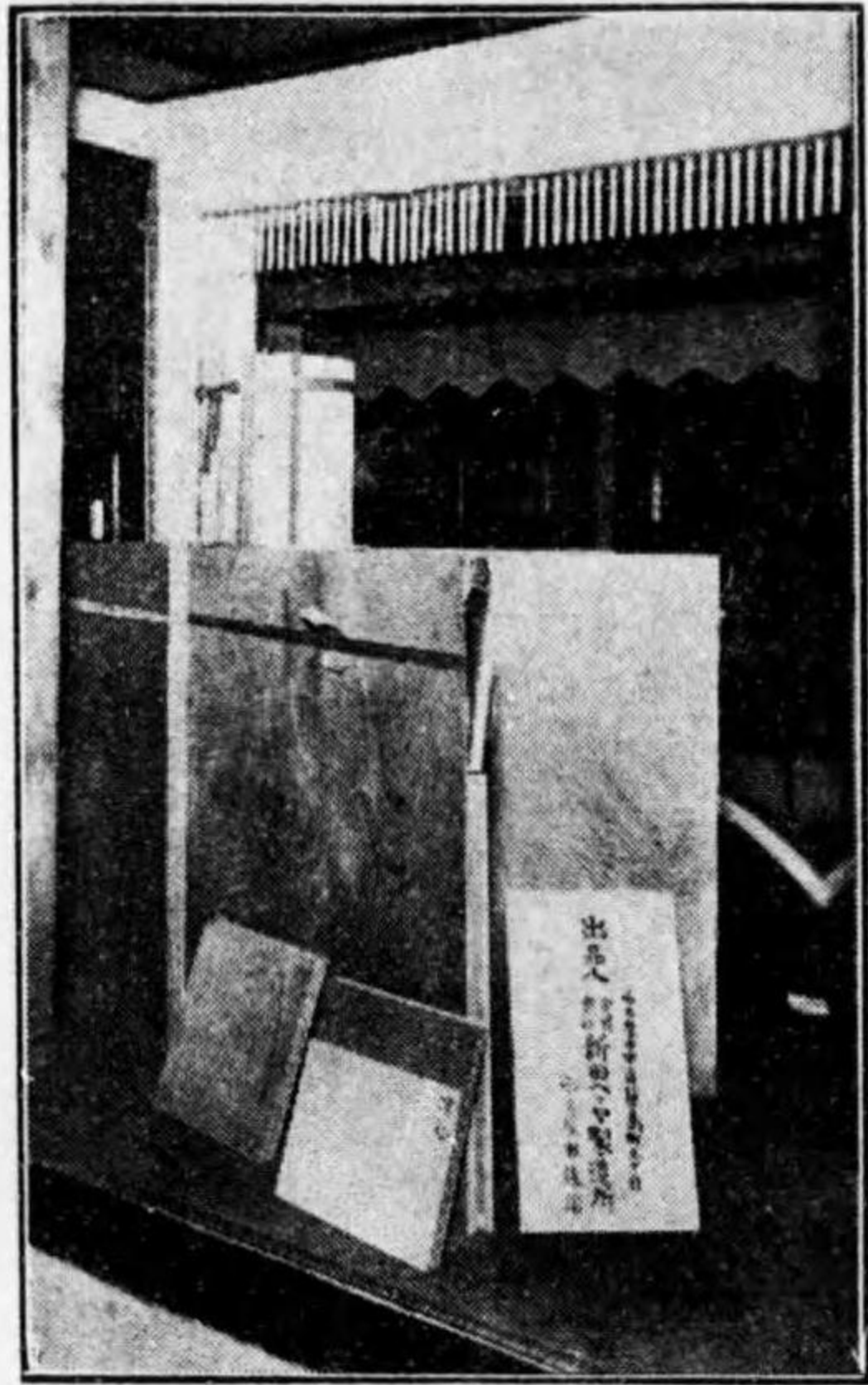
標商錄登

各大博覽會共進會名譽賞牌金銀賞牌多數受領

新 日 東 製 麵 所

新 潟 縣 相 崎 町

電話 三六六番 · 六一六番



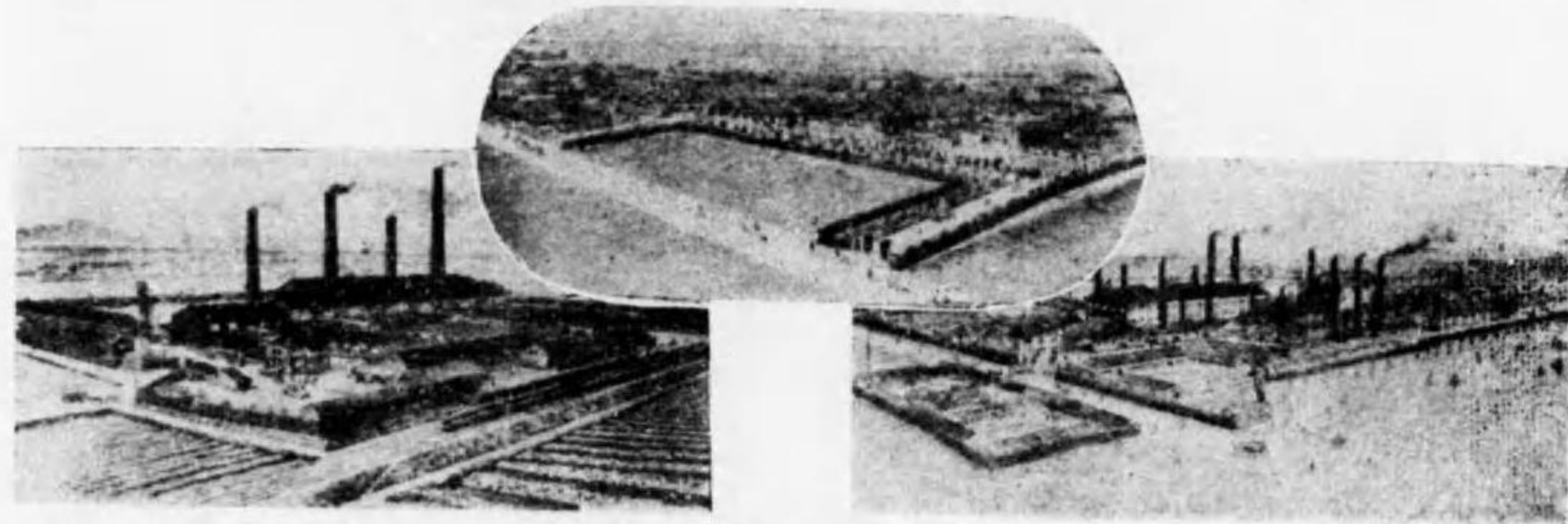
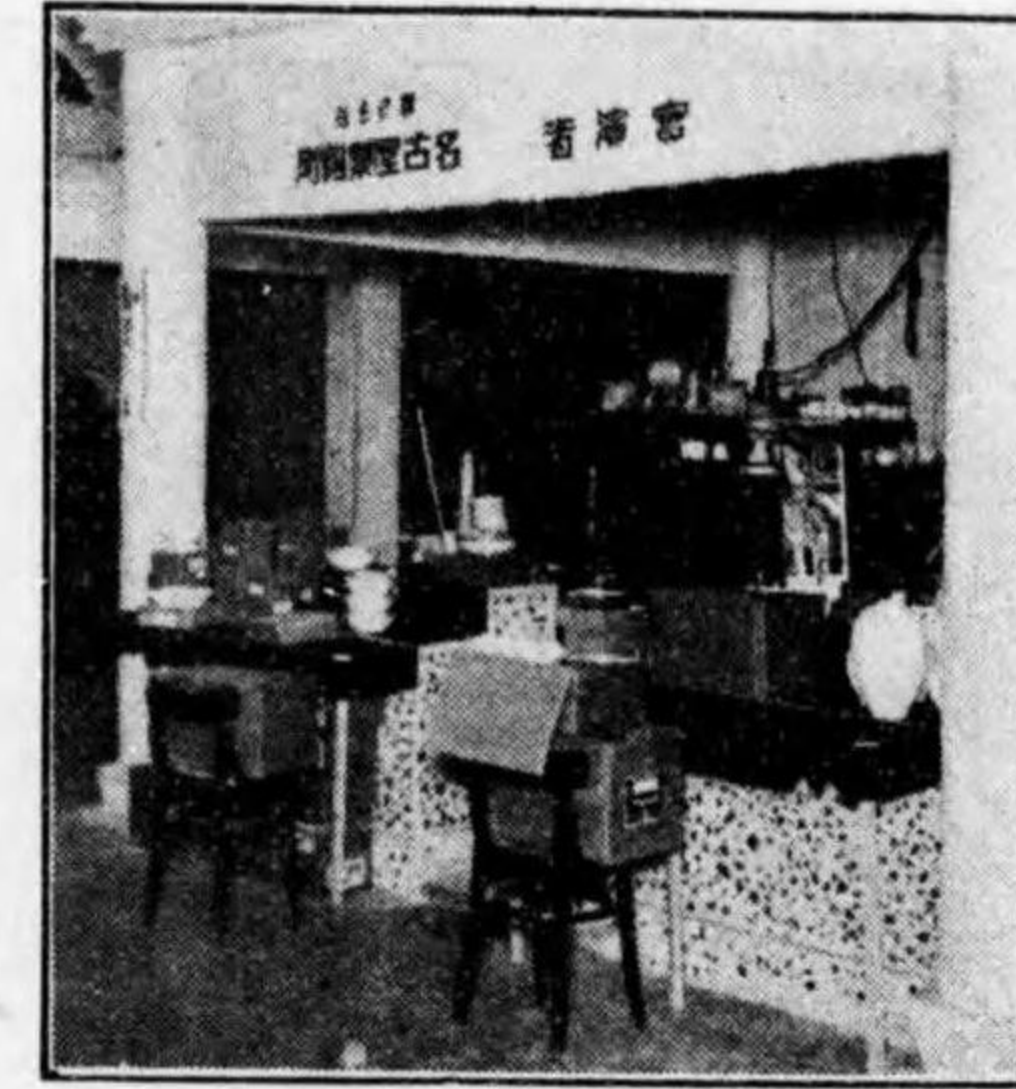
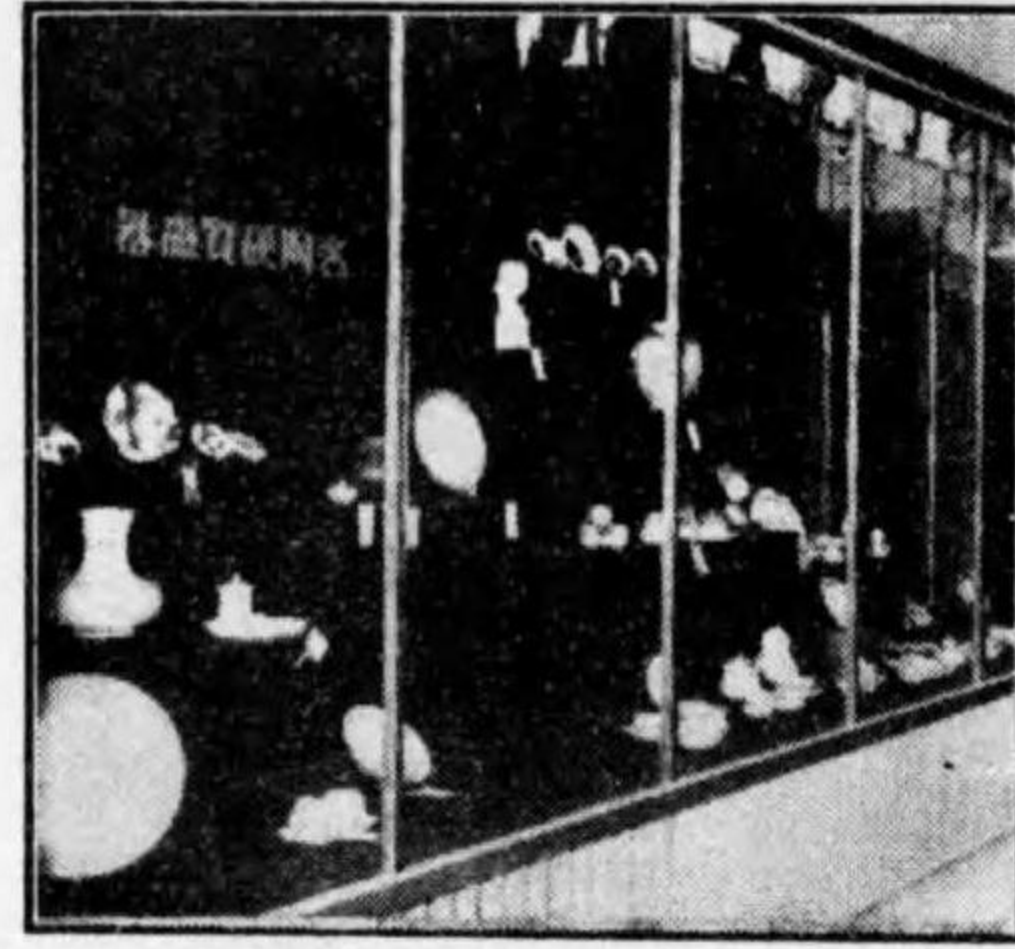
新 田 式

ベ	ベ	工	各
ニ	ニ	業	種
ヤ、	ヤ	用	ベ
ド	ヤ	諸	ル
ア		革	ト
ー	板		

名古屋市中區笹島町三丁目

新田帶革製造所出張店
 新田ベニヤ製造所出張店

電話西〇八〇八番・八〇九番



THE NAGOYA SEITOSHO LTD.,
 (Nagoya porcelain Manufacturing co.)
 DINNER WARE & FANCY CHINA, SANITARY WARE, TILE
 7 & 8 Higashi Yoshino-cho,
 Nagoya, Japan.

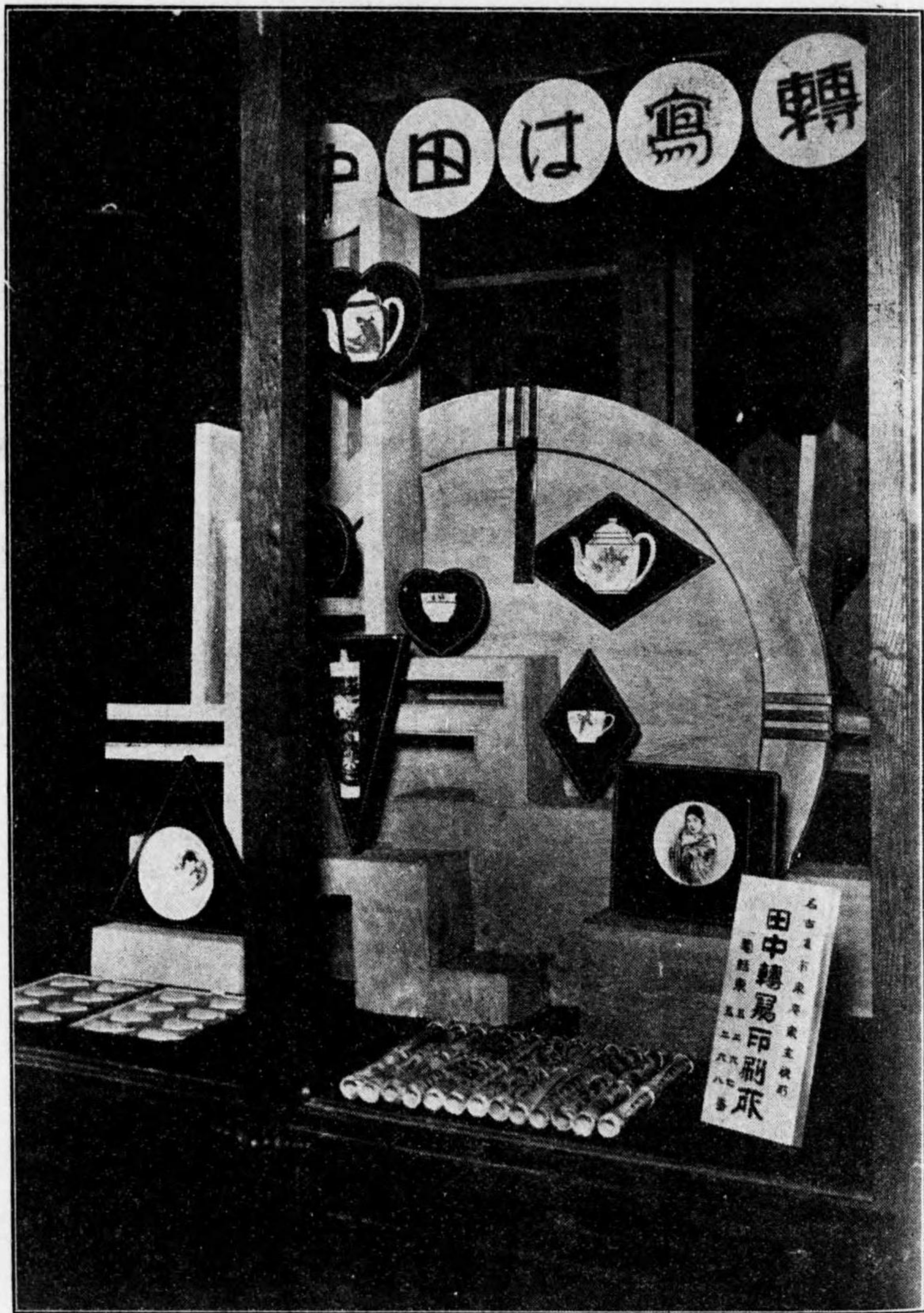
營業種類

衛生陶器
 西洋食器
 擬石タイル

株式會社
 名古屋製陶所

米國支店 紐育市第五街二〇〇番
 大阪出張所 大阪市西區新町南通三丁目
 東京出張所 東京市芝區源助町
 弦月工場 名古屋市東區千種町弦月
 山田工場 名古屋市東區山田町

田中轉寫印刷所



中田は寫轉

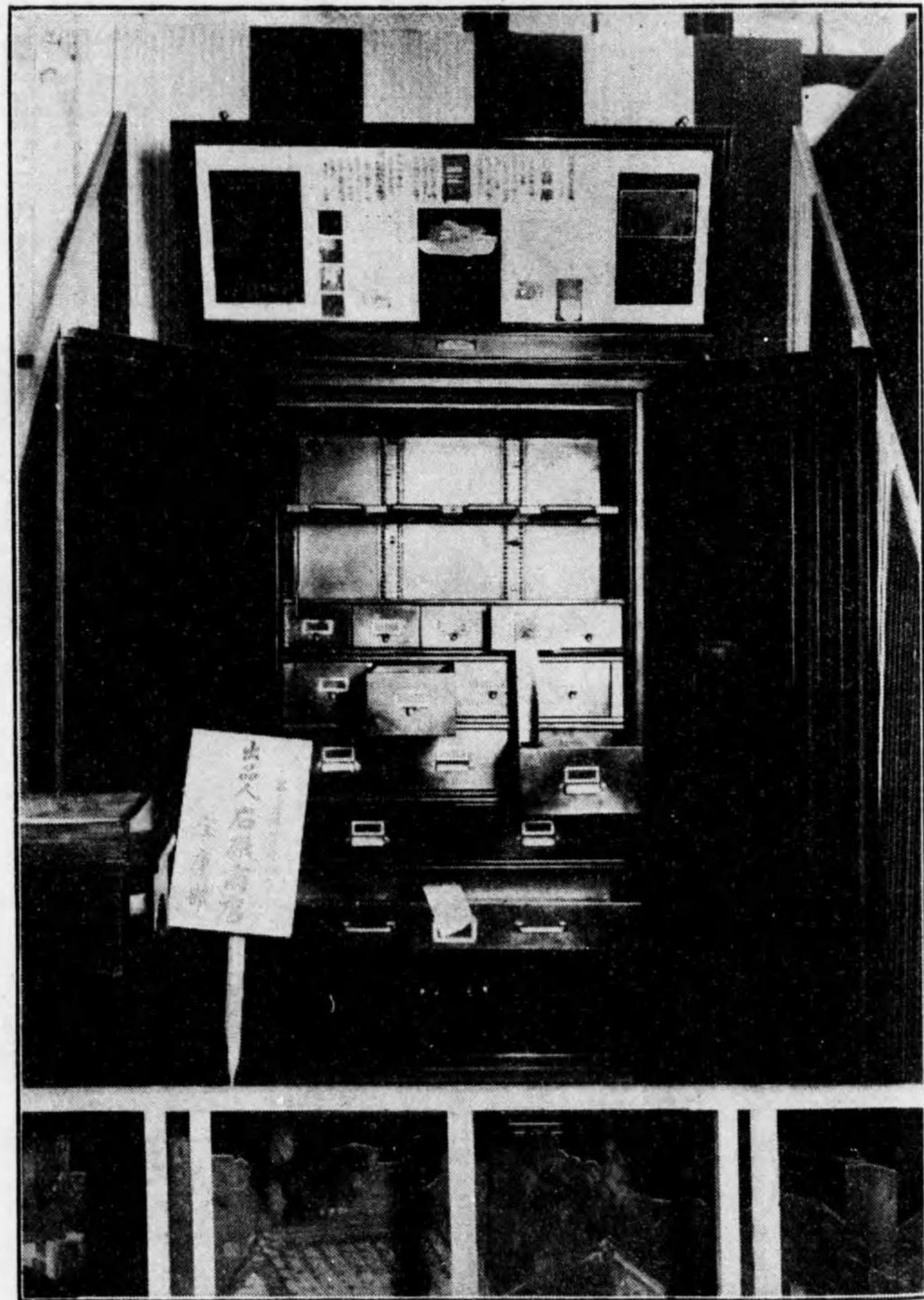
電話東 { 5267 番
5268



町武則區西市屋古名
社會式株器陶本日

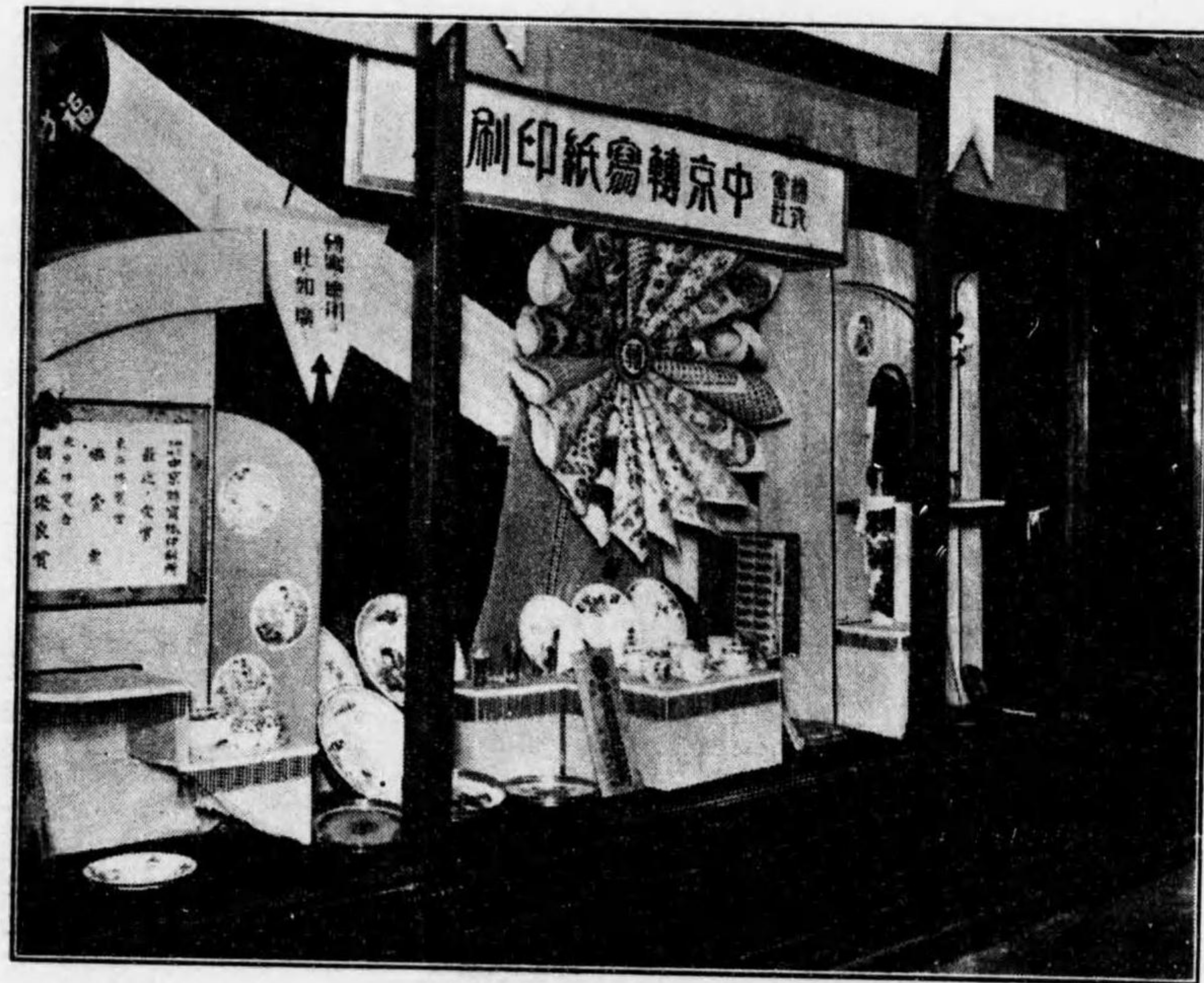
吾國に於ては毎年約四萬戸と云ふ夥しい建物が焼失して居ります豫測の出来ない火災襲來前に御研究下さいませ

寶庫に對する詳細な參考資料は御請求次第進呈致します



石原商店寶庫部

名古屋市西區東柳町八三
専用電話西局一〇一五番



祖元 中京の轉寫

斯界の權威

轉寫萬能

株式會社 中京轉寫紙刷所

電話東八六八〇番
振替名古屋一四八二番



製飴界の王

於御大典奉祝名古屋博覽會
金牌受領

名古屋製飴株式會社

名古屋市南區熱田東町字丸山二番地

電話南⑥ 一一〇二三番

電略「アメ」又「ア」



名譽賞牌受領

美術七寶燒
徽章メタル 製造販賣

安藤七寶店

本店 名古屋市中區矢場町手切

電話中局③七五番

支店 東京市京橋區

元數寄屋町四丁目

電話銀座八八八番

電話三三九一番

物名屋古名

シバマシキシ

社會式株シバ製島敷

町塀長區東市屋古名
八三八四・八四〇一 } ① 東電
五六七七 }



景前店賣販設特シバマシキシ



會社名 ワシノ商店

名古屋 大阪

[カタログ送呈ス]

榮光之遺差御從侍賜

淋味等優

櫻重九

全國酒類品評會名譽賞連續受領



御大典奉祝名古屋博覽會名譽賞受領

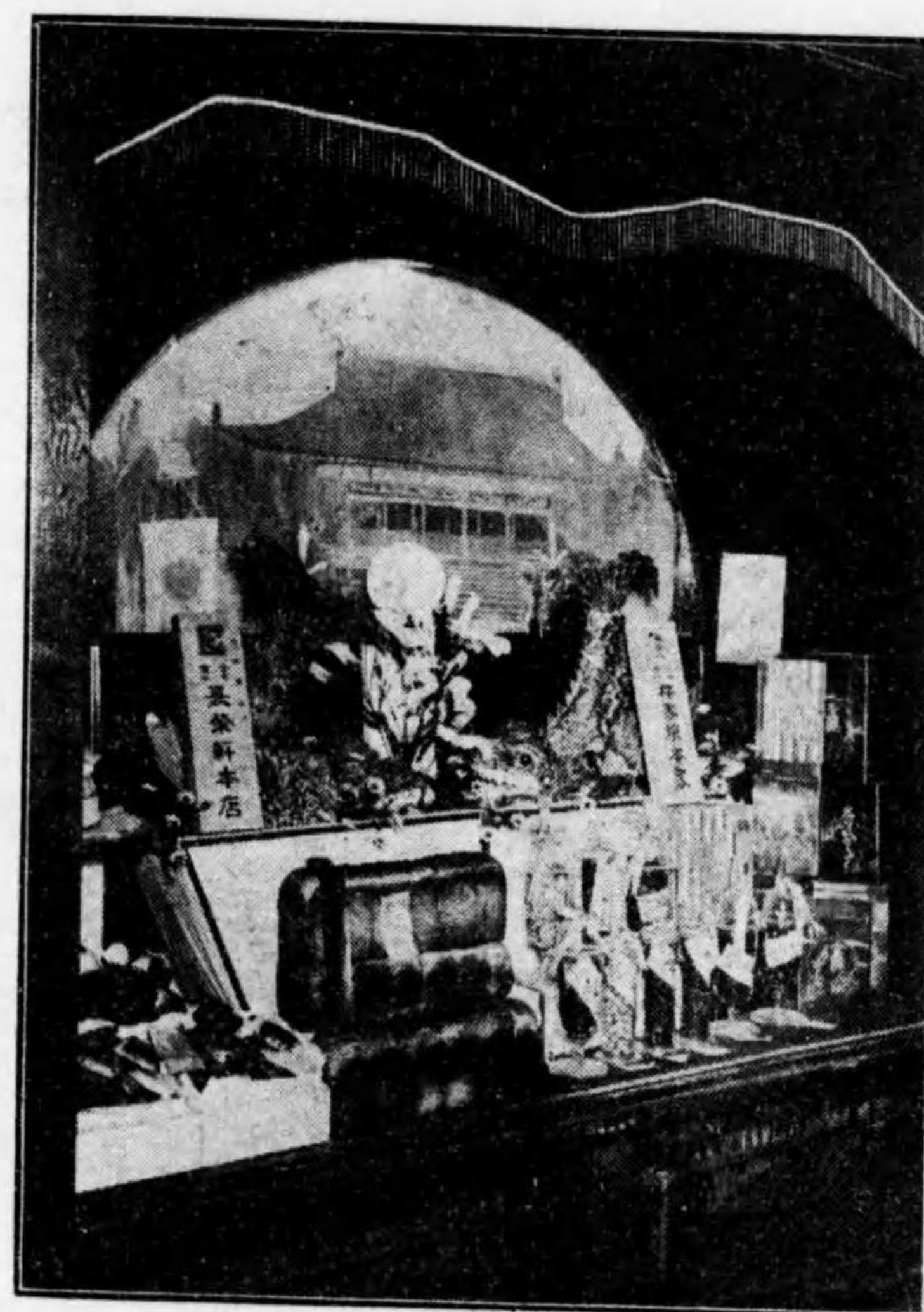
元造釀

町濱大縣知愛

治郎八川石

番八話電

番九二三四京東金貯替振
番八六一二屋古名



軒榮長はンパ

町柳新區中市屋古名

銀牌受領



名古屋市中區三田町七十五、六番地

高野時計製造所
高野金屬品製作所

電話南⑥ 八六五番
一三四一
三八四五番

神戸出張所

(神戸市海岸通り四丁目四三番)
電話三ノ宮六一二番

登 録 商 標



本社置時計ハ長クモ
天皇陛下ノ御買上ノ光榮ヲ賜フ
堅牢無比指時正確
掛置時計蠅獲器製造元
名古屋市東區葵町

尾張時計株式會社

園電話東④二二四八番
振替貯金名古屋六番

蠅 獲 器

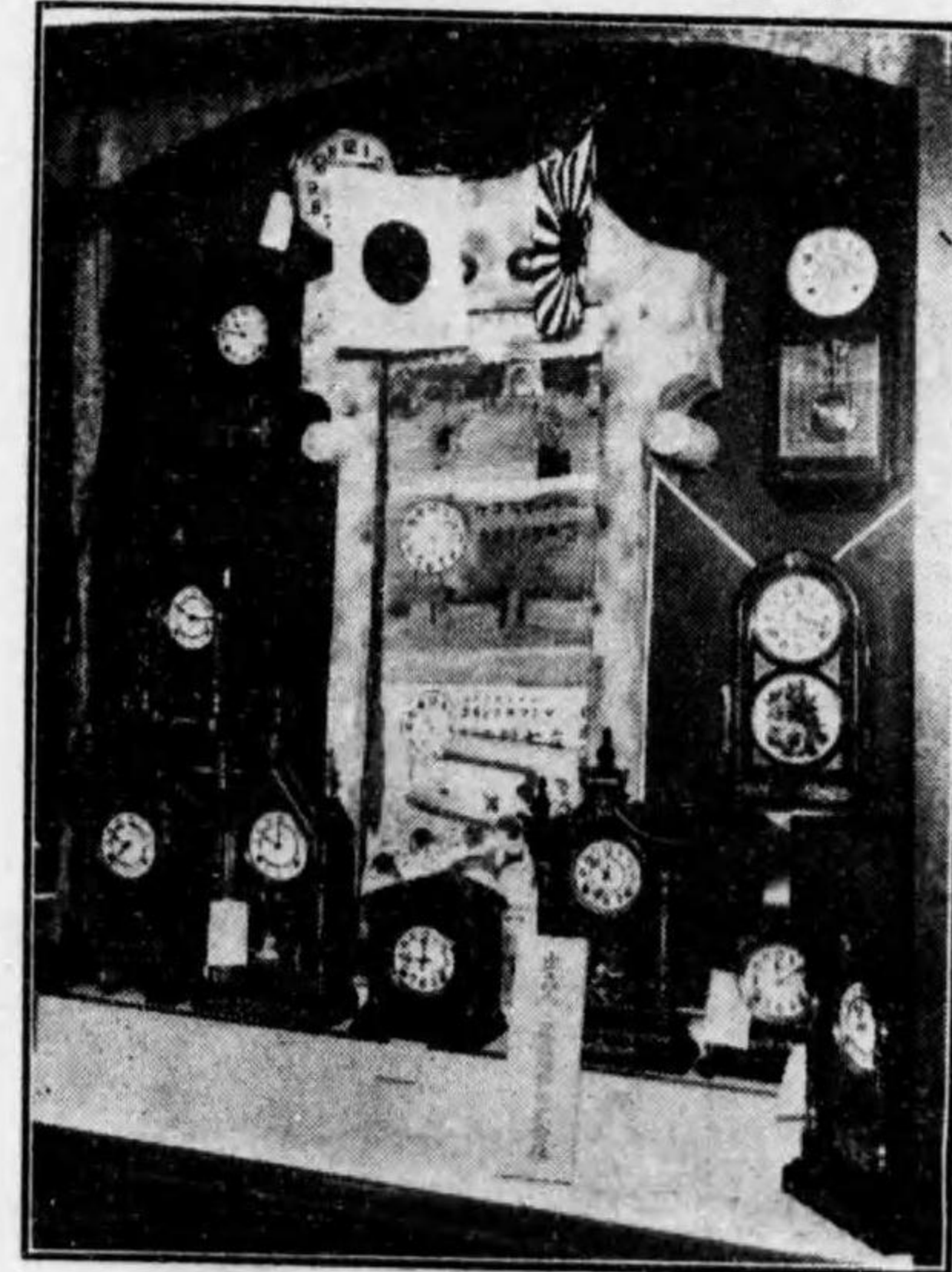
蠅ハ病毒微菌ノ媒介者ニシ
テ衛生上頗ル危険ナルモノ
ナリ

一ハイトリツクハ自動回轉
作用ニテ蠅ヲ獲ル至極體
裁良キ器械ナリ

一ハイトリツクハ蠅ヲ多ク
獲ルコトハ驚ク可キ程ニ
シテ從來在リ來リノ品ノ
如ク不潔ナルコトナク一
臺アレバ永久用ヒ得ルモ
ノナリ

一近來模造品アリ地球馬ノ
商標ニ御注意アリタシ

家庭用發明品展覽會ニ出品シタル蠅獲器宮内
省ヨリ御買上ノ榮ヲ賜フ



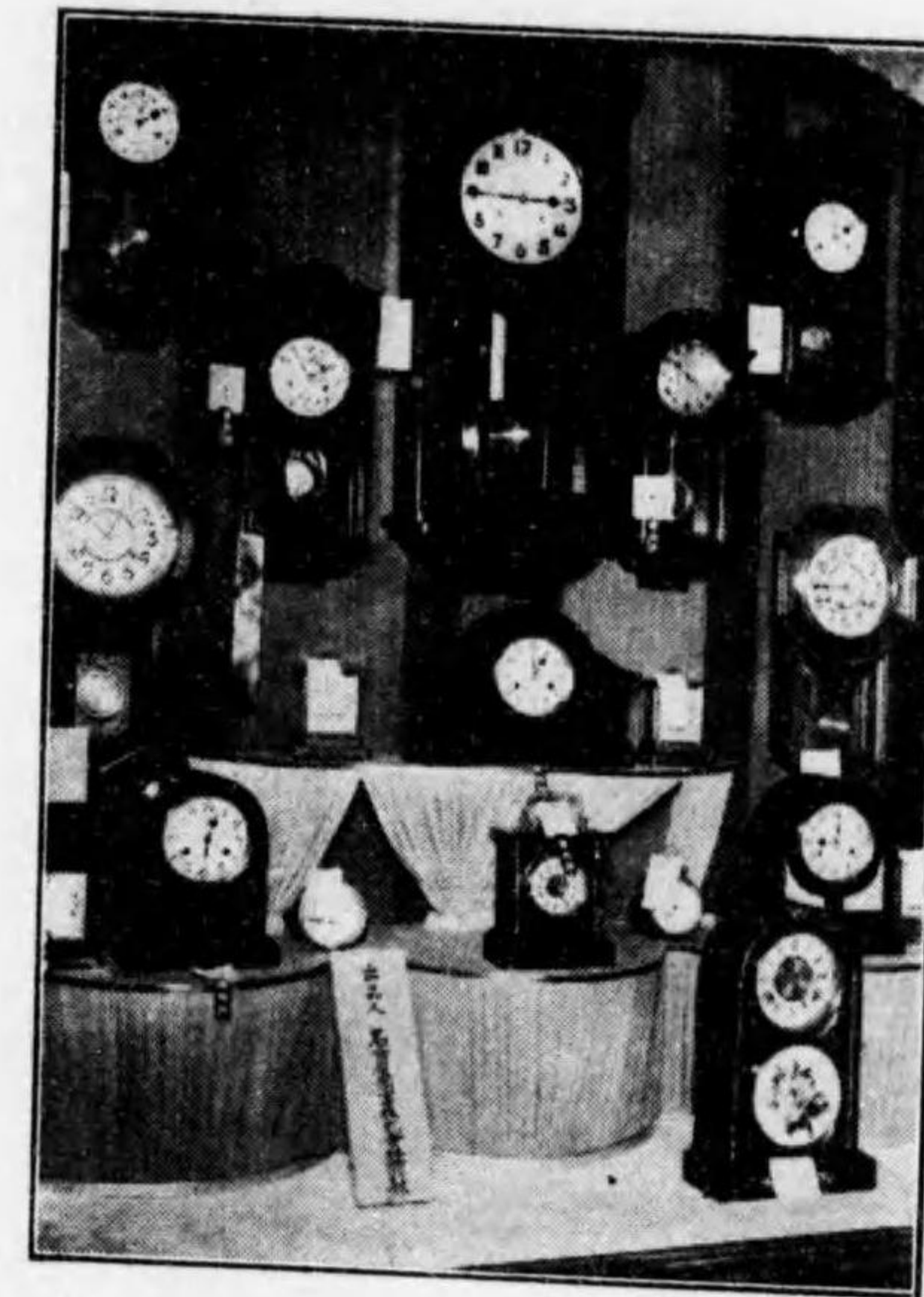
蠅 金 掛
 捕 屬 置
 器 時 時
 計 計 計

賣 販 造 製



地番七町山松區東市屋古名
部計時社會式株事商屋古名

番二六一東電長
 番七八六一一屋古名座口替振



創 立 明治二十八年十月
 年產額 七 拾 五 萬 圓

登 錄 商 標



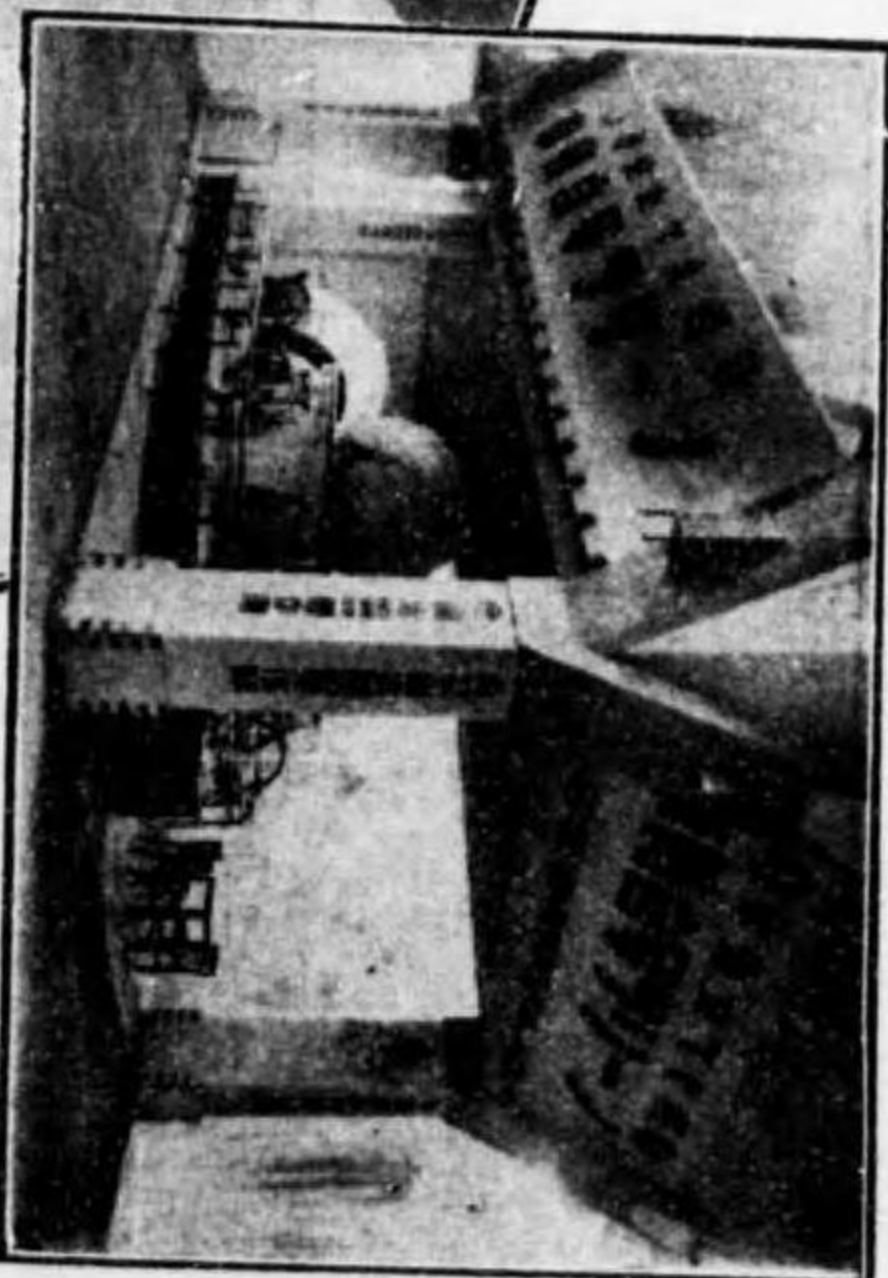
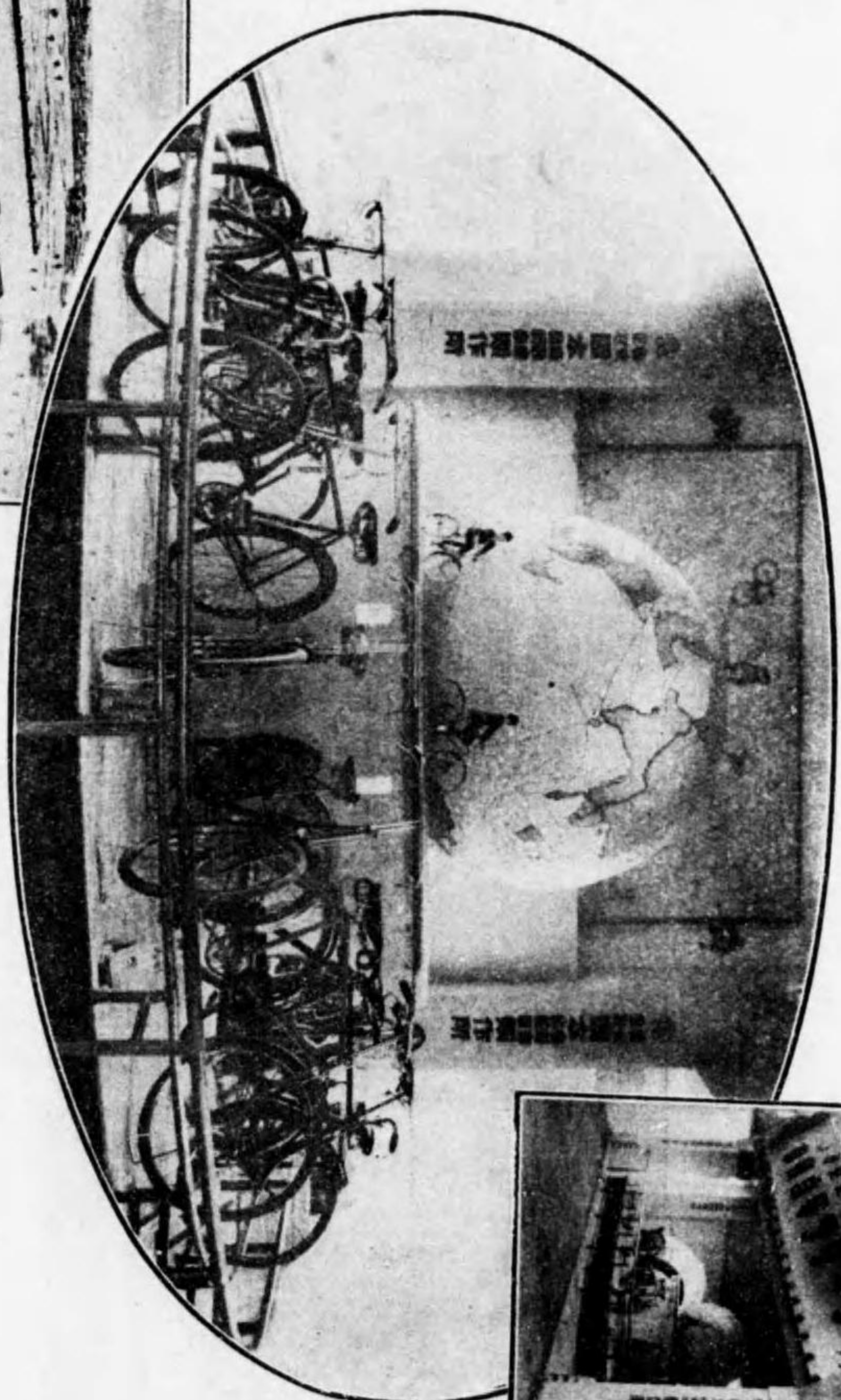
名古屋市中區東陽町二丁目九番地

明治時計製造合資會社

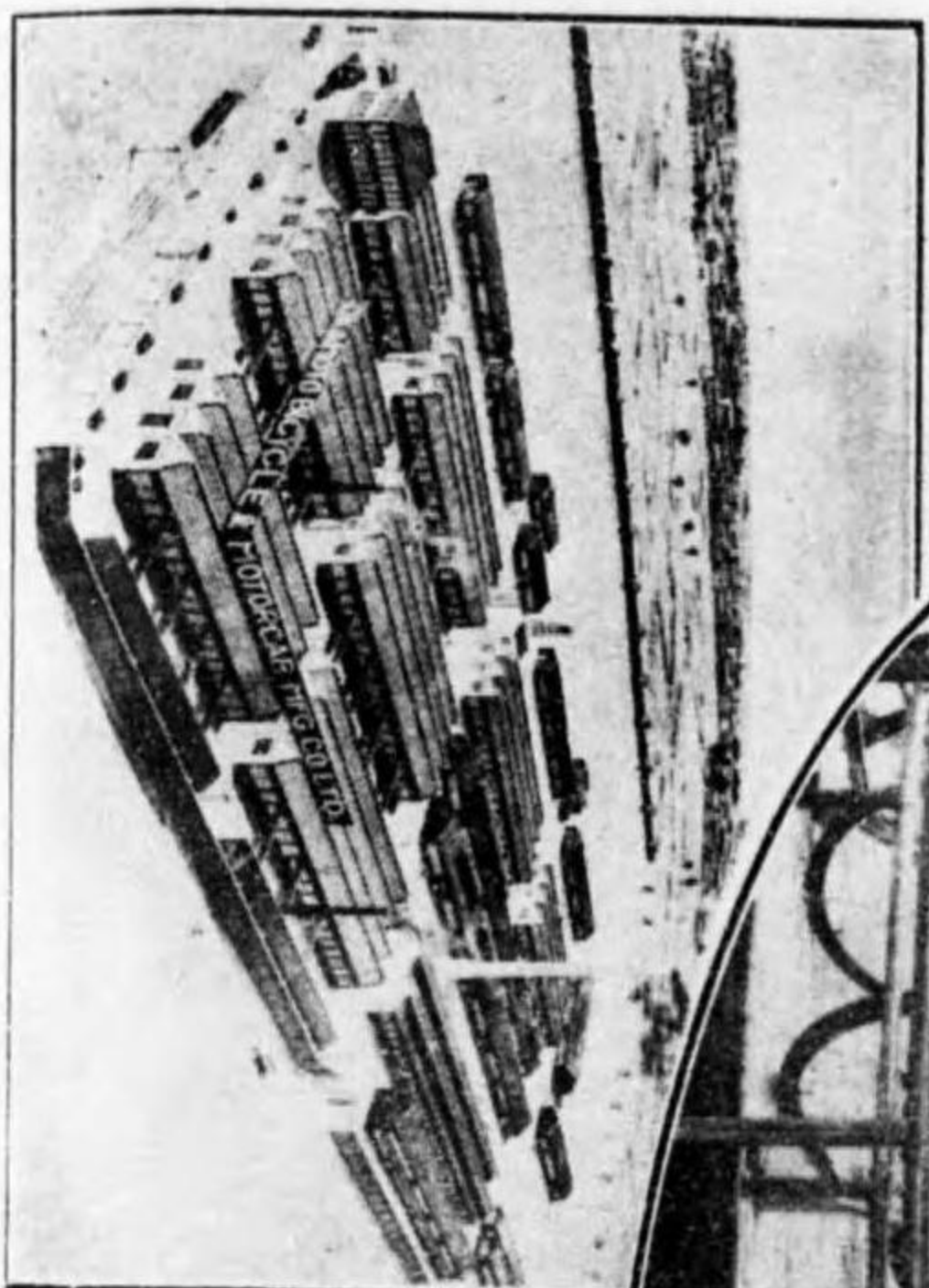
長電話中局四二六番
 振替名古屋五八七番

領受牌賞譽名

ノーリツ號自轉車
輕くて丈夫な



遞信省
海軍省
陸軍省
指定工場



明治三十二年創業
本岡 株式會社
製作所
名古屋市中區御器町

賜 山階宮殿下 御用命

賀陽宮殿下 御用品
愛知醫科大學附屬病院御用品
浴精 家庭溫泉 醫藥に優る



専賣特許
登録商標
六のバスソープ

發賣元

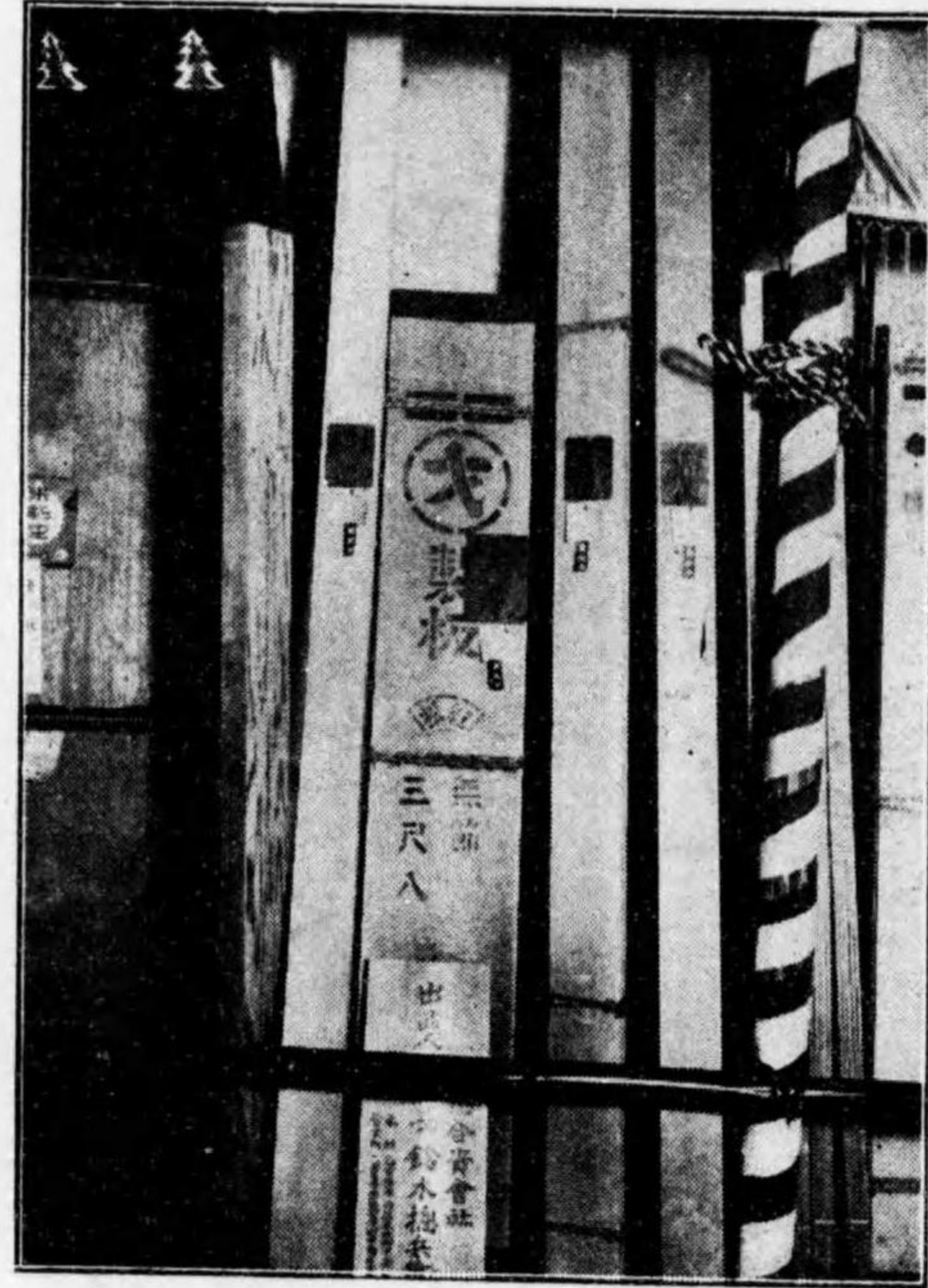
武藤鉦合名會社
藥品部

電話本局②
一五〇八番
一五〇九番
一五〇六番
一五〇七番
振替名古屋二六一〇番



尾西織物同業組合

年 産 額	
毛織物	58,000,000 <small>圓</small>
綿織物	7,000,000
交織其他	9,000,000
合計	74,000,000



弊社出品紅松挽材ニ對シ本博覽會ニ於テ名譽賞牌ヲ受賞セシハ弊社ノ最モ榮譽トスル所ナリ茲ニ紅松材ニ關シ左記數項ヲ略記シ顧客諸賢ノ御參考ニ資セントス乞フ倍舊ノ御愛顧ヲ賜ハラムコトヲ

一、將來米材及北洋材ヲ風靡シ木材界ニ覇ヲ稱フルモノハ材資優良ニシテ建築、建具用材ニ適シ價格又低廉ニシテ一般向ナル紅松ヲ措キテ他ニ適材ナカルベシ

一、弊社茲ニ見ル所アリ貯木場ニ大量貯材ス

一、製材ニハ特ニ細心ノ注意ヲ拂ヒ各用途ニ應シ特有ノ木理ヲ表現スルニ努ム

一、最新機械ト熟練職工トニヨリ短時日ニ大量製材ス



於御大典奉祝名古屋博覽會
名譽賞牌

理想的の清水式無砂精米機！

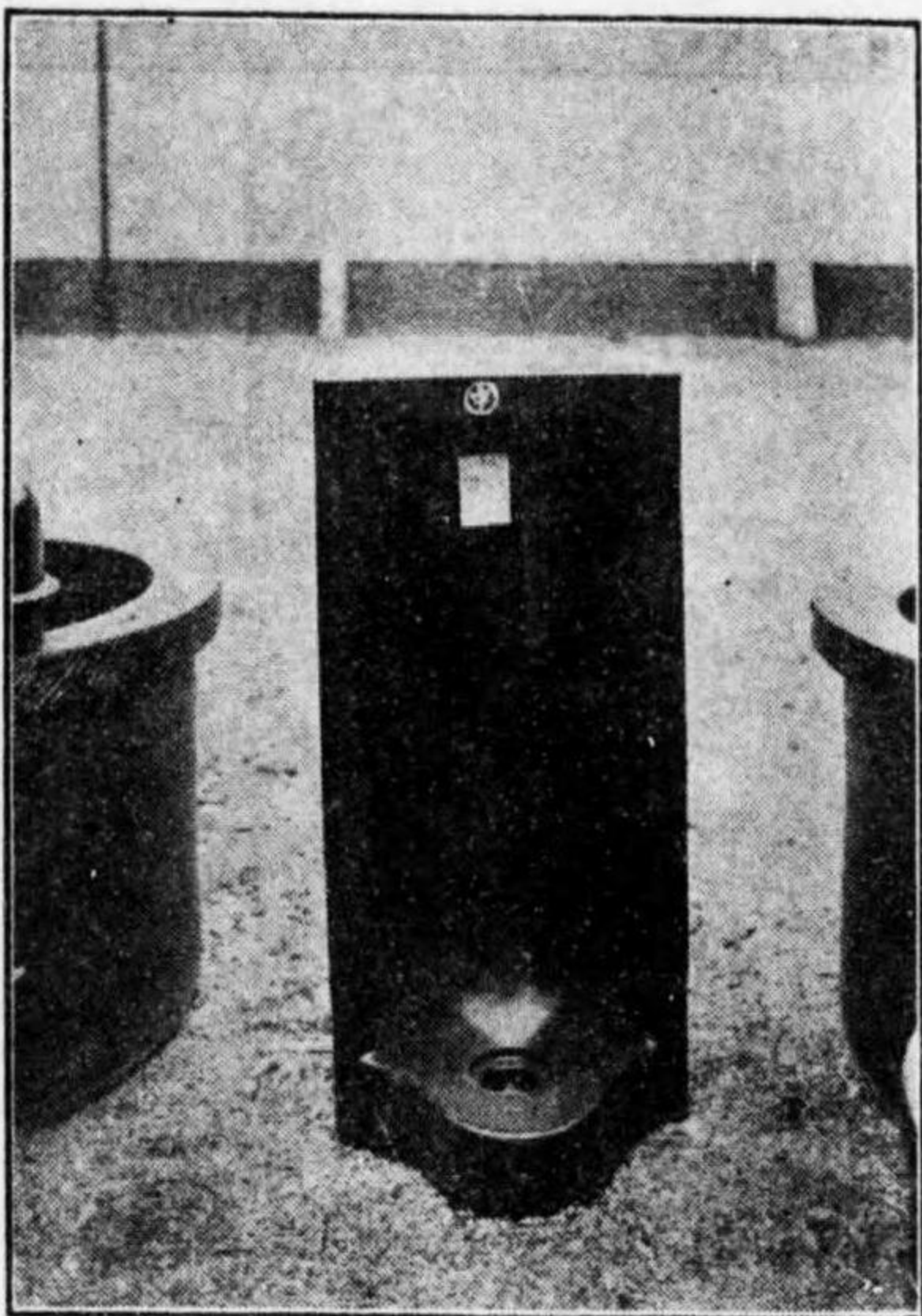
合資會社 清水商會

東京市神田區五軒町

於御大典奉祝名古屋博覽會
名譽賞牌受賞

伊藤メリヤス株式會社

三重縣四日市市外寶山



於御大典奉祝名古屋博覽會
金牌受領

陶管類各種 愛知縣常滑町
〔常滑局私書函第八號〕

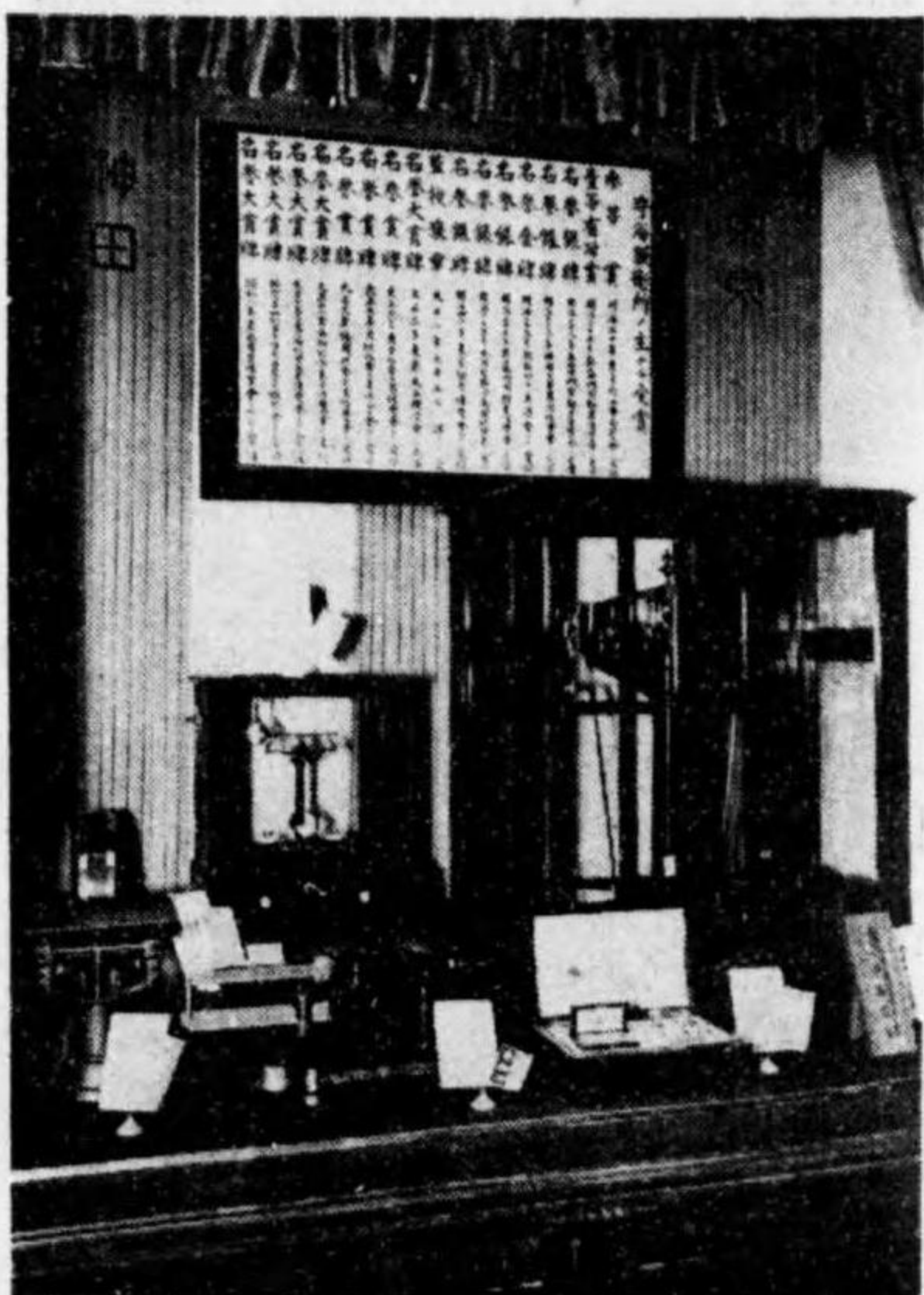
營業種目

火鉢 植木鉢
美術陶器
瓶類各種



陶榮株式會社

電話八番 工場部
電話七四番 營業部
電信略號(〇ナ九)
振替口座東京八六一四番
名古屋一七四番



御大典奉祝名古屋博覽會ニ於テ

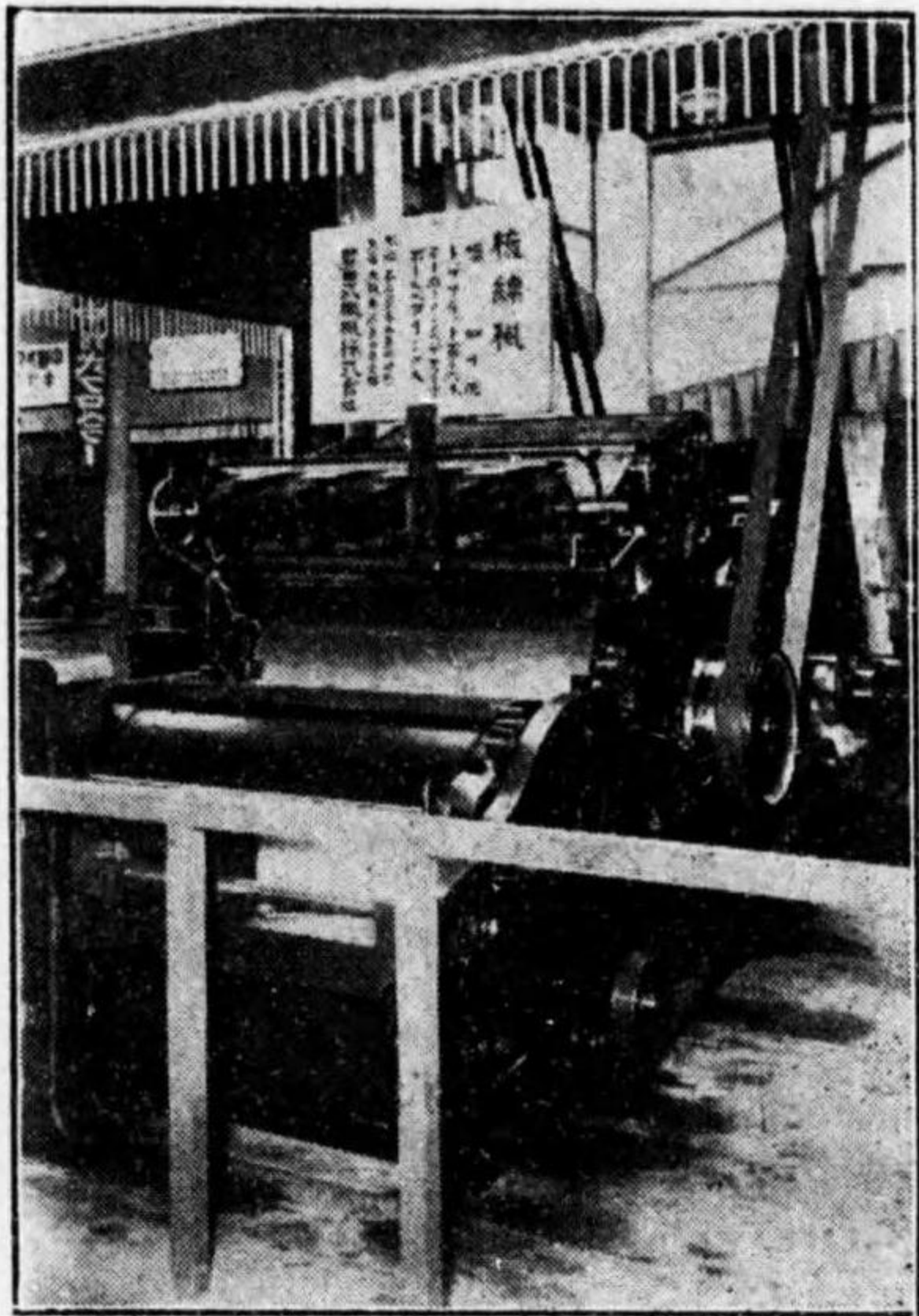
最高

名譽大賞牌受領

東京市神田區富山町二番地

度量衡器製作
諸機械製造
銑鐵鑄造業

守谷定吉



於御大典奉祝名古屋博覽會
名譽大賞牌受賞

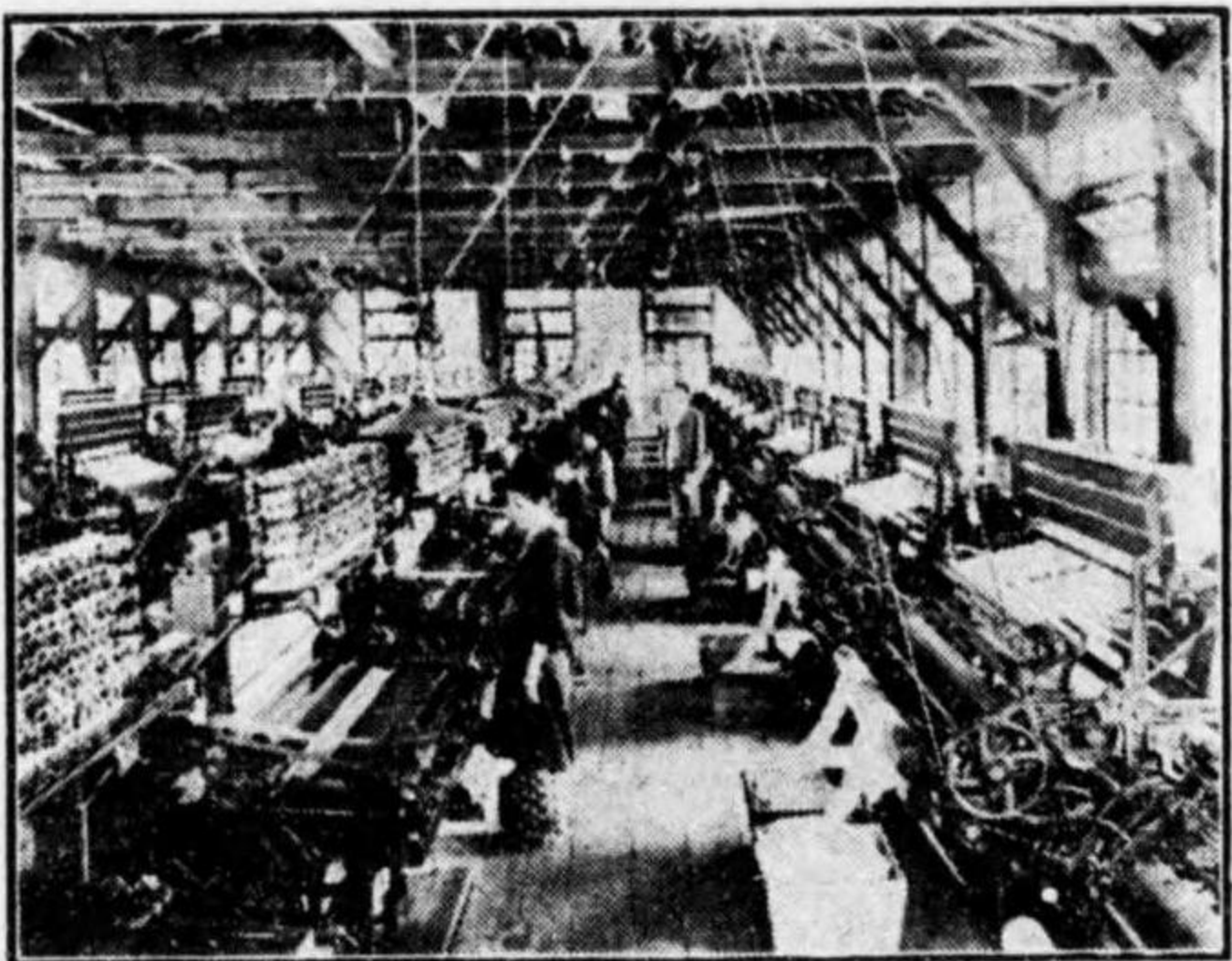
豐田式織機株式會社

本社 名古屋西區嶋崎町
支店 大阪市港區北泉尾町

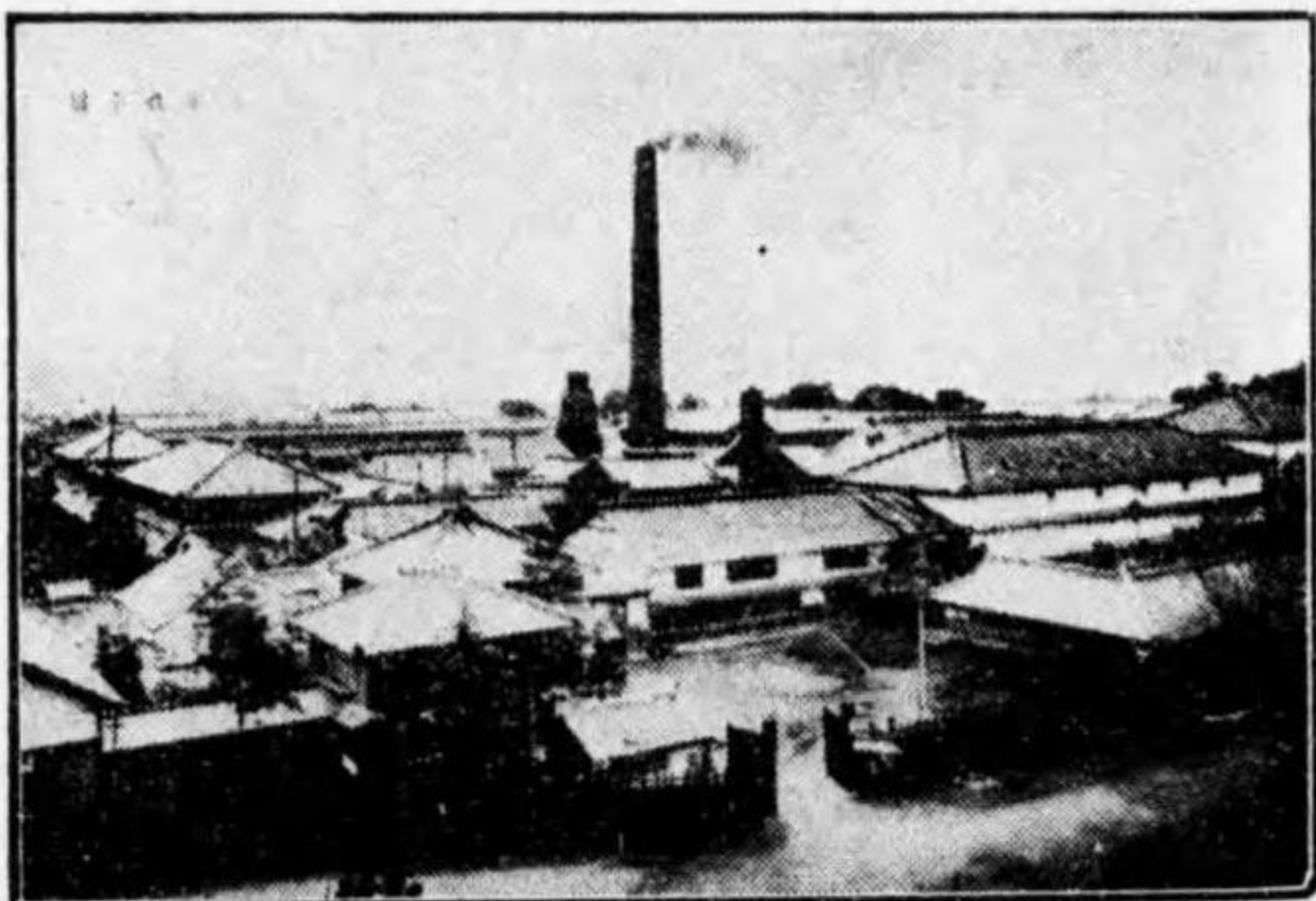
於御大典奉祝名古屋博覽會

名譽大賞牌受賞

大日本人造肥料株式會社



三重の漁網
三重製網合資會社
同社は日本に於ける編網機發明實施の先驅者であり同時に亦斯業界の指導者である。同社が二十五年間刻苦研究に勵みたる該機械の改良進歩は眞に歐米の編網機を壓して好能率を擧げつゝあり而して其製網は内外に信用厚く海外の需用年々共に増進し今や好個の模範工場となれり社長は西口利平氏なり



◎沿革
明治三十年六月資本金六萬圓ノ合資會社トシテ設立セラレ創立當時ハ釜數百六十二釜生絲年産額二百餘捆ニ過キサリシガ漸次設備ヲ擴張スルト共ニ大正十二年五月組織ヲ變更シテ株式會社トセリ

御大典奉祝名古屋博覽會
名譽大賞牌

機械網の魁
漁網輸出の先驅



三重製網合資會社

三重縣四日市港

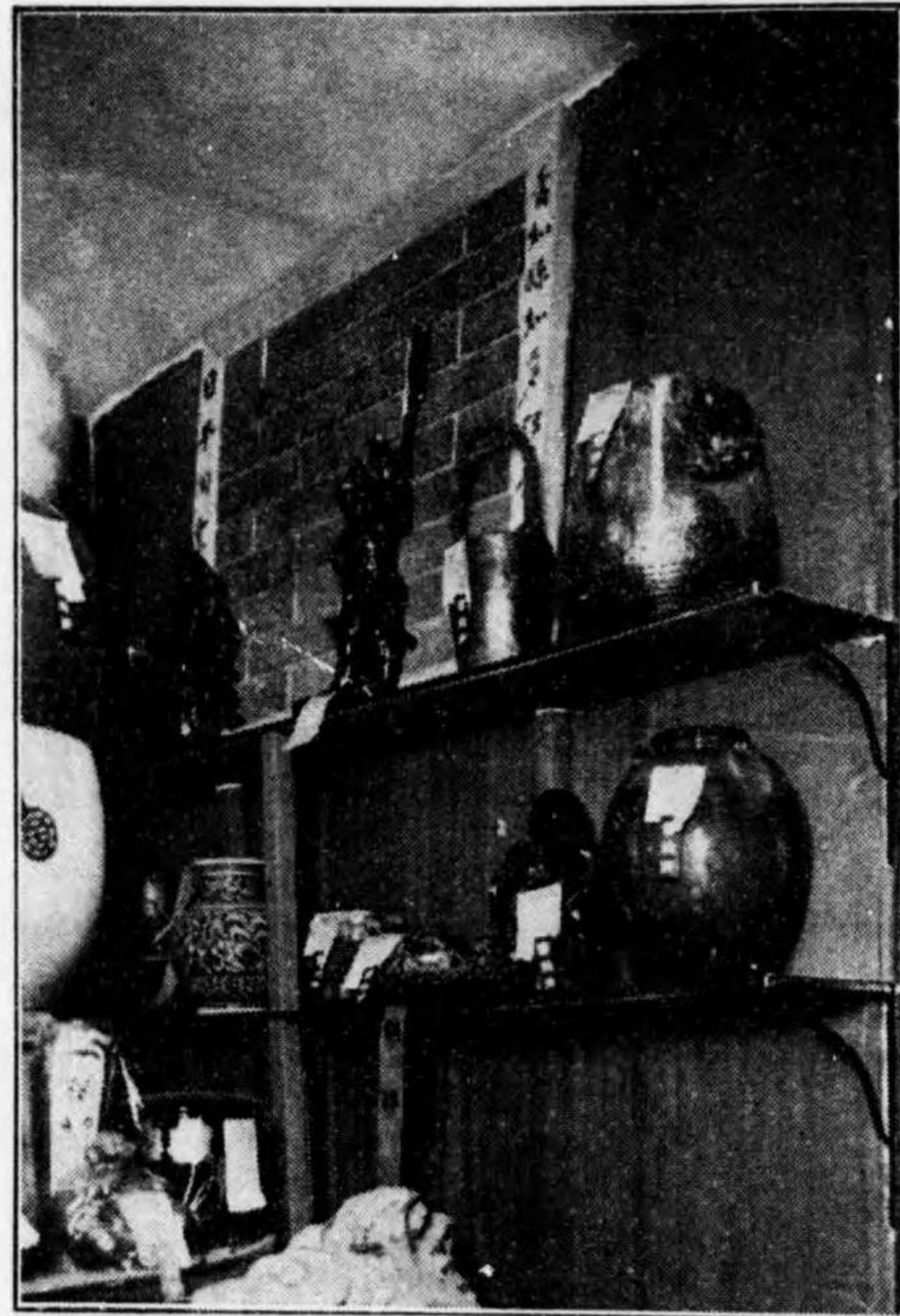
綿糸、麻ラミー、絹
各種網地製造販賣

創立年月 明治三十年六月
資本金 二百萬圓(全額拂込済)
敷地坪數 四萬六千坪
建物坪數 一萬五千坪
運轉釜數 千六百釜
生絲製造高 年額七千五百捆(六萬七千五百貫)

三河國 株式會社 三龍社

會覽博屋古名祝奉典大御於

賞 受 牌 金



社 會 式 株 業 陶 本 日

町 滑 常 郡 多 知 縣 知 愛



門 衛 右 吉 捧



次 吉 捧

當 店 ノ 光 榮 受 賞

平 和 記 念 東 京 博 覽 會 金 牌 受 領
 全 國 產 業 博 覽 會 名 譽 金 賞 牌 受 領
 東 亞 勤 業 博 覽 會 國 產 優 良 賞 受 領
 御 大 禮 記 念 國 產 振 興 東 京 博 覽 會 國 產 優 良 賞 受 領
 御 大 禮 記 念 國 產 振 興 東 京 博 覽 會 名 譽 賞 牌 受 領
 大 禮 記 念 京 都 大 博 覽 會 優 良 國 產 金 牌 受 領
 御 大 禮 記 念 國 產 振 興 阪 神 大 博 覽 會 國 產 優 良 賞 牌 受 領
 全 外 數 十 回 博 覽 會 名 譽 賞 牌 受 領

販 路 輸 出 先

支 那 印 度 シ ャ ム シ ン ガ ポ ル マ ニ ラ シ ャ ハ 南 米
 西 比 利 亞 亞 弗 利 加 內 地

新 潟 縣 燕 町

捧 吉 右 衛 門

出 張 所 東 京 市 神 田 區 松 住 町 二 番 地
 電 話 三 番

斯 業 界 最 高 の 榮 冠 を 頂 け る

丸 八 洋 服 店 出 品 の

燕 尾 服

店 名 古 屋 市 廣 小 路 本 町 西

電 話 東 四 二 四 九 番



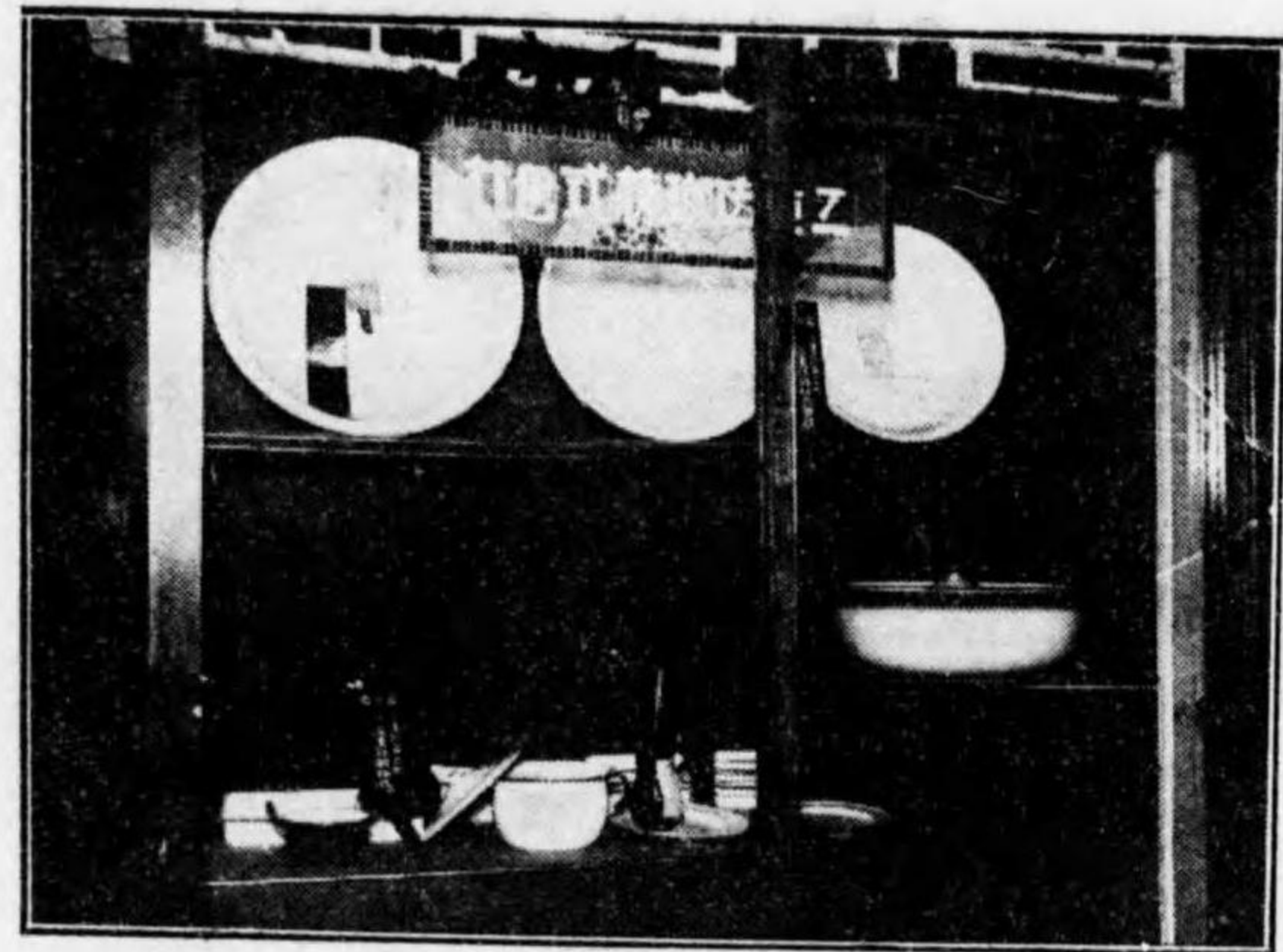
御大典奉祝

名古屋博覧會

於鶴舞公園

自昭和三年九月十五日起至十月廿三日

事務局 名古屋市役所内



三重瑛瑯株式會社
三重縣桑名町

販路
内地、朝鮮
臺灣、支那
印度、暹羅
新嘉坡
佛領印度
馬尼刺
南洋諸島
東亞部
亞弗利加
等



着心地のよい

理想的な背廣服

洋服店 加藤作治
岐阜縣岐阜市美園町二丁目

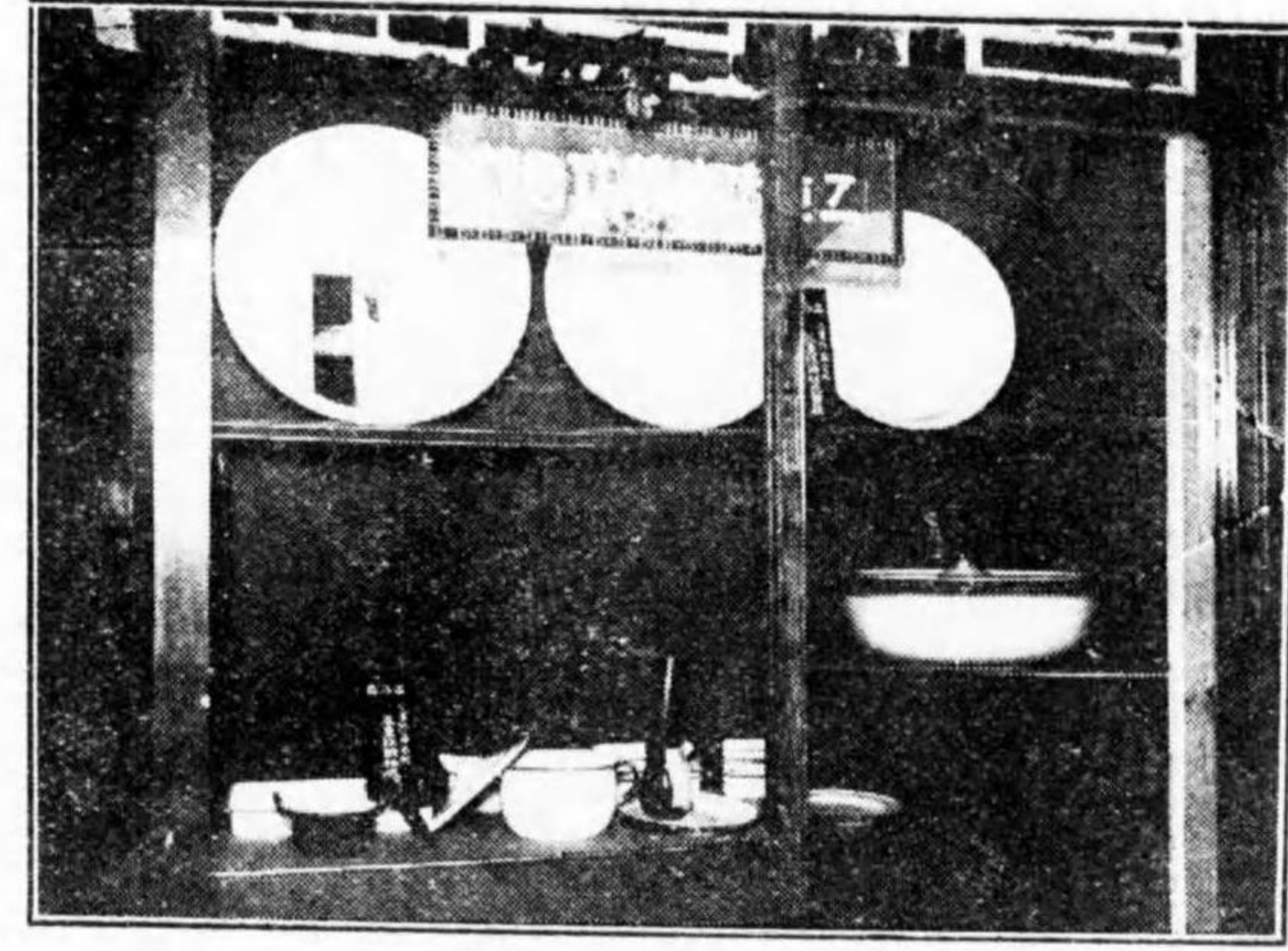
御大典奉祝

於鶴舞公園

自昭和三年九月十五日起至十二月廿三日

名古屋博覧會

名古屋市役所内 事務局



三重瑛瑯株式會社

三重縣桑名町

販路
内地、朝鮮、臺灣、支那、印度、暹羅、新嘉坡、佛領印度、馬尼刺、南洋諸島、東部、亞弗利加



洋服店 加藤作治

岐阜縣岐阜市美園町二丁目

着心地のよい

理想的な背廣服



優待觀覽券



無料觀覽券

第一編 博覽會

第一章 總論

第一節 名古屋市の商工業

名古屋市は、本州中部に位し、廣茅十万里、人口九十五萬を擁し、東京大阪に亞ぐ大都市たり、本市は徳川義直開府の地に於て、東海道の要衝に當り、古來繁榮を重ねしが、明治大正を経て今日に至り、交通は四通し、文化は發達し、加ふるに市民の勤勉力行は年と共に向上の一路を辿り、殊に産業方面に於て其の發展著しきものあり、今本市の主要なる生産物を擧ぐれば左の如し。

蠶絲及眞綿	五、〇七七、四六二甲
綿糸紡績	五五、〇一七、五九五
絹織物	八一、二九二、一四四
毛織及交織	一四、八一〇、九三四
メリヤス	七、〇九六、〇三四
ビール	七、一七七、二七八
菓子	六、七五〇、〇〇〇
小麥粉	一五、〇一四、八七三
陶磁器	二一、五九五、三五六
箱	六、〇四三、一七〇

第一章 總論

第一節 名古屋市の商工業

其他五百萬圓以下のもの三十七種、生産額總計三億四千五百四十一萬七千餘圓を算し、我國大都市中の第三位にあり即左の如し。

大 阪	九〇七、六一六、〇〇〇円
東 京	四三八、二一〇、六一八
名 古 屋	三四五、四一七、八〇二
神 戸	二八四、七一七、六九五
京 都	一六三、二六三、九三七
横 濱	一二九、二二六、四五六

然れども、本市が此の如き巨大なる生産を示すと雖、其の内容を仔細に點檢すれば、猶發展の餘地甚だ大なるものあるを見る可し、試に生産の基礎をなす、工場及職工数を比較すれば左の如し。

大 阪	五人未滿	五人以上	計	職 工 數
東 京	二一〇一九	四六〇〇	二五、六一九	一九九、五五九
名 古 屋	八六五五	三二九四	一一、九四九	八七、七九六
神 戸	九六九一	一七六〇	一一、四五一	八二、四三一
京 都	三七四八	七三九	四、四八七	五四、六八一
横 濱	不明	一一一八	一、一一八	二九、四四六
計	四九一五	六三六	五、五五一	二四、八一八

更に之を各種工業別にすれば左の如し。

染織工業	東京	一七、三六三、六六一	京都	八四、五四、九三三	大阪	二四三、六九五、〇〇〇	神戸	一八、一九、九七	横濱	三、〇九、五五	名古屋	一八八、七〇七、五二六
機械工業	東京	一九、一七〇、七〇〇	京都	一三、六四、三六六	大阪	一五七、三三三、〇〇〇	神戸	一〇七、八四、九五四	横濱	三〇、六六八、六三四	名古屋	三三、七〇八、〇〇〇
化学工業	東京	四三、三六、九九五	京都	五、三七、三五五	大阪	一九三、五〇〇、〇〇〇	神戸	六五、六四、五三六	横濱	一〇、九六〇、〇八四	名古屋	四六、三三二、四一九
食品工業	東京	一〇七、六九、三五	京都	四八、六五、六五四	大阪	八三、八四七、〇〇〇	神戸	六六、四〇六、〇七	横濱	五、三四、三五	名古屋	四五、四七、七九九
雑工業	東京	一〇一、八九、七〇〇	京都	二、一三〇、四六七	大阪	一四〇、五二、〇〇〇	神戸	三、四〇五、六八八	横濱	三、五〇、六三九	名古屋	三六、二七〇、四四五
特別工業	東京	二八、八九、七〇七	京都	不明	大阪	五四、〇九、〇〇〇	神戸	五、二二、五三三	横濱	一、七三、三五九	名古屋	五、七、一〇三
計	東京	四三、三〇、六八	京都	一三、三六、三九七	大阪	九〇七、六六、〇〇〇	神戸	二八四、七七、六九五	横濱	二九、三六、四三六	名古屋	三四四、二七、八〇一

即本市に於ける生産の大は一に染織工業の然らしむる所にして總額の二分の一以上を算し、其他の工業に至りては他の都市に比し猶發展の餘地あるを窺ふに足る。

之を工業會社數及其の拂込資本に就て見るに

大 阪	一、六五三	拂込資本	六三三、四一八、〇〇〇円
東 京	一、一三八		一九二、六八六、二五六
名 古 屋	四三一		九五、九二九、四四〇
神 戸	三七九		一九九、九五四、二五八
京 都	二八一		七六、七五七、〇〇〇
横 濱	二二八		三六、六八一、二四四

にして本市の工業が其の内容に於て規模の小なるを想見するに足る可し。

更に之を商業方面に就て見るも其の取引は他都市に比し遙に及ばざるものあり。
先づ銀行の預金及貸出を比較するに

預 金	
大 阪	一、五三九、六七九、〇〇〇円
東 京	二、三四八、一六七、九〇八
名 古 屋	三〇三、四三六、八二一
神 戸	三八九、一〇三、〇〇四
京 都	三九八、四八〇、〇二五
横 濱	一四三、七二五、八九八
貸 出	
大 阪	一、六六八、六八四、〇〇〇
東 京	三、四六五、九五〇、一一六
名 古 屋	二八五、四五八、六八四
神 戸	四四七、八一四、七二七
京 都	一五五、〇九六、四八四
横 濱	一五三、四〇四、〇四一

銀行の預金及貸出の大小は必しも商取引の大小を表はすものに非るも其の一斑を窺ふに足る可く更に手形交換所に於ける手形交換高を比較すれば如實に其の大小を比較歸納することを得可し。

手形交換高	
大 阪	二八、八三六、七五〇、〇〇〇円

之を商業會社と其の資本に就て見るに

東 京	三七、三二〇、三五五、八三三
名 古 屋	三、四三六、三六四、七三四
神 戸	九、八六一、五六四、五一三
京 都	二、〇六二、〇〇二、八七〇
横 濱	一、九七二、九六九、九三五
大 阪	二、三六〇 拂込資本 一、〇二〇、七五九、〇〇〇
東 京	二、三一〇 一、九三六、四七九、三五八
名 古 屋	八九九 八二、一五三、一六五
神 戸	六九二 一二四、七三七、三二三
京 都	四八〇 四〇、九七六、〇〇〇
横 濱	七三三 二七五、〇五〇、八〇五

にして本市が他の都市に比し不振の状態にありといふを得可し。
更に輸移出額を比較すれば

大 阪	出 三、三二四、〇五七、〇〇〇円
神 戸	入 二、七六五、一二七、〇〇〇
神 戸	出 六八〇、六八二、〇五二
京 都	入 一、〇五二、四一八、一五四
京 都	出 二九、六七九、〇〇〇
(外國貿易)	入 三五、二八三、〇〇〇

横濱	出	七六〇、三五九、〇〇〇
(外國貿易)	入	六三八、六三九、〇〇〇
名古屋	出	八四、四七七、二一一
	入	二〇八、三二九、〇六九

にして此れ亦前記の商業機關の不振に伴ふ必然の結果といふを得可し。之を要するに本市は人口の増大と面積の廣大を擁すと雖其の内容に於ては猶近世的商工業組織完備の域に達せず舊套を墨守して近世文化の需要に應ずるが如き状態にあるを以て、之を指導し、之を開發し、取引方法、商工業機關、生産工業の規模を新にし世界的需要に對應するの準備は緊要欠く可からざることなりとす。

第二節 博覽會開催の趣意

我が名古屋市が中京と稱し其の面積の大、人口の密、商工業の殷盛を言ふと雖而も其の内容に於て發展の餘地甚だ大なるものあるに對し、縣市商工會議所を初め各種團體に於て、比年各般の施設をなしつゝあり、偶昭和二年の秋 聖上陛下兵を尾三の野に闕させ給ふや軍務御繁多にも拘はらせ給はず 畏くも産業振興に御軫念あらせ給ひ 鳳輦親しく工場に臨ませられ作業御巡覽の榮を賜ふ、市民の感激借く所を知らず、誓つて産業の振興に努力し、聖恩の萬分の一に報ひ奉らんと期す、名古屋勸業協會茲に鑑みる所あり、昭和三年秋一大博覽會を開催し謹みて 聖上陛下御登極の大禮を慶賀し奉り併て産業振興の實を擧げ以て聖旨の萬一に報ひ奉らんと昭和三年一月 賀陽宮恒憲王殿下を總裁と仰ぎ奉り、副總裁に小幡愛知縣知事、伊藤商工會議所會頭を推し、本會々長大岩名古屋市長、博覽會長として同年二月左の如き趣意を以て全國に贊同を求めたり。

趣意書

伏シテ惟ミルニ

今上陛下御聖文武ノ英資ヲ以テ大統領ヲ繼ガセ給ヒ是歲秋冬ノ交登極ノ大禮ヲ京都ニ行ハセ給フ八千萬ノ赤子誰レカ此ノ一世ノ大典ヲ奉祝シ無比ノ聖儀ヲ謳歌セザルモノアラシヤ。況ンヤ 鳳輦京都ニ向ハセ給フ途次我が名古屋市ニ御駐泊アラセ給フアルオヤ市民ノ光榮感激眞ニ能ク言辭ノ盡ス所ニアラズ。

今上陛下夙ニ國産ノ振興ニ御軫念アラセ給ヒ昨秋兵ヲ尾三ノ野ニ闕サセ給フヤ軍務御繁多ニモ拘ハラセラレズ。畏クモ玉車屢々製作工場ニ御親臨アラセ給ヒ又御使ヲ差遣アラセ給フコト四十個所ノ多キニ及ビ産業御獎勵ノ聖旨洵ニ煌燿臣子ノ恐懼措ク能ハザル所ナリ。

今ヤ國富ノ増進ハ産業ノ振興ニ賴ル所極メテ多ク産業ノ振興ハ之ヲ研鑽ノ効果ニ待ツモノ甚ダ大ナリ。我が名古屋市ハ帝國ノ中部ニ位シ廣袤十萬方里人口九十萬ヲ算シ天恵ノ地利ヲ占メ交通ノ要衝ニ當リ市勢駁々乎トシテ今ヤ帝國第三位ノ大都市タルニ至レリ。名古屋勸業協會茲ニ鑑ミル所アリ此ノ佳節ヲトシ幸ニモ

賀陽宮恒憲王殿下ヲ本會總裁ニ奉戴スルノ光榮ヲ荷ヒ各位ノ熱誠ナル御讚助ヲ得テ本市鶴舞公園ニ御大典奉祝名古屋博覽會ヲ開催シ實業ノ精ヲ集メ生産ノ粹ヲ陳ネ謹テ御大禮ヲ慶賀シ奉リ併セテ我國産業ノ進展ニ資シ國運ノ隆昌ニ貢獻シ以テ海嶽窮リナキ

聖恩ノ萬一ニ報ヒ奉ランコトヲ期ス。

希クハ各位本會微衷ノ存スル所ヲ諒トセラレ多大ノ御後援ヲ賜ハラシコトヲ

昭和三年三月

御大典奉祝名古屋博覽會長

名古屋勸業協會長

大岩勇夫

第二章 開設

第一節 役員

總裁

賀陽宮恒憲王殿下

副總裁	愛知縣知事	小幡 豐治
副總裁	名古屋商工會議所會頭	伊藤次郎 左衛門
會長	名古屋勸業協會會長	大岩 勇夫
副會長	名古屋市助役	三澤 寛一
同	名古屋勸業協會副會長	青木 嗣夫
同	名古屋商工會議所副會長	瀧 定助
同	名古屋商工會議所副會長	岡谷 惣助
同	名古屋勸業協會副會長	鈴木 政吉

顧問

第三師團團長	安 滿 欽 一
留守第三師團長	曾 田 孝 一
貴族院議員	磯 貝 浩
貴族院議員	下 出 民 義
衆議院議員	田 中 善 立
衆議院議員	小 山 松 壽
同	加 藤 鎌 五 郎
同	鬼 丸 義 齋
同	椎 尾 辨 匡
同	久 野 尊 資
同	西 脇 尊 資
同	丹 下 茂 十 郎
同	瀧 正 雄
同	加 藤 綱 一
同	三 輪 市 太 郎
同	武 富 太 郎
同	九

第二章 開設 第一節 役

員

衆議院議員	岡本實太郎
同	山崎延吉
同	大崎喜六
同	鈴木五六
同	鈴木武雄
同	丹羽武朝
名古屋鐵道局長	野本正一
名古屋遞信局長	近藤春臺
名古屋稅務監督局長	渡邊龍三
名古屋高等商業學校長	森邊龍
名古屋高等工業學校長	野田彦
熱田神宮々司	野田彦
陸軍少將	林田彦
名古屋工廠長	三木善太郎
第三師團參謀長	谷壽夫
留守第三師團參謀長	佐枝義重
名古屋專賣局長	富澤充
名古屋兵器支廠長	藤井潤
愛知醫科大學長	藤井靜英
愛知縣內務部長	落合慶四郎

一〇

第二章 開設 第一節 役

員

警察部長	木下義介
同	鐘江富次
同	萩野廣
名古屋鐵道局運輸課長	須田良博
名古屋驛長	渡邊良夫
愛知縣會副議長	宮地太市
同	石川久兵衛
同	橋本金一
愛知縣會副議長	瀨川嘉助
同	宮崎鐵三
同	野口令吉
同	村山爲章
同	近藤新助
同	江藤清澄
同	竹內兼吉
名古屋市會議長	青井恒治
同	田部井勝藏
同	豐橋市副議長
同	岡崎市長

一宮市長	日野常太郎
豐橋商工會議所會頭	福谷元次
岡崎商工會議所會頭	深田三太夫
一宮商工會議所會頭	小島太左衛門
知多商工會議所會頭	中埜良吉
愛知出品協會副會長	舞田壽三郎
名古屋新聞社長	小山松壽郎
新愛知新聞社長	大島宇吉
名古屋每日新聞社長	木下不二太郎
愛知新聞社長	續木篤三郎
名古屋日報社長	田中實辨
名古屋日々新聞社長	瀨川嘉助
名古屋夕刊新聞社長	春日井豐
報知新聞名古屋支局長	齋藤紫郎
大阪每日新聞名古屋支局長	木下不二太郎
大阪朝日新聞名古屋支局長	寺澤英鎮
日本電報通信社長	山口普英
名古屋通信社長	後藤助藏
共同通信社長	松原繁吉

中央通信社長	水野日出夫
愛知通信社長	小田莊二
東邦電力株式會社社長	松永安左衛門
東邦瓦斯株式會社社長	岡本櫻
名古屋鐵道株式會社社長	富田重助
愛知電鐵株式會社社長	藍川清成
瀧戶電氣鐵道株式會社社長	加藤奎左衛門
尾張電氣鐵道株式會社社長	江口賢一
築地軌道株式會社社長	青山鉞四郎
下ノ一色電車軌道株式會社社長	鈴野村健
名古屋放送局理事長	神野金之助
愛知銀行頭取	渡邊義郎
村瀨銀行頭取	村瀨九郎右衛門
名古屋市會議員	加藤清作
同	林繁成
同	菅武時
同	後藤太助
同	加藤一夫
同	高木駒太郎

熱田驛長	伊藤彦作	同	小橋亮作
大曾根驛長	渡邊彌六	同	横井太郎
所得稅調查委員	葦澤陳平	同	岩田中軍治
同	加藤鐵丸	大阪朝日新聞記者	田中軍治
同	渡邊福三郎	大阪毎日新聞記者	岩井肇
同	山田八十吉	報知新聞記者	北岸佑吉
同	安達吉三郎	愛知新聞記者	山田政郎
同	梅澤辰藏	日本電報通信社記者	赤尾英治
同	木村彌作	名古屋通信社記者	野々部逸治
同	荒川豐藏	中京通信社記者	梅田正一
同	栗本又次郎	共同通信社記者	野本鐵吾
同	手塚辰次郎	豐橋商工會議所理事	鈴木澄衛
同	大須賀源次郎	岡崎商工會議所理事	稻葉恒助
同	三木一衛	一宮商工會議所理事	森尾繁春
同	同	知多商工會議所理事	岡本繁一
同	同	尾三勢濃鑄物鍋釜農具同業組合長	中尾十郎
同	同	名古屋材木商工組合長	鈴木惣兵衛
同	同	愛知縣眞田帽子同業組合長	橋本榮次郎
同	同	愛知縣燐寸同業組合長	伊藤松次郎
新愛知新聞記者	原重德		
同	松永秀則		
名古屋新聞記者	長阪清		

參事

名古屋織物卸賣同業組合長	祖父江重兵衛	名古屋印刷同業組合長	英比真造
名古屋酒類商同業組合長	山村德治	名古屋洋服商工同業組合長	岩田金三郎
名古屋紙鹵製造同業組合長	中村常次郎	名古屋漬物製造同業組合長	中村鎌吉
名古屋米穀商同業組合長	間宮重兵衛	三河中央織物同業組合長	鶴田督亮
名古屋砂糖商同業組合長	柳橋金左衛門	尾西織物同業組合長	兒玉柳吉
名古屋金屬小間物製造同業組合長	伊藤孝經	尾州絹織物同業組合長	丹羽忠兵衛
名古屋紙商同業組合長	伊藤常七	丹葉織物同業組合長	水野高三郎
名古屋染物同業組合長	小川元三郎	知多白木綿同業組合長	山田佐一
名古屋足袋問屋同業組合長	野津重助	碧海織物同業組合長	杉浦市太郎
愛知縣織物同業組合會長	舞田壽三郎	三河幡豆織物同業組合長	鈴木伊三郎
名古屋國產絞同業組合長	岡田彦兵衛	三河織物同業組合長	舞田壽三郎
愛知縣時計製造同業組合長	瀨川嘉助	有松絞商工同業組合長	竹田嘉兵衛
名古屋織物同業組合長	磯貝浩	愛知縣一宮燃糸同業組合長	森清次
名古屋味噌醬油製造同業組合長	宮崎平四郎	三河紡績同業組合長	大野惣五郎
名古屋賣藥同業組合長	今堀辰三郎	瀨戶陶磁工商同業組合長	加藤助五郎
名古屋陶磁器貿易商工同業組合長	井元爲三郎	常滑陶器同業組合長	鯉江親雄
愛知鑄造同業組合長	田村觀助	三河陶管同業組合長	神谷太一郎
名古屋硝子同業組合長	石塚岩三郎	西三瓦製造同業組合長	淺岡仙松
愛知縣莫大小同業組合長	猪村鎌吉	知多郡味噌醬油同業組合長	小栗福藏

東三醬油同業組合長	服部 彌八	愛知縣西金城蠶種同業組合長	川井 由廣
尾張知多郡大根切干同業組合長	花井 一造	愛知縣幡豆郡蠶種同業組合長	岡田 貞次郎
三河大根切干同業組合長	大野 一造	愛知縣岡崎蠶種同業組合長	伊藤 重次郎
三河乾海苔同業組合長	青木 九八郎	尾張大根切干同業組合長	櫻井 淺一郎
豐橋賣藥同業組合長	伊藤 莊一	熱田 魚組 合 長	村瀬 德兵衛
東西春日井郡菓製品同業組合長	横井 音吉	名古屋瓦商組合長	内藤 菊五郎
愛知縣西春日井郡蠶業同業組合長	松澤 清次郎	名古屋文房具商工組合長	安藤 清兵衛
愛知縣南設樂郡蠶業同業組合長	山内 五壽雄	名古屋蔬菜果實商組合長	杉本 常太郎
愛知縣渥美郡蠶業同業組合長	芳賀 保治	名古屋種菓子製造業組合長	宮田 金之助
愛知縣東三蠶種同業組合長	小林 幸平	名古屋肥料雜穀問屋組合長	野尻 理右衛門
三遠玉糸製造同業組合長	金子 丈作	名古屋菓子製造組合長	酒井 可壽吉
愛知縣東三生糸製造同業組合長	白井 勝治	名古屋疊製造業組合長	太田 松藏
愛知縣西三生糸製造同業組合長	株式會社 三龍社	名古屋和服裁縫業組合長	水野 市郎
寶飯郡養蠶同業組合長	山口 祐藏	名古屋絹布染色業組合長	野田 圓太郎
東加茂蠶種同業組合長	吉橋 寅吉	名古屋洋雜貨商組合長	織田 善七
碧海郡蠶種同業組合長	稻垣 和一	中央齒科材料製造販賣組合長	社本 兼太郎
愛知縣中京蠶種同業組合長	河田 悅治郎	名古屋米穀問屋組合長	西田 淺次郎
愛知縣尾張生糸製造同業組合長	原 製系場	名古屋靴商工組合長	大橋 長太郎
愛知縣東金城蠶種同業組合長	川村 吉六	名古屋製本業組合長	神谷 五一

名古屋麵類業組合長	富田 庄太郎	名古屋セメント瓦製造販賣組合長	杉本 榮七
名古屋筆筒商工組合長	森 米吉	東春織物同業組合長	塚原 嘉一
名古屋乾物卸賣業組合長	森川 彌兵衛	愛泉酒造組合長	村瀬 小右衛門
名古屋洗染クリーニング業組合長	榑田 浦太郎	尾北酒造組合長	今枝 久兵衛
名古屋眼鏡商工組合長	牧野 市左衛門	海部郡酒造組合長	佐藤 孫七
名古屋電業組合長	月野 正五郎	西三酒造組合長	石川 八郎治
名古屋味噌溜醬油商組合長	小川 幸一	東三酒造組合長	中村 平吉
名古屋油業組合長	肥田 伊代藏	中三酒造組合長	深田 定治
名古屋鼻緒製造業組合長	小塚 晃	北設樂郡酒造組合長	關谷 守男
名古屋葬祭具業組合長	原田 藤一	名古屋石匠組合長	加藤 榮次郎
愛知縣味噌溜醬油釀造組合聯合會長	原 彌八	名古屋蠟燭業組合長	山口 眞次郎
愛知縣酒造組合聯合會長	太田 彌太郎	名古屋帽子製造組合長	橋本 榮次郎
名古屋菓子業組合長	後藤 利兵衛	名古屋履物卸商組合長	高木 鍊次郎
名古屋吳服太物商組合長	伊藤 次郎左衛門	名古屋折箱組合長	天野 兼次郎
名古屋貴金屬品製造組合長	池田 正信	名古屋繻帶材料製造組合長	松村 清輔
名古屋桶類業組合長	鈴木 安次郎	名古屋製綿業組合長	河野 重助
名古屋銅鐵金物商組合長	宮部 鈴三郎	熱田蒲鉾製造組合長	矢代 菊藏
名古屋繪具染料工業藥品商組合長	大澤 重右衛門	名古屋乾物商組合長	加藤 久四郎
名古屋酒造組合長	廣瀬 惣兵衛	名古屋乾海苔問屋組合長	森川 竹三郎

第二章 開設 第一節 役員

名古屋金物卸商組合長	田中清吉	名古屋組糸商組合長	青山庄兵衛
名古屋菓子問屋組合長	松岡數太郎	名古屋玩具商組合長	岩田芳之助
名古屋蚊帳寢具組合長	鬼頭理助	名古屋屏風業組合長	淺井理八
名古屋瓦商組合長	大矢伴三郎	名古屋表裝業組合長	柴田喜三郎
愛知縣乳母車業組合長	増田新藏	臺灣產青果名古屋荷受組合長	堀部市左衛門
名古屋藥業組合長	中北伊助	名古屋小間物卸商組合長	森本三郎
名古屋鷄卵商組合長	河野政之助	名古屋羅紗商協會長	西脇由兵衛
名古屋化粧品卸商組合長	村瀬谷三郎	名古屋洋服製品卸商組合長	武村文助
名古屋袋物卸商組合長	馬淵源六	名古屋笹島宿屋組合長	白木周次郎
名古屋佛具卸商組合長	増田庄六	名古屋宿屋組合長	都築鈴次郎
名古屋佛壇卸商組合長	山田鉞次郎	名古屋門前宿屋組合長	青山米太郎
名古屋提灯業組合長	坪内徳次郎	名古屋鍋屋宿屋組合長	松山貞助
名古屋提灯卸業組合長	中村善兵衛	名古屋江川宿屋組合長	河竹活道
名古屋荒物雜貨卸商組合長	佐藤太助	名古屋商絨會會長	岩田金三郎
名古屋香油商組合長	森庄助	名古屋縫工組合長	高木圓藏
名古屋漆器商組合長	黒田茂助	名古屋桐下駄製造組合長	伊藤慶之助
名古屋輸出扇子組合長	太田鐵次郎	名古屋製節業組合長	小島常次郎
名古屋石鹼製造組合長	石塚元雄	愛知縣知多酒釀組合長	田中清八
名古屋打刃物業組合長	高田菊次郎	中京製節業組合長	池山銀次郎

第二章 開設 第一節 役員

名古屋製節業組合長	今枝庄一郎	名古屋勸業協會評議員	石黒鐘次郎
名古屋水産業組合長	犬飼正	同	岩田清
名古屋桐材業組合長	小川啓次郎	同	井川清兵衛
名古屋自轉車卸業組合長	奥田明喜	同	伊藤庄八
名古屋輪業組合長	河合良	同	池田錠次郎
常滑陶器工業組合理事長	伊奈伍助	同	飯田萬次郎
名古屋輸出莫大小工業組合理事長	伊藤傳七	同	稻守銀之助
名古屋輸出綿布工業組合理事長	三輪常次郎	同	岩田重次郎
名古屋自轉車工業組合理事長	岡本徳松	同	泉菊三郎
名古屋輸出樂器玩具工業組合理事長	池田喜一郎	同	石原伊之助
名古屋鐵道局案内所主任	千葉豊	同	長谷川與吉
名古屋鐵道株式會社營業課長	大津二郎	同	坂富次郎
愛知電氣鐵道株式會社營業課長	野々上薫	同	畑市右衛門
同 運輸課長	伊藤鎌次	同	西村淺次郎
瀨戶電氣鐵道株式會社營業課長	加藤義晴	同	大島繁次郎
同 運輸課長	伊藤久美	同	岡部元彦
尾張電氣鐵道株式會社營業課長	鷺尾重一	同	渡邊鉦太郎
下ノ一色電氣鐵道株式會社運輸主任	石垣直三郎	同	渡邊與兵衛
築地電軌株式會社運輸主任	田中豊吉	同	加藤由太郎

大池町榮部發展會長	花井義三郎	朝日發展會長	伊藤榮之助
榮町發展會長	長谷川彦鎮	江川町發展會長	伊藤徳次郎
萬松會會長	青山書店	商進會會長	中島米次郎
公園線中部發展會長	鈴木菊松	玉陽會會長	岩田芳之助
洲崎發展會長	寛覺太郎	共榮會會長	天野太三郎
新柳町發展會長	横井清次郎	下長者町發展會長	後藤太助
大須門前大商組合長	早川徳三郎	圓頓寺筋進商會長	後藤庄太郎
常盤町發展會長	津坂六之助	實業發展會長	小林龍男
東部聯合吳服組合長	伊藤銳治郎	呼續發展會長	川上泰助
名古屋靴商工組合長	近藤秀三郎	須賀の市發展會長	鈴木義雄
杉榮會會長	加藤清一郎	南興會會長	小田信太
鍋屋町發展會長	川島庄三郎		
商和會會長	道木鏡一		
大會根商榮會長	森鍵次郎	國防館顧問	早川成治
エビス會會長	水野重兵衛	海軍省軍事普及會海軍少佐	國分新七郎
盛榮會會長	佐藤榮助	陸軍省副官陸軍歩兵少佐	
新道商榮會長	柳橋利造	同評議員	名古屋工廠庶務課長
商工會會長	犬塚庄次郎		第三師團軍醫部長
清水町發展會長	志賀傳十郎		

同 兵器部長	大内 爲喜
同 參謀	下重長四郎
海軍機關大佐	林 正男
豫備海軍大佐	幸田銈太郎
同	淺井謙只
留守第三師團司令部陸軍歩兵大尉	武邑 有義

同評議員	毛利 教武
	鈴木 不知
同參事	藤島 華僊

美術顧問

石河 有隣	渡邊 秋溪	岡田 良右衛門	野崎 華年	久保田 金僊	松田 鹿三	安藤 篤	森村 宜稻
-------	-------	---------	-------	--------	-------	------	-------

石川 英鳳	石井 九峰	市ノ木 慶治	猪飼 俊二	池田 正信	原田 隆諦	波多野 岳一	西村 千太郎	穗積 清逸	東野 孝一	神内 生一	狩野 梅齋
-------	-------	--------	-------	-------	-------	--------	--------	-------	-------	-------	-------

第二章 開設

第一節 役員

土井久吉	市野長之助	一江芳秋	毛利梅支	人見彌	水野義正	菊地香三	鬼頭鍋三郎	喜多村麥子	安藤邦衛	青木柄古	朝見香城	近藤英雄	久津石清一	小寺雲洞	織田旦齋	土屋卜庵
------	-------	------	------	-----	------	------	-------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------

同委員

教育館參事

高倉半次郎	森藤彌三郎	木村仁止	菅井春山	荒川靜淵	淺岡古道	五味秋篁	松田杏亭	熊澤五六	中西清方	橫山葩生	加納潔	和田翠晃	大岩聚星	奧村石亭	織田杏逸	林雲鳳
-------	-------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	-----	------	------	------	------	-----

第二章 開設

第一節 役員

杉浦安右衛門	大島鐵次郎	水野靜太郎	三浦健次	丹羽元三郎	和田鉄次郎	伊與田幾次郎	櫻木安次郎	柳川石次郎	近藤徳次郎	黒金泰信	島田昌福	木原元次	鐘江富次	民屋慶次郎	廣田七郎	脇田庫雄	佐藤知之	神長樞
--------	-------	-------	------	-------	-------	--------	-------	-------	-------	------	------	------	------	-------	------	------	------	-----

同委員

夏目幸	下田サト	宇古則一	阪谷俊作	下出義雄	淺野甚七	高松定一	市邨芳樹	伊藤萬太郎	國松豐	藤江乙次郎	深見久七	伊東武	鈴木孝英	中村豊吉	久野新松	織田圓城
-----	------	------	------	------	------	------	------	-------	-----	-------	------	-----	------	------	------	------

第二章開設 第一節役員

八木久子 伊藤文四郎 山崎升太郎 齋藤政美 石川七五三 富永高義 樋口千代松 森川鉉二 大口全三郎 加賀谷金作 片野正吉 矢下治藏 坂正夫 櫻木龜次郎 清水貞雄 栗田嘉平太 加藤茂

衛生館顧問

武田永吉 森野吉右衛門 松波菊次郎 榎並庄兵衛 岩本捨次郎 塚崎貢 水野光次郎 伊藤東太郎 石黒鐘次郎 服部善之助 三宅守貞 古川友次郎 鳥井義紀 鈴木彰 中島銳雄 勝田源次郎 藤井靜英 北澤忠男 松波寅吉

演藝委員

藝妓置屋同盟會長 淺野泰弘 郎連組合長 野田寛治 浪越連組合長 河田庄作 中券番組合長 佐藤保 睦連組合長 吉田菊治郎 盛榮連組合長 中野ひて 熱田連組合長 小笠原八象

第二章開設 第一節役員

林直助 大庭士郎 田村春吉 勝沼精藏 酒井繁 小口忠太 河本禎助 柳澤秀吉 楠太 朝川順

演藝係

多和田誠吉 船橋忠五郎 岩佐末吉 水野万太郎 山口忠治郎 加賀谷禮藏 西川石松 西川たね 高田秀雄 角田伍一 高田芳治 千村録治 戸松あい 黒田長太郎 久世芳治郎 鈴木通平 伊藤閑三郎

第二章 開設 第一節 役員

三四

安井卯三郎	加藤政太郎
小澤銀雄	横地兵一郎
石原金一	竹内藤吉
伊藤玉吉	小川長次郎
酒井善次郎	伊藤銀次郎
加藤鍵次郎	加藤清
齋藤政秀	中川もと
玉越徳治郎	中川善一郎

事務總長

名古屋市助役

三澤寬一

審査總長

子爵 工學博士

大河内正敏

專務理事

名古屋勸業協會囑託

小宮山昌雄

理事

總務部長

名古屋勸業協會副會長

鈴木政吉

總務部副部長

名古屋市助役

青木嗣夫

出品部長
同 副部長

同 文書課長

中原順平

名古屋勸業協會主事

名古屋商工會議所貿易部長

大島喜十郎

名古屋市產業部長心得

名古屋勸業協會主事

加藤勝太郎

愛知縣商工課長

同 商品陳列所長

近藤博通

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

井上茂兵衛

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

椎名悅三郎

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

原文次郎

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

宮部鈴三郎

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

朝比奈晃十郎

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

江口彌一郎

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

石塚岩三郎

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

後藤泰助

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

黒金泰信

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

加藤梅太郎

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

木下兼吉

同 商品陳列所長

愛知縣工業試驗所長

竹内兼吉

同 商品陳列所長

青木録次郎

第二章 開設 第一節 役員

工務部長
同 副部長

名古屋土木部長事務取扱
名古屋勸業協會主事

三澤寬一

同 副部長

名古屋商工會議所理財部長

青木録次郎

名古屋勸業協會副會長

青木嗣夫

名古屋市收入役

木下兼吉

名古屋勸業協會主事

青木録次郎

名古屋市收入役

三澤寬一

名古屋勸業協會主事

青木録次郎

名古屋市收入役

三澤寬一

名古屋勸業協會主事

青木録次郎

名古屋市收入役

三澤寬一

名古屋勸業協會主事

青木録次郎

同	道路課長	久保田實
同	建築課長	星野則保
同	名古屋市電氣局工務課長	工東三郎
同	水道部給水課長	近藤博
同	水道部下水課長	石下朝重
愛知	縣技師	中澤誠一郎
同	名古屋市勸業協會主事	井上茂兵衛
同	名古屋市保健部長	金原庄治郎
同	防疫課長	村山重敬
同	清掃課長	藤野七五三
同	愛知縣門前警察署長	松井幸隆
同	名古屋市勸業協會主事	鬼頭富七
同	名古屋市電氣局長	工富准
同	名古屋市社會部長心得	久住榮一
同	名古屋市參事會員	田中喜助
同	同	松尾守隆
同	同	後藤太助
同	名古屋市商工會議所工業部長	青木鎌太郎
同	名古屋市商工會議所理事	三浦太郎

同	名古屋市電氣局業務課長	上島信敏	
同	同	鷺見公明	
同	同	依田昌一	
同	同	長島喜久雄	
同	同	渡邊幹逸	
同	同	淺野甚七	
同	名古屋市勸業協會主事	池田篤三郎	
同	名古屋市水道部長	伊藤光彦	
同	名古屋市參事會員	荒川伸也	
同	同	塚本三	
同	名古屋市商工會議所交通部長	富田重助	
同	名古屋市勸業協會主事	中井己治郎	
同	名古屋市電氣局庶務課長	田中鎌太郎	
同	名古屋市土木部庶務課長	須藤林七郎	
同	名古屋市會書記長	田中銳男	
同	名古屋市電氣局會計課長	愛澤求馬	
同	同	三上昭	
同	同	堀新吾	
同	同	水道部庶務課長	千葉藤一郎
同	同	市場課長	三

第二章 開設 第一節 役員

餘興部長 名古屋勸業協會主事
同 副部長 名古屋市保健部長

員

三八

審查長

審查部長 愛知縣技師
同 副部長 愛知縣商品陳列所長
名古屋勸業協會主事
名古屋市教育局長
同 產業部長心得
工師會幹事
名古屋衛生試驗所長
愛知縣工業試驗場長
名古屋市學事課長
名古屋市社會教育課長
名古屋市教務課長

名古屋高等工業學校校長

中井己治郎
金原庄治郎
澤田東作
井手蕉雨
花井孝一
水野宇右衛門
石川榮耀
原文次郎
宮崎平四郎
黑金泰信
近藤博通
江口彌一郎
吉木彌三
朝日奈晃十
民屋慶次郎
廣田七郎
神長
森彦三

第一部 農蠶林蠟業品 審查員

部長

第八高等學校教授
名古屋地方專賣局
鑑定課長 專賣局技師
名古屋高等商業學校教授
愛知縣蠶糸課長 地方技師
愛知縣農事試驗場長
地方農林技師
愛知縣林務課長 地方技師
地方農林技師
同
同
愛知縣史蹟名勝天然紀念物
調查會委員
地方農林技師
名古屋動物園長
名古屋高等工業學校教授
愛知縣工業試驗場長
地方商工技師
名古屋市立工藝學校校長
名古屋市立工藝學校教諭

員

三九

河村信一
林靖三
小原龜太郎
秦野一二郎
上野操
高瀬伍助
內藤乾藏
岡本堯夫
山田島次郎
梅村甚太郎
片山省三
北王英一
伊藤萬太郎
朝日奈晃十
深見久七
香取五郎

第二章 關設 第一節 役員

第二章 開設 第一節 役員

地方農林技師	金井 眞澄
地方商工技師	野口 清
岐阜高等農林學校講師	龜岡 有
名古屋市立衛生試驗所技師	吉木 彌三
日本織物協會理事長	柴田 才一郎
工政會東海支部幹事	江口 彌一郎
愛知縣工業學校校長	齊藤 吉廣
名古屋高等工業學校教授	大島 徳左衛門
愛知縣起工業學校校長	木村 徳壽
名古屋高等工業學校教授	築 源次郎
愛知縣工業學校教諭	吉光 正義
地方商工技師	稻澤 作之助
名古屋高等工業學校教授	平井 房助
地方商工技師	高田 覺
三河染織試驗場技師	小栗 逞治
地方商工技師	加藤 正雄
愛知縣工業學校教諭	富田 千秋

第三章 機械工業品

部長

地方商工技師	伊勢 弘之
愛知縣工業試驗場技師	朝比奈 晃十
名古屋高等商業學校教授	小原 龜太郎
愛知縣工業學校教諭	水野 誠
地方商工技師	村山 秀雄
愛知醫科大學校長	藤井 靜英
元名古屋工廠技師	石川 重遠
名古屋鐵道局工作課長	住山 六郎
鐵道局技師	小丹 井敬吉
名古屋遞信局技師	伊藤 萬太郎
名古屋高等工業學校教授	竹村 誠也
地方技師	米田 正太郎
名古屋遞信局電氣課長	清水 勤二
名古屋高等工業學校教授	貫名 基
愛知縣工業學校教諭	石引 一朗
同	石引 一朗
名古屋電氣局長	工富 准
名古屋電氣局工務課長	工東 三郎
名古屋電氣局工務課長	工東 三郎

第二章 開設 第一節 役員

員

第二章 開設 第一節 役員

日本織物協會理事長	柴田才一郎
名古屋高等工業學校教授	北澤忠男
愛知醫科大學藥局長	柳澤秀吉
愛知醫科大學教授	河本禎助
工政會東海支部幹事	江口彌一郎
名古屋高等工業學校教授	築源次郎
地方商工技師	野口清郎
名古屋市技師	竹本秀夫
愛知縣工業試驗場長	朝比奈晃十
地方商工技師	北澤忠男
名古屋高等商業學校教授	柳澤秀吉
愛知醫科大學藥局長	黑田正策
愛知縣窯業學校長	青木繼治
名古屋高等工業學校教授	春日忠次郎
地方商工技師	永塚樂治
愛知縣常滑陶器學校長	古川友次郎
地方商工技師	野口清一
同	近藤憲一

員

四二

第四部 化學工業品 部長

第五部 製作工業品 部長

元有田工業學校校長	小泉角五郎
岐阜縣陶磁器試驗場長	井深捨吉
地方商工技師	原文次郎
愛知縣商品陳列所長	森原雅
地方商工技師	近藤良男
名古屋高等商業學校教授	吉木彌三郎
名古屋衛生試驗所長	三木純一郎
名古屋市技師	土屋純一
名古屋高等工業學校教授	河本禎助
愛知醫科大學教授	深見久八郎
名古屋市立工藝學校長	藤江乙次郎
名古屋市立工藝學校教授	香取五郎
同	森野誠雅
地方商工技師	水野誠
愛知縣工業學校教諭	村山秀雄
地方商工技師	增井信一郎
地方商工技師	加藤英吉
體育指導主事 學校衛生技師	藤井靜英
愛知醫科大學校長	伊藤萬太郎
名古屋高等工業學校教授	伊藤萬太郎

第二章 開設 第一節 役員

員

四三

第二章 開設 第一節 役員

員

四四

同 同
 愛知縣林務課長 地方技師 青木 繼治
 愛知縣商工陳列所長 大島 德左衛門
 愛知縣商工陳列所主事 高瀬 伍助
 地方商工技師 原 文次郎
 名古屋高等工業學校教授 築 源次郎
 地方商工技師 近 藤 憲一郎
 元有田工業學校校長 小泉 角五郎
 名古屋稅務監督局鑑定部長 金 井 春吉
 稅務監督局技師 勝 田 源治郎
 地方商工技師 內 川 了
 地方農林技師 金 井 眞澄
 名古屋高等商業學校教授 近 藤 良男
 地方農林技師 幸 田 伴治郎
 岐阜高等農林學校講師 龜 岡 有
 名古屋立衛生試驗所長 吉 木 彌三
 名古屋市技師 三 堀 三郎
 名古屋市技師 竹 本 秀夫
 同 和氣 友之助
 愛知縣水產課長 地方農林技師 林 靖三
 名古屋地方專賣局鑑定課長 專賣局長技師

第六部 水産、食料品 部長

第七部 意匠圖案及特許品 部長

部長

地方農林技師 岡 本 堯夫
 同 野 口 清
 地方商工技師 古 賀 行義
 名古屋高等商業學校教授 原 文次郎
 愛知縣商工陳列所主事 石 川 榮耀
 都市計畫愛知地方委員會技師 增 田 金藏
 名古屋市立工藝學校教諭 土 屋 純一
 名古屋高等工業學校教諭 水 野 誠
 愛知縣工業學校教諭 村 山 秀雄
 地方商工技師

美術審查長

審查員

東京美術學校長 正 木 直彦
 日本畫 川 合 玉堂
 同 同 同 同 同 松 岡 映丘
 同 同 同 同 同 小 室 翠雲
 同 同 同 同 同 前 田 青邨
 同 同 同 同 同 西 山 翠嶂
 同 同 同 同 同 京 都 四五

第三章 開設

第一節 役員

員

四五

第二章 開設 第一節 役員

同 彫 同 同 同 同 同 同 同 洋 同 同 同 同 同 同 同

員

畫

刻

名 東 同 同 同 同 同 同 名 同 東 同 同 同 同 同 同 名 同
古 京 古 屋 京 古 屋 京 古 屋

松 毛 原 水 鬼 人 菊 鈴 野 南 正 石 朝 小 藤 森 石 渡 川
田 利 田 野 頭 池 木 崎 宗 川 見 寺 島 村 河 邊 村
鹿 教 隆 義 三 香 不 華 薰 得 三 英 香 雲 萃 宜 有 秀 曼
三 武 諦 正 郎 彌 三 知 年 造 郎 鳳 城 洞 僊 稻 鄰 谿 舟

四六

幹事

第二章 開設 第一節 役員

大 岡 清 太 郎
春 日 井 政 市 郎
石 塚 德 三 郎
內 藤 乾 藏 郎
中 川 貞 三 郎
水 野 菊 一 郎
原 藤 柳 一 郎
近 藤 柳 一 郎
武 內 治 資 郎
前 田 忠 夫 郎
瀨 尾 昇 平 郎
高 木 保 太 郎
鈴 木 庫 之 助 郎
玉 川 保 治 郎
磯 部 鎌 一 郎
岸 野 野 鎌 一 郎
水 野 余 次 郎

四七

服 部 貞 亮 吉
志 村 慎 雄
土 居 慎 雄
松 浦 鎮 式
羽 根 田 貢
大 松 銀 次 郎
神 谷 清 作 郎
角 田 文 之 助 郎
藤 井 勤 二 郎
有 吉 誓 郎
早 川 三 郎
鷓 飼 傳 吉 郎
宮 田 光 夫 郎
馬 場 龍 雄 郎
橫 井 半 次 郎
鈴 木 鎌 太 郎
坂 野 三 郎
松 崎 彌 三 郎
磯 村 崎 五 郎

北	岩	上	澤	前	大	塚	安	鬼	原	恒	長	兼	伊	加	小	山	矢	竹
王	井	村	田	田	倉	本	井	島	田	川	屋	井	藤	藤	澤	田	野	村
英	篤	和	惣	小	蔓	房	比	一	鎗	兼	多	元	久	三	衆	宣	弘	
一	郎	作	一	郎	衛	郎	馨	古	三	藏	門	郎	彦	巖	郎	雄	吉	良

永	松	塚	水	江	加	屋	青	山	原	内	佐	岡	喜	伊	柴	栗	中	横
田	野	本	野	森	藤	代	山	村	田	田	伯	松	多	藤	田	田	元	井
民	秀	秀	三	綱	好					鹿	一	修	親	勘	善	盛	市	時
弘	藏	郎	郎	雄	國	勝	稔	清	修	郎	郎	彌	之	藏	信	吉	郎	綱

佐	城	山	片	三	竹	大	北	酒	丹	酒	長	鈴	富	百	林	所	中	桑
々	際	山	山	堀	本	島	川	井	羽	向	谷	木	永	瀨	尚	島	原	藤
木	喜	六	六	三	秀	錠	次	喜	德	與	川	佐	貞	亮	助	桂	太	
半	久	之	之	郎	夫	次	郎	三	右	作	太	一	英	治	六	三	郎	
七	雄	助	助	郎	們	郎	治	治	衛	門	平	英	治	治	郎	郎	郎	

小	坂	平	山	長	大	西	加	細	小	平	大	中	森	大	大	鶯	芳	後
山	野	山	方	崎	矢	澤	藤	野	栗	手	川	島	本	澤	角	尾	賀	藤
武	楠	京	喜	謙	鎗	堯	榮	隆	彌	福	成	靜		逸	久	繁	成	庄
義	之	次	太	治	次	壽	藏	一	三	太	郎	郎	昇	策	俊	藏	己	助

木	津	織	田	塚	杉	山	平	杉	馬	山	二	淺	箕	齋	坂	小	津	鈴
子	田	戶	中	田	山	田	尾	原	淵	口	之	井	浦	藤	林	田	木	
政	外	政	一	信	年	賢	正	忠	利	孫	宮	善	功	正	密	松	新	
助	記	雄	己	一	彦	三	藏	雄	貞	郎	雄	吉	茂	次	義	治	郎	

山	副	能	淺	六	酒	森	加	牧	吉	椎	神	小	木	竹	萩	橋	川	熊
川	田	勢	野	人	向	田	藤	野	川	名	谷	島	村	內	幸	本	口	澤
初	厚	信	長	俊	賢	嘉	文	太	久	壯	安	榮	靜	真	政	神	比	
助	一	之	恭	次	一	十	郎	郎	吉	藏	三	逸	夫	治	一	衛	古	六

大	吉	柴	箕	福	猪	森	土	北	藤	松	加	松	古	中	高	杉	鷓	村
塚	田	田	形	田	飼	田	田	尾	井	山	藤	山	屋	村	橋	飼	岡	
正	太	三	太	善	太	勝	三	真	信	寅	三	基	昇	三	助	金	鈴	
利	郎	郎	郎	一	郎	喜	郎	郎	武	雄	郎	軌	平	郎	一	清	一	彦

菅	高	坂	小	久	倉	秋	伊	岡	伊	竹	永	飯	小	宮	石	伊	林	加
井	井	口	南	野	地	田	藤	田	藤	之	山	野	長	崎	原	藤	金	藤
武	宮	太	庄	敬	鹽	八	仲	俊	次	內	宗	野	谷	辰	憲	五	五	和
亮	內	郎	吉	豐	章	一	八	次	郎	次	五	亮	助	郎	一	郎	夫	

川口春太郎
後藤清好
安藤銀次郎
黒宮庸
北村京一
武川文三
森川薫
吉田幾次郎
加藤正義
越野鍊一
服部貞三
名倉喜代三
橋本信
宮崎定重
染谷昌三
宮田錠太郎
横地信三
長谷部英治
正村清藤

山田良次郎
吉田足穂
吉田辰雄
森川音三郎
久保田稔
鬼頭勝太郎
伊藤太郎
栢植鉦太郎
岩田直一郎
森田五六
近藤幸三
永井誠吾
堀内博平
笹岡徳次郎
松岡徳次郎
中井雄一
小池竹市
鶴飼半二
加藤半助

事務員

島藤榮二
加藤圓五郎
岡田泰次郎
杉谷泰次郎
野村信次
村田重省
尾關嘉雄
犬飼三太郎
大野正夫
濱島安次郎
三村政彦

酒井美夫
太田平吉
川本勝弘
三森幸多郎
加藤宗十郎
犬飼倫比古

大島武雄
青木一夫
加藤久治
鈴村康
竹越喜次郎
加藤末松
松浦源次郎
山田逸次郎
古海敏一郎
可兒一
久野一
早川悦
早藤三郎
加藤義夫
山内喜一
坂野文逸
神納照美
松井仁一
下山正治

木村治郎七
林勇
藤田榮一
三浦鈴一
鬼頭榮二
倉田藤一郎

鈴木亮一
高木國雄
山本孝藏
丹羽末三
久保田坂松
加藤一男

第二節 諸規程

御大典奉祝名古屋博覽會規則

第一章 總則

第一條 本博覽會ハ謹デ 今上陛下御即位ノ大典ヲ奉祝シ併テ産業ノ振興文化ノ發達ニ資スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ御大典奉祝名古屋博覽會ト稱シ名古屋勸業協會之ヲ主催ス

第三條 本會ハ昭和三年九月十五日ヨリ同年十一月二十三日迄七十日間名古屋市鶴舞公園ニ於テ開催ス

第四條 本會ノ事務局ハ名古屋市役所内ニ置ク

第五條 本會ノ出品地域ハ帝國領土、委任統治地域及租借地トス但シ參考品ハ此ノ限ニ在ラズ

第二章 役員職員及職務權限

第六條 本會ハ總裁ニ皇族ヲ奉戴ス

本會ハ副總裁二名ヲ推戴ス

本會ニ顧問、評議員、參事及委員各若干名ヲ置キ會長之ヲ推薦ス

第七條 本會ニ左ノ職員ヲ置ク

會長	一名	副會長	若干名
事務總長	一名	專務理事	一名
理事	若干名	幹事	若干名
事務員	若干名		

第八條 會長ハ名古屋勸業協會會長(名古屋市長)之ニ當リ副會長ハ勸業協會主事會ニ於テ之ヲ選舉シ事務總長、專務理事、理事及幹事ハ會長之ヲ囑托シ事務員ハ會長之ヲ任免ス

第九條 會長ハ會務ヲ統轄シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

第十條 顧問ハ重要ナル會務ニ付會長ノ諮問ニ應ズ

評議員、參事及委員ハ重要ナル會務ニ參與ス

第十一條 事務總長ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ總理シ專務理事ハ事務總長ノ下ニ各部ノ連絡ニ任ジ事務總長差支アル時ハ之ヲ代理ス

理事ハ本會ニ關スル事務ヲ分掌シ重要ナル事項ヲ議決ス

幹事及事務員ハ上司ノ指揮ニ從ヒ事務ニ從事ス

第三章 出品

第十二條 本會ノ出品ハ即賣品、賣約品、非賣品及參考品ノ四種トシ左ノ九部ニ分ツ但シ細目ハ別ニ定ム

- 第一部 農蠶林蠟業品
- 第二部 染織工業品
- 第三部 機械工業品
- 第四部 化學工業品
- 第五部 製作工業品
- 第六部 水産、食料品
- 第七部 意匠、圖案、特許品
- 第八部 美術工藝品
- 第九部 各種參考品

第十三條 本會ノ出品ハ別ニ定ムル出品規程ニ據ル

左ノ各號ノ一ニ該當スルモノハ出品スルコトヲ得ズ

- 一、衛生、風俗又ハ公安ヲ害シ若シクハ公衆ニ嫌忌ノ感ヲ與フル虞アルモノ
- 二、他ニ損害ヲ及シ又ハ發火其他ノ虞アリト認ムルモノ
- 三、其他陳列ニ適セズト認ムルモノ

第十四條 出品物ニシテ其ノ出品後前條ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ取換、若シクハ陳列場所ノ變更ヲナサシメ又ハ出品申込ノ承認ヲ取消スコトアル可シ

第十五條 出品者ハ本會ニ於テ配當シタル陳列場所ニ對シ異議ヲ述ブルコトヲ得ズ

第十六條 出品物ノ荷造、運搬及陳列、裝飾並ニ動力ニ要スル費用ハ出品者ノ負擔トス但シ本會ニ於テ特別ノ事由アリト認メタルモノハ此ノ限ニ在ラズ

第十七條 本會ノ承認ヲ受ケタル場合ノ外館内ニ於テ出品ニ關スル製作作業ヲ爲シ又ハ貼紙、撒紙、票札、音樂等ノ方法ヲ以テ廣告宣傳ヲナスコトヲ得ズ

第十八條 本會ハ一般出品物ニ對シ相當ノ保護ヲナスト雖天災、地變、火災、盜難其他之ニ類スル事由ニヨリテ生ジタル損害

ニ對シテハ其ノ責ニ任セズ

第四章 審査

第十九條 本會ノ出品物ヲ審査スル爲左ノ職員ヲ置ク

審査總長	一名	審査長	一名
審査部長	若干名	審査員	若干名

第二十條 前條ノ職員ハ商工省、農林省又ハ其他ノ官公署學校等ヨリ派遣ヲ乞ヒ會長之ヲ囑託ス

第二十一條 審査總長ハ出品ノ審査ヲ總理シ審査長ハ審査總長ヲ補佐シ審査總長事故アルトキハ之ヲ代理シ審査部長ハ審査總長ノ指揮ヲ承ケ其ノ部ノ審査ヲ分掌シ審査員ハ出品物ノ審査ニ從事ス

第二十二條 出品物ハ參考品ヲ除キ審査ノ請求アリタルモノニ限り之ヲ審査ス

第二十三條 出品者ハ審査ノ決定ニ對シ異議ノ申立ヲナシ又ハ受賞ヲ拒ムコトヲ得ズ

第二十四條 審査ノ爲必要アルトキハ更ニ出品物ト同一ノ物品ヲ提供セシムルコトアル可シ

第二十五條 審査ノ爲必要アルトキハ出品物ノ一部又ハ全部ヲ消費又ハ毀損スルコトアルモ出品者ハ其ノ賠償ヲ請求スルコトヲ得ズ

第二十六條 審査ノ結果優良ト認メタルモノニ對シテハ褒賞ヲ授與ス但シ同一出品者ニシテ數個ノ褒賞ヲ受ク可キトキハ賞牌ハ最高ノモノ一個ヲ授與ス

第二十七條 褒賞ハ左ノ六種トス

- 名譽大賞牌
- 名譽賞牌

金 賞 牌
 銀 賞 牌
 銅 賞 牌
 褒 狀

第五章 觀覽

第二十八條 觀覽時間ハ毎日午前八時三十分ヨリ午後六時迄トシ夜間開場ノ場合ハ午後六時ヨリ同十時迄トス但シ時宜ニヨリ之ヲ伸縮シ又ハ觀覽ヲ停止スルコトアル可シ

第二十九條 觀覽料ハ各會場動物園ヲ通ジ大人五十錢小人二十五錢トス

夜間開場觀覽料ハ大人二十錢小人十錢トス

五十人以上ノ團體及教員引率ノ學生、生徒ニ對シテハ觀覽料ヲ割引ス其ノ割引率ハ別ニ之ヲ定ム

第三十條 觀覽人ニシテ風紀又ハ秩序ヲ紊シ又ハ疾病其他他人ニ迷惑ヲ及ボシ若クハ出品物ニ危害ヲ加フルガ如キ虞アル場合ハ入場ヲ拒絶シ又ハ退場ヲ求ムルコトアル可シ

觀覽人ハ畜類ヲ牽キ自轉車又ハ大荷物ヲ携帶スルコトヲ得ズ

觀覽人ハ係員ノ承認ヲ得ルニ非レバ出品物ニ手ヲ觸ル、コトヲ得ズ

動物園ノ觀覽人ニ對シテハ名古屋市所定觀覽人心得ヲ適用ス

第六章 購買

第三十一條 出品物ヲ購買セントスル者ハ看守人ニ申出可シ

第三十二條 出品物ヲ購買シタル者ハ即賣品及代金拾圓未満ノ賣約品ニアリテハ其ノ代金ノ全額、拾圓以上ノ賣約品ニアリテハ代金ノ半額以上ノ手附金ヲ支拂ヒ其ノ領收證ヲ受ク可シ

現品ノ交付ハ即賣品ニアリテハ即時之ヲ行ヒ賣約品ニアリテハ會期終了後五日以内ニ領收證ト引換ニ之ヲ行フモノトス但シ手附金ノ場合ニアリテハ同時ニ其ノ殘金ヲ支拂フ可シ

前項ノ期間内ニ賣約品ノ引取ヲナサザルモノハ解約ト看做シ手附金ハ出品人ノ所得トス

即賣品ト雖審查其他特別ノ事由アルモノハ即時現品ノ交付ヲナサザルコトアル可シ

第三十三條 出品物ノ賣上代金ハ閉會後八十日以内ニ精算シ之ヲ出品者ニ交付スルモノトス

第七章 雜則

第三十四條 出品物ハ本會ノ承認ヲ受クルニ非レバ撮影若クハ摸寫スルコトヲ得ズ

本會ニ於テ出品物ヲ撮影摸寫又ハ印行シ若シクハ前項ノ承認ヲ一定ノ人ニ與フルモ出品者ハ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第三十五條 出品者、場内營業人及館外敷地使用者並ニ其ノ使用人其他本會ニ於テ必要ト認メタル者ニ對シテハ特別入場券、徽章又ハ門鑑ヲ交付シ之ニヨリ入場セシム

第三十六條 本會ノ許可ヲ受クルニ非レバ陳列館及其他ノ建設物内ニ於テ火氣ヲ用フルコトヲ得ズ

第三十七條 會場内ヨリ物品ヲ搬出スル者ハ本會所定ノ搬出票ヲ携帶ス可シ

第三十八條 會場内ニ於テ賣店、飲食店、觀覽物、遊戯物其他ノ營業ヲナサントスルモノハ別ニ定ムル規程ニヨリ本會ノ許可ヲ受ク可シ

第三十九條 本會ノ收支計算ハ之ヲ特別會計トス

第四十條 本會ノ處務規程、其他必要ナル細則ハ別ニ之ヲ定ム

以上

出 品 規 程

第一條 出品ノ申込ハ縣市町村又ハ之ヲ地域トスル團體ニ於テ之ヲ取り纏ムルモノトス但シ特設館又ハ特別陳列及ビ本會ニ於テ必要ト認メタル場合ハ此ノ限ニ在ラス

第二條 出品物ノ陳列ハ府縣別トシ特殊ノモノニ限り部類別ト爲スコトアルベシ

第三條 出品陳列場所及小間數ノ割宛ハ本會ニ於テ決定ス

第四條 出品ノ陳列場所使用料ハ左ノ通り定ム

一、本館場所使用料

陳列 棚 使用料

一 小 間 (間口六尺) 五 拾 圓

半 小 間 (間口三尺) 貳 拾 五 圓

陳列 臺 使用料

一 小 間 (間口六尺) 參 拾 五 圓

半 小 間 (間口三尺) 拾 八 圓

土 間 使用料

一 坪 (特) 等 九 拾 圓 以 上

半 坪 (特) 等 四 拾 五 圓 以 上

一、館外陳列土地使用料

一 坪 (特) 等 八 拾 圓 以 上

九月十三日迄ニ出品ノ陳列及裝飾ヲ完了セルモノニ對シテハ特ニ前項料金ノ二割ヲ割引ス

特定ノ場所又ハ特殊ノ工作物使用料ニ付テハ其都度之ヲ定ム

第五條 前條ノ使用料ハ凡テ前納トシ其ノ出品ヲ取消シ又ハ減少シタル場合ト雖モ既納ノ料金ハ之ヲ返還セス

第六條 出品者ハ陳列場所ヲ他人ニ讓渡又ハ貸與スルコトヲ得ス

第七條 出品者ハ本會ニ其陣列裝飾ヲ委託スルコトヲ得(第四號様式)

前項ノ費用ハ出品者ノ負擔トス

第八條 館内ニ於ケル陳列棚裝飾ハ垂直四尺、平面ニ一尺内外トシ旗、幟、額等ハ通路又ハ他ノ妨害トナラサル様設備スヘシ

第九條 特設館ノ建設又ハ特別ノ陳列裝飾ヲサントスル者ハ豫メ設計書ヲ提出シ本會ノ承認ヲ受クヘシ

第十條 出品者ハ本會ノ承認ヲ得ルニアラサレハ陳列巨棚又ハ陳列臺等ノ改造變更ヲナスコトヲ得ス

第十一條 出品者陳列場所使用中本會ノ營造物其他ノ設備ヲ破損シタルトキハ本會ノ指揮ヲ受ケ直ニ修理ノ上原形ニ復スヘシ

第十二條 出品者ハ會期中猥リニ陳列場所ヲ閉鎖シ又ハ出品物ヲ撤去スルコトヲ得ス

第十三條 本會ニ於テ必要ト認メタル出品ニ對シテハ第四條ノ料金ヲ免除スルコトアルヘシ

第十四條 會則第十二條ノ出品類別ヲ定ムルコト別表ノ如シ

第十五條 本會ニ出品セントスルモノハ出品申込書(第一號様式)ニ陳列場所使用料金ヲ添ヘ昭和三年三月末日迄ニ本會事務局

へ申込みヘシ

前項ノ申込ニ對シ適當ト認メタルトキハ本會ハ直ニ其登錄ヲ爲シ通知書ヲ發スヘシ

第十六條 出品者前條ノ手續ヲ了シタルトキハ出品目録(第一號様式)審査請求品ニアリテハ出品目録ニ解説書(第三號様式)ヲ添ヘ昭和三年五月末日迄ニ本會ニ差出スヘシ

第十七條 出品物ハ昭和三年八月末日迄ニ會場ニ搬入シ同年九月十三日迄ニ陳列ヲ終了スルモノトス

第十八條 出品物ハ總テ本會ヨリ交付シタル附札ヲ附シ其部類、品名、數量、代價(賣約品非賣品兼)及出品人ノ住所、氏名ヲ記入スヘシ

第十九條 出品物ノ補充交換又ハ價格ノ變更ハ出品目録用紙ニヨリ其都度本會ノ承認ヲ受クヘシ

前項ノ手續ニ依ラサルモノハ其出品物ニ付本會ハ其責ニ任セス

第二十條 出品物ハ非賣品參考品ヲ除ク外之ヲ賣約又ハ即賣スルモノトス

即賣品ハ會期中常ニ補充陳列スヘシ

第二十一條 出品者ハ賣約並ニ即賣シタル出品物ニ付其ノ價額ノ百分ノ五ニ相當スル手数料ヲ本會ニ納付スルモノトス

第二十二條 出品物及自營ノ工作物ハ閉會後五日以内ニ撤去スヘシ

前項ノ期間内ニ撤去ヲ爲サ、ルトキハ本會ニ於テ代執行シ其費用ハ出品者ノ負擔トス

第二十三條 出品物ノ撤去撤出又ハ返送ヲ請ハントスルモノハ閉會前五日以内ニ其ノ旨本會ニ申出スヘシ

但シ其費用ハ出品者ノ負擔トス

第二十四條 特ニ優秀ナル陳列裝飾ヲ爲シタル者ニ對シテハ功勞賞ヲ贈呈ス

第二十五條 出品者ニ對シテハ總テ記念狀ヲ贈呈ス

第二十六條 出品者ニシテ本規則其他ノ規定ニ基ク義務ヲ怠リタルトキハ本會ニ於テ適當ノ處置ヲナシ其費用ハ出品者ノ負擔トス

トス

第一號様式 (用紙美濃判)

出品申込書				
物品出	所住	種別	等級	所要面積
		陳列戸棚	等	間
		陳列臺	間	間
		土間	坪	坪
		館外土地		

右貴會諸規則ヲ遵守シ出品致度使用料相添此段申込候也
昭和三年 月 日
御大典奉祝名古屋博覽會御中

第二號様式 (用紙美濃判)

御大典奉祝名古屋博覽會出品目録										
第部	第部	出品所	品名	數量	賣品、非賣品	單價	計價	摘要	右出品候也	
									昭和三年	月 日
九										
八										
七										
六										
五										
四										
三										
二										
一										

注意
一、本日録ハ二通調製シ差出サレタシ
二、本日録用紙ハ本會調製ノモノ若ハ同一寸法様式ノモノニ限ル
三、即賣又ハ審査希望ノモノハ其旨摘要欄ニ記入セラレタシ

第三號樣式 (用紙美濃判)

解說書

氏名	職業	住所	品名	創業年月日	生産製造製作若クハ採取加工ノ方法	資本金	從業人員及原動力ノ種類及馬力	前年ノ産額	販路	従前ノ受賞	審査上必要ナル事項

昭和三年 月 日

右ノ通ニ候也

御大典奉祝名古屋博覽會御中

第四號樣式 (用紙美濃判)

出品取扱委託證

貴會ニ出品致候下名ノ出品物ニ付御所定ノ諸規則ヲ承認シ出品物ノ(陳列)(賣約)即賣ヲ委託候也

追而金 圓也 費トシテ相添申候也

昭和三年 月 日

住所

職業

出品人氏名

御大典奉祝名古屋博覽會御中

出品部類目錄

第一部 農蠶林鑛業品

- 第一類 米 類
- 第二類 麥 類
- 第三類 豆 類
- 第四類 雜穀 類
- 第五類 麻 類

- 第六類 藁 類
- 第七類 綿 類
- 第八類 香辛 類
- 第九類 葉煙草
- 第十類 蒟蒻、葉藍、絲瓜、帶蜀黍、杞柳、黃蜀黍等
- 第十一類 油蠟原料類
- 菜種、胡麻、荳、落花生、櫛
- 第十二類 藥用植物、除虫菊、薄荷、黃連、人參等
- 第十三類 牧草 類
- 第十四類 觀賞植物
- 一、花卉及球根
- 二、盆栽及盆石類
- 第十五類 蔬菜及其加工品
- 第十六類 果實類及其加工品
- 一、果 實
- 二、干葡萄、干柿等ノ乾燥
- 果實(菓子又ハ罐詰類ヲ除ク)柿澁其他
- 第十七類 種苗類、農業種子及果樹苗、其他種苗類
- 第十八類 農家副業品

- 一、木竹細工、齒朶蔓細工
- 二、菜工品、竹皮細工、棕櫚細工、藁細工等
- 三、麥稈經木及其製作品
- 第十九類 農用器具機械、園藝用具
- 第二十類 農作物害虫ノ驅除豫防劑及標本等
- 第二十一類 肥 料
- 第二十二類 生糸、玉糸、紬糸、柞蠶糸其他
- 第二十三類 繭
- 第二十四類 眞 綿
- 第二十五類 蠶 種
- 第二十六類 桑 苗
- 第二十七類 蠶糸業用器具機械
- 第二十八類 木 竹 材
- 丸太材、角材、挽材、削材、竹材
- 第二十九類 加工木竹材
- 下駄材、挽物材、桶樽材、船具材、指物建具材、着色材、
- 鋪道材、防腐材、ベニヤ材、マツチ料其他
- 第三十類 林産製品
- 一、木炭、炭團、煉木炭

二、木醋、木精、木タール、酸石灰、懷爐灰、松烟等
第三十一類 山林種苗

第二部 染織工業品

第四十二類 綿、麻、絹、毛等の紡績糸、人造經糸、各種纖維

第四十三類 カタン糸、編糸、縫糸、刺繡糸、レース糸等

第四十四類 絹織物

第四十五類 綿織物

第四十六類 白木綿、天竺、生金巾、綾金巾、雲齊織、

寒冷紗等

第四十七類 綿フランネル、綿褌子及綿イタリアンス、綿天

鷺織等

第四十八類 絹緞交織物

第四十九類 毛織物及其交織物

第五十類 人造絹織物及其交織物

第五十一類 麻織物及其交織物

第五十二類 染料

第五十三類 染色物及加工布

第五十四類 莫大小、組編物、燃物、真田類(麥稈真田、を

除く)レース及紐類

第五十五類 雜織物及其製品

第三十二類 林業副産物

一、樹皮、根莖、蔓、其他

二、製紙原料

三、菌茸類

四、蕨、藓、五倍子、干栗

第三十三類 庭園樹

第三十四類 林業用器具機械

第三十五類 金屬屬

第三十六類 鑛物、鑛石及土石類

第三十七類 加工石材

砥石、石版石、其他

第三十八類 石炭、骸炭、煉炭

第三十九類 石油、土瀝青、及其副産物

第四十類 地質及鑛床ノ圖面及模型

第四十一類 鑛業用器具機械

第三部 機械工業品

一、タナル、浴布

二、紙布、芭蕉布、葛布等

三、テーパークロース、ナフキン(布製)繙帶、ガーゼ、風

呂敷、旗、幕等

第五十六類 被服及裁縫品並ニ附屬品

一、和服

二、纏袴、股引、脚絆、腹掛、腹卷、厚司等

三、洋服、婦人服、子供服

四、シャツ(莫大小ヲ除ク)、カラ、カフスズボン品、バン

ド、手巾

五、膝掛、肩掛、襟卷、頭巾等

六、帶類、帶揚、半襟等

七、蚊張、夜具、蒲團、クッション、敷布、座蒲團(蘭草

製其他全部ヲ含ム)

八、縫箔品、其他雜裁縫品

第五十七類 足袋、地下足袋、靴下、手袋

線五十八類 刺繡

第五十九類 染織工業ニ關スル器具機械及附屬品

第六十類 原動機並ニ附屬品

一、汽鐘、蒸汽機關、蒸汽タービン等並ニ其附屬品

二、石油瓦斯發動機並ニ其附屬品

三、保溫劑

第六十一類 工作機械及工具

旋盤、平削機、其他諸工作機、木工機械及用具等

第六十二類 一般機械器具及附屬品

一、精密機械及器具、測定機、試驗機械、醫療機等

二、一般機械、唧筒、揚水機、水壓機、起重機、送風機、

乾燥機、氣體壓縮機、傳導機、制動機等

三、內燃機

四、車輛

五、潛水機

六、飛行機及航空機

七、航船

八、軌道

九、銃砲軍用器具

十、一般機械附屬品

- 齒車、滑車、軸、減壓裝置、調帶、パッキング等
- 第六十三類 製造機械
- 製粉、製麵、製油、釀造、染織、製紙、窯業其他各種製造用諸機械
- 第六十四類 印制諸機械
- 第六十五類 雜種機械器具
- 第六十六類 發電、變電、電動、送電、配電用機械器具及其材料
- 第六十七類 電燈及照明用具類
- 白熱燈、弧光燈、其他電燈照明用具及材料
- 第六十八類 電信、電話、電氣信號用機械器具及其材料並ニラヂオ用具類及材料
- 第六十九類 一、電熱用裝置及家庭用電氣器具、二、電氣鐵道
- 第七十類 電池及其材料
- 第七十一類 磁氣電氣化學用裝置及材料及絶緣物
- 第七十二類 雜種電氣機械器具、扇風器、電氣測定器等
- カリ、及塩類、アルコール、エーテル等
- 第七十四類 寫真用藥品及材料及醫藥
- 第七十五類 瓦斯副生物、及タール、蒸溜製品
- 第七十六類 樟腦、薄荷腦、龍腦、松根油、樟腦油其他ノ精油類及防腐劑驅蟲劑
- 第七十七類 油脂類
- 第七十八類 石鹼、臘燭等
- 第七十九類 薰香、線香、香料香水及化粧品
- 第八十類 顔料、塗料、彩料、水金
- 第八十一類 印肉、印刷インキ、靴墨等
- 第八十二類 護謄及護謄類似品
- 第八十三類 皮革、擬革、染革等
- 第八十四類 膠類
- 第八十五類 セルロイド、其他類似品
- 第八十六類 バルブ及紙類
- 第八十七類 燐寸、其他
- 第八十八類 硝子及硝子製品
- 第八十九類 陶磁器、土器、耐酸及耐アルカリ器
- 第九十類 煉瓦、土管、人造石、瓦及其代用品

第四部 化學工業品

- 第七十三類 工業藥品及化學藥品(醫藥品ヲ除ク)酸、アル

第九十一類 セメント、石灰、綠礬、丹礬等

第九十二類 珽瑯鐵器

第九十三類 其他化學工業品

第九十四類 化學工業ニ關スル器具機械

(備考 第八十二類第八十三類第八十五類ノ製品ハ第五部)

第五部 製作工業品

第九十五類 漆器

第九十六類 七寶

第九十七類 金屬工藝品

花瓶、置物、金屬製火鉢、鐵瓶、燈籠、茶ノ湯釜、飲食器卷簾入等

第九十八類 木竹製品

一、唐木細工、欄間、器局等

二、染色竹器、花筒等

第九十九類 樂器

琴、三味線、其他諸樂器

第一百類 屏風、衝立等

第一百一類 武具及武裝用具

擊劍道具、刀劍、弓箭、仕込杖等

第一百二類 徽章、賞牌類

第一百三類 造花、押書、モール、フレンジ等

第一百四類 玩具類

人形、雛道具、畫草紙、羽子板、其他

第一百五類 珠玉其他

珠玉、石、木、竹、甲、介、角、牙等の美術加飾製品又は

簞製々品及各種釧等

第一百六類 祝典及葬祭具

神殿、佛壇、佛具、其他祝葬祭用具、神輿等

第一百七類 金屬製品及刃物類

一、鍋、釜、金屬製風呂、ストーブ、鋏、金盞、鎖、バケツ、金網及其製品、金庫、鐘等

二、ナイフ、庖丁、剃刀、鋏、鋸、鋸、シヨベル、鑿、錐等

第一百八類 紙製品

一、書筒用紙、紙袋、罫引紙、短冊、手帳帳簿、書畫帳、寫真帳、ナフキン、水引壁紙、襖用紙其他紙器

二、扇子、團扇、提灯、雨傘、日傘等

第一百九類 文房具及繪畫用具

- 一、筆、ペン、ペン軸、鉛筆、石筆、石盤、硯、墨、筆筒、文鎮、印材、ゴム印、インキ壺、狀挾、其他
- 二、インキ(事務用インキ)、封蠟、糊等
- 三、繪具、畫用木炭、畫架、カンバス、繪畫用具、繪畫用紙其他

第一百十類 事務用具

- タイプライター、謄寫器、計算器、算盤、金錢登錄器、書類整理箱、各種荷造用紐等

第一百十一類 裝身具

- 一、指輪、腕輪、襟止、襟飾、帶留、羽織紐
- 二、櫛、簪、簪、髻、鬢形、洋髮網、元結等

第一百十二類 携帶品及旅行用具

- 一、紙入、名刺入、信玄袋、煙草入(携帶用)巻煙草入、其他袋物
- 二、手鏡、香水吹、揚枝、石鹼箱等
- 三、洋傘、洋傘柄、杖
- 四、トランク、鞆、携帶化粧品容器、天幕、ハンモック等
- 五、其他携帶品及旅行用器

第一百十三類 遊戲具、運動具及娛樂用具

- 一、骨牌、其他
 - 二、碁盤、將棋盤、玉突臺及附屬品等
 - 三、庭球用具、野球用具、其他運動用具
 - 四、蓄音機
- 第一百十四類 家具及建具
- 一、食器棚、水屋、書籍棚、飾棚、飾臺、箆筒、長持、机卓子、椅子、姿見、鏡臺、寢臺、額椽、木製衝立、煙草盆、木製火鉢、籬等
 - 二、挽物、曲物、桶、盥、樽、木製風呂等
 - 三、障子、襖、戸等
 - 四、點燈具(電燈用具ヲ除ク)、瓦斯點燈用具、其他點燈用具及附屬品、燭臺等
 - 五、其他日用家具、塵取、其他掃除用具、洗濯用器、靴拭等
- 第一百十五類 敷物類
- 一、緞通、緞織
 - 二、花筵、莫塵、疊表、野草筵等
- 第一百十六類 把柳製品及其他の製品
- 一、バスケット、各種行李
 - 三、籐細工(椅子、表、日用雜貨ヲ除ク)齒朶細工、蔓細工等

第一百七類 度量衡器

第一百八類 履物

- 一、下駄、雪駄、草履、下駄表、草履表、鼻緒、爪掛等
- 二、靴、スリッパ

第一百九類 時計及附屬品

第二十類 帽子

- 第一百二十一類 自動車、自轉車、オートバイ乳母車、人力車、荷車、其他車輛の附屬品

第二百二十二類 雜工品

- 刷子類、冷蔵函、焔爐(石油、瓦斯其他)竈、蠅帳、網類等
- 第二百二十三類 製作工業に關する器具機械

第六部 水産、食料品

第二百二十四類 水産製品

- 一、乾製鹽藏其他の食用魚介類
- 二、藻類
- 三、魚鱗、魚膠等
- 四、工業用及藥用水産物
- 五、珊瑚、眞珠、介殼、鼈甲、海獸皮、魚皮、鯨鬚等

第二百五類 食鹽及副産物

第二百六類 水産生物標本模型等

第二百七類 漁撈用具、遊漁具

第二百八類 水産ニ關スル器具機械

第二百九類 茶、珈琲等

第三十類 穀粉、澱粉、蒟蒻粉其他粉類

第三十一類 菓子及菓子原料、麵麩、飴、ビスケット、蜂蜜、糖菓類

第三十二類 砂、糖

第三十三類 麵類、麴類、酵母

第三十四類 罐詰、漬物、饅頭

第三十五類 バター、チーズ、煉乳、粉乳、鹽肉、燻肉、其他乳肉製品

第三十六類 酒類

第三十七類 醬油、味噌、酢、ソース、其他調味料、加工香辛料等

第三十八類 清涼飲料水、果汁、礦水

第三十九類 雜食品

一、燒麩、凍豆腐、凍蒟蒻、湯葉、納豆

- 第十二條 審査ノ爲出品物ノ試験又ハ分析ヲ要スルモノアルトキハ審査部長ハ其旨出品部長ニ通知スヘシ
- 第十三條 解説書ハ審査員自ラ之ヲ閲覽シ他ニ示スヘカラス
- 第十四條 審査ノ爲出品ト同種ノ物品ヲ要スルトキハ第四號様式ニ依リ豫メ搬入シ得ベキ日時ヲ測リ審査部長ヨリ出品部長ニ通知スヘシ
- 第十五條 審査ノ爲實地臨檢ヲ必要トスルトキハ其臨檢スヘキ場所及日時並ニ審査員ノ氏名ヲ審査部長ヨリ事務總長ニ申出スヘシ審査囑託審査補助鑑定員及書記ヲ伴ハントスルトキ亦全シ
- 第十六條 野菜果實花卉裝飾植物生魚介其他枯死腐敗ノ虞アル物品ハ審査ニ當リ相當期間前ニ其ノ審査日時ヲ出品部長ニ通知スヘシ
- 第十七條 出品部類ノ錯誤等ニ依リ審査ヲ爲ス能ハスト認ムルトキハ直ニ審査部長ヨリ出品部長ニ通知スヘシ
- 第十八條 審査員ハ審査シタル物品ニ對シ各自又ハ合議ノ上評點ヲ附スヘシ評點ハ壹百點ヲ以テ最高トス
- 第十九條 審査員ハ左ノ標準ニ依リ評點ヲ附スヘシ
金牌九十點以上、銀牌八十點以上、銅牌七十點以上、褒狀五十點以上
名譽大賞牌及名譽賞牌ハ金牌中特ニ證衡ニ依リ之ヲ授與ス
- 第二十條 審査員審査ヲ了シタルトキハ評點ノ整理ヲナシタル後採點一覽表及審査概況報告ト共ニ之ヲ審査部長ニ差出スヘシ
- 第二十一條 審査部長ハ審査員ノ評點及審査概況ヲ取纏メ意見アルモノニ對シテハ意見ヲ附シ其ノ部全體ノ擬賞一覽表及審査概評府縣別擬賞歩合表並ニ擬賞者名簿ト共ニ之ヲ審査部長ニ提出スヘシ
- 第二十二條 評點九十點以上ニ達シタル出品ニ對シテハ審査部長ニ於テ別紙ニ其ノ擬賞スヘキ事由ヲ記載シ之ヲ審査部長ニ提出スヘシ
- 第二十三條 審査部長ハ必要ト認メタルトキハ再審査ヲ爲サシムルコトヲ得

第二十四條 名譽大賞牌名譽賞牌ニ對スル擬賞ハ審査部長會議ノ結果ニヨリ其他ノ擬賞ハ審査部長ノ報告ニヨリ審査長ニ決定ス

- 第二十五條 審査囑託ノ評點ハ審査員ノ參考ニ供スルモノトス
- 第二十六條 出品ノ審査ヲ終リタルトキハ其附札ニ審査済ノ印章ヲ押捺スヘシ
- 第二十七條 現場審査ハ各部共十月十日迄ニ終了スルモノトス審査員ハ第二十條ノ書類ヲ十月十三日迄ニ審査部長ニ提出シ審査部長ハ之ヲ取纏メ十月二十日迄ニ審査部長ニ提出スヘシ
- 第二十八條 審査長ハ擬賞ノ結果ヲ審査總長ニ報告スヘシ
- 第二十九條 審査總長審査長ノ報告ヲ適當ト認メタルトキハ褒賞ノ授與ヲ總裁宮殿下ニ申請ス
- 第三十條 審査員並ニ審査ノ事務ニ干與スル者ハ審査ニ關スル意見ノ發表又ハ審査ニ係ル一切ノ事項ヲ漏洩スルコトヲ得ス

(様式略)

特設館及賣店規程

- 第一條 本會用地内ニ自費ヲ以テ陳列所、賣店、飲食店、廣告塔其他建築物ヲ建設スルモノハ之ヲ特設館ト稱ス。特設館又ハ本會設備ノ賣店ヲ使用セントスル者ハ願書(第五號様式)ニ取扱品ノ種類及所要坪數ヲ明記シ昭和三年五月末日迄ニ本會事務所ニ願出許可ヲ受クベシ
- 第二條 自費建設ノ場合ハ建築設計書及圖面ヲ添付スルコトヲ要ス
- 第三條 前條ノ建設敷地ハ本會ノ指定スル所ニ限り之ヲ貸附ス
- 第四條 特設館建設又ハ賣店使用ハ本會出品者又ハ其ノ團體ニ限ルモノトス
- 第五條 特設館建設敷地使用料及賣店賃貸料左ノ通り定ム

一、特設館敷地使用料

特等	(一坪ニ付)	八拾圓以上
一等	(全上)	六拾五圓
二等	(全上)	五拾圓

二、賣店賃貸料

特等	(一小時間口一間)	百八拾圓以上
一等	(全上)	百五拾圓
二等	(全上)	百貳拾圓

九月十三日迄ニ出品陳列及裝飾ヲ完了セルモノニ對シテハ特ニ料金ノ一割ヲ割引シ尙特設館ハ其内容性質ニ依リ特別ノ割引ヲナスコトアルヘシ

第五條 特設館及賣店ハ本會々期中本會事務所ノ許可ナクシテ閉鎖又ハ休業スルコトヲ得ス

第六條 特設館及賣店ニ於テ管理者又ハ代理者ヲ定メタルトキハ直ニ其氏名ヲ本會事務所ニ届出ツヘシ

第七條 賣店ノ賣品ニ對シテハ必ス價格ノ正札ヲ附スヘシ、若シ之ヲ附シ難キモノアル場合ハ見易キ所ニ其定價表ヲ掲クヘシ

第八條 賣店ニ於テ販賣ニ附スル物品ハ豫メ本會ノ承認ヲ受クヘシ

第九條 賣店ニ於テ景品ヲ提供シ若クハ定價ノ割引ヲ爲シ其他特別ノ方法ヲ以テ賣出サントスルトキハ其ノ方法ヲ詳記シ本會事務所ノ承認ヲ受クヘシ

第十條 特設館及賣店ニハ本人、管理者又ハ使用人ノ外泊セシムルコトヲ得ス

第十一條 特設館及賣店ノ裝飾ハ本會事務所ノ許可ヲ受クヘシ

第十二條 賣店ニ於テハ其販賣シタル物品ノ品名、數量、金高ヲ十日毎ニ本會事務所ニ届出ツヘシ

第十三條 特設館及賣店ハ火氣ニ注意シ且其ノ通路及周圍ハ常ニ清潔ニ掃除スヘシ

第十四條 特設館ハ本會閉會ト共ニ閉鎖シ貸付賣店ハ五日以内ニ返納スヘシ

第十五條 自費建設特設館ハ閉會ノ翌日ヨリ十日以内ニ取り拂ヒ原形ニ復シ本會ノ検査ヲ受ケ敷地ヲ返納スヘシ

第十六條 本規程ニ違背シ又ハ本會事務所ノ指示ニ違フトキハ特設館及賣店ノ開設ヲ停止シ又ハ撤去セシムルコトアルヘシ

第十七條 遊藝場、觀覽物、飲食店等ニ就テハ本規程ヲ準用ス(様式略)

處務規程

第一條 本會ノ事務ヲ處理スル爲メ左ノ如ク區分ス

總務部、出品部、工務部、警備衛生部、宣傳部、接待部、餘興部、審査部

第二條 各部ニ部長副部长ヲ置ク

第三條 事務總長ハ各部ノ事務ヲ總理シ理事ハ各部ニ屬シ其ノ事務ヲ分掌ス

各部ノ分掌事務左ノ如シ

總務部

一、各部ノ事務聯絡ニ關スル事項

一、人事、會議、儀式及機密ニ關スル事項

一、文書ノ收受發送、編纂及文書並印章ノ保管ニ關スル事項

一、諸契約ニ關スル事項

一、豫算ノ執行ニ關スル事項

一、諸規程ノ制定運用ニ關スル事項

- 一、事務報告ニ關スル事項
 - 一、徽章及制服ニ關スル事項
 - 一、宿直ニ關スル事項
 - 一、寄附金、補助金ニ關スル事項
 - 一、協賛會並博覽會附帶開催ノ諸大會ニ關スル事項
 - 一、其他總務ニ關シ他ノ主管ニ屬セザル事項
- 經 理 部
- 一、金錢ノ出納ニ關スル事項
 - 一、物品ノ購買保管及出納ニ關スル事項
 - 一、諸給與ニ關スル事項
 - 一、賣上金ノ計算ニ關スル事項
 - 一、物品ノ處分ニ關スル事項
 - 一、有料入場券ノ出納ニ關スル事項
 - 一、請負契約締結ニ關スル事項
 - 一、決算ニ關スル事項
 - 一、其他經理ニ關スル他ノ主管ニ屬セザル事項

出 品 部

- 一、出品勸誘ニ關スル事項
- 一、出品物搬入搬出ニ關スル事項

- 一、出品物陳列及裝飾ニ關スル事項
- 一、出品物ノ販賣ニ關スル事項
- 一、出品目錄及解説書ニ關スル事項
- 一、出品場所ノ配當並特定場所料金ノ協定ニ關スル事項
- 一、出品ニ伴フ諸動力ノ供給ニ關スル事項
- 一、看守人ノ監督ニ關スル事項
- 一、其他出品ニ關シ他ノ主管ニ屬セザル事項

工 務 部

- 一、敷地、建築、土木ニ關スル事項
- 一、特設館、賣店、飲食店、建築上ノ取締ニ關スル事項
- 一、點燈給水ニ關スル事項
- 一、動力設備ニ關スル事項
- 一、館内外ノ裝飾ニ關スル事項
- 一、其他營繕ニ關スル事項

警 備 衛 生 部

- 一、會場内ノ警備並門鑑ニ關スル事項
- 一、衛生及救護ニ關スル事項
- 一、會場内飲食物ノ検査取締ニ關スル事項
- 一、守衛及夜警ニ關スル事項